

司令長官秘書	一人	主計少監
司令長官秘書補	三人以内	主計及主計補
文庫主管	一人	尉官
測器試験所主管	一人	同上
軍醫部		
部長	一人	軍醫大監或軍醫中監
部員	若干人	軍醫少監及軍醫
病院長	一人	軍醫監
主計部		
部長	一人	主計大監或主計中監
計算課長	一人	主計少監或大主計
人員課長	一人	大主計或中主計
材料課長	一人	同上

衣糧課長	一人	同上
給與課長	一人	同上
課員	若干人	主計及主計補
中央倉庫主管	一人	大主計或中主計
中央倉庫副主管	一人	主計
造船部		
部長	一人	大佐或中佐
次長	一人	匠司 <small>部内一科ノ長ヲ兼テシム</small>
造船科長	一人	匠司
造船科主幹	三人以内	同上
機械科長	一人	同上
機械科主幹	三人以内	同上
兵器部		

子

部長	一人	佐官
次長	一人	少佐或大尉
主幹	二人以内	尉官
武庫主幹	一人	同上
水雷庫主幹	一人	同上
建築部		
部長	一人	佐官
主幹	三人以内	匠司
軍法會議		
判士長		海軍治罪法ニ依リ之ヲ置ク
判士		同上
主理		同上
監獄署		

署長	一人	大尉
警查長	三人	尉官
第四條	司令長官ハ其所屬ノ艦船軍人軍屬ヲ管轄シ軍港要港ノ防禦管内ノ警保艦船ノ製造修理兵器軍需品ノ貯藏配賦及兵員ノ召募徵集訓練ヲ掌ル	
第五條	司令長官ハ其港内ニ旗艦ヲ置キ在港ノ艦船ヲ指揮ス	
第六條	司令長官ハ平時ニ於テ麾下艦船ノ管外航海及例外行軍例外演習等ノ軍令ニ關スルモノハ海軍大臣ニ申報シ又軍人軍屬ノ進退黜陟轉換撰任及會計給與等ニ關スルモノハ海軍大臣ノ區處ヲ承クヘシ	
第七條	司令長官ハ其管内ニ疑ハシキ艦船アルトキハ其搜索警戒ノ爲メ麾下ノ艦船ヲ管内ニ巡航セシムルコトヲ得但定例巡航外ニ涉ルトキハ海軍大臣ノ區處ヲ承クヘシ	
第八條	司令長官ハ他管ノ艦隊又ハ艦船其港内ニ入港スルトキハ港内一般ニ係ル事項ニ就キ之ヲ指揮スヘシ	

子

第九條 司令長官ハ管内騷擾ノ警アルトキハ先ツ情狀ヲ海軍大臣ニ申報シテ其區處ヲ承クヘシ但事火急ニシテ兵力ヲ要シ地方長官ヨリ出兵ヲ要スルトキハ之ニ應シ狀ヲ具シテ海軍大臣ニ急報シ仍ホ比隣鎮守府ニ通報スヘシ

第十條 司令長官ハ戰時若クハ事變ニ際シテハ其港内ニアル他管ノ艦船其他軍人ヲ以テ其港ノ守衛ニ供スルコトヲ得

第十一條 軍政ニ關スル重要ノ事項ハ司令長官臨時軍政會議ヲ開キ其議長ト爲リ之ヲ審議決定スヘシ

第十二條 軍政會議ハ軍港司令官造船部長兵器部長建築部長主計部長ヲ以テ組織ス但時宜ニ依リ參謀長又ハ軍醫部長ヲ列セシム

第十三條 參謀長ハ司令長官ノ職務ヲ輔佐シ專ラ其機務ニ參シ軍醫部主計部其他各官辦ノ職員ヲ監視ス

第十四條 參謀長ハ司令長官不在中特ニ委任セラレタル事件ハ司令長官ノ名ヲ以テ命令ヲ出スコトヲ得

第十五條 參謀長ハ鎮守府所屬ノ病院監獄等ノ紀律ヲ監督ス

第十六條 參謀長ハ文庫及測器試驗所ヲ管理ス

第十七條 參謀長ハ前諸條ニ掲クル職務ノ外左ノ事務ヲ掌ル

一、軍港ノ守衛警保及造船部兵器部建築部ノ警察并門衛ニ關スル事項

二、海軍所屬砲臺ノ守衛及哨營等ニ關スル事項

三、管内沿岸ノ警報ニ關スル事項

四、海圖水路誌航海日誌ニ關スル事項

第十八條 參謀ハ參謀長ノ命ヲ承ケ參謀部ノ事務ヲ分掌ス

第十九條 司令長官傳令使ハ差使及命令傳達ヲ掌リ又參謀部ノ事務ヲ分掌ス

第二十條 司令長官秘書ハ機密文書ヲ掌リ府内ノ庶務ヲ整理シ官印ヲ監守ス

第二十一條 司令長官秘書補ハ秘書ノ命ヲ承ケ文書往復等ノ事務ニ服ス

第二十二條 文庫主管ハ參謀長ノ命ヲ承ケ圖書ノ保存出納ヲ掌ル

第二十三條 測器試驗所主管ハ參謀長ノ命ヲ承ケ測器ノ試驗ヲ掌ル

第二十四條 軍醫部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、鎮守府所屬ノ艦船營及諸官廨ノ醫務衛生上ニ關スル事項
  - 二、軍港内ノ衛生ニ關スル事項
  - 三、軍人ノ體格調査ニ關スル事項
  - 四、恩給及賑恤金ニ係ル診斷書ニ關スル事項
  - 五、斷訟醫事ノ記事
  - 六、藥品醫療器械ニ關スル事項
  - 七、糧食及飲料ノ検査ニ關スル事項
  - 八、看護手看病夫ノ教育ニ關スル事項
  - 九、醫務衛生ニ係ル報告統計ニ關スル事項
- 第二十五條 軍醫部長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス
- 第二十六條 軍醫部長ハ鎮守府一般ノ醫務衛生及軍醫官以下ヲ監督ス
- 第二十七條 部員ハ各所ニ派出シ治療及調劑ノ事ヲ掌ル

第二十八條 病院長ハ軍醫部長ノ命ヲ承ケ院内ノ紀律及患者ノ治療ヲ掌ル

第二十九條 病院長ノ下ニ軍醫少監以下若干人ヲ置キ治療及調劑ノ事ヲ掌ラシム

第三十條 醫務衛生ニ關スル重要ノ事項ハ軍醫部長司令長官ノ命ヲ承ケ臨時衛生會議ヲ開キ其議長ト爲リ之ヲ審議決定スヘシ

第三十一條 衛生會議ハ病院長艦船營軍醫長及部員若干名ヲ以テ組織ス

第三十二條 主計部ニ計算課人員課材料課衣糧課給與課ヲ置キ其事務ヲ分掌セシム

第三十三條 計算課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、鎮守府ニ屬スル軍事費鎮守府所掌ノ營繕費下士卒ノ家族扶助金及鎮守府收入金ノ豫算調査ニ關スル事項
- 二、兵器ノ修理ニ係ル經費金ノ豫算調査ニ關スル事項
- 三、支出額仕譯書ノ調整ニ關スル事項
- 四、各部ニ於テ製造シタル器具物品ノ價額調査ニ關スル事項

- 五、鎮守府及所屬諸官廨ノ準備金管理ニ關スル事項
  - 六、鎮守府及所屬諸官廨ノ金錢出納ニ關スル事項
  - 七、下士卒家族扶助金ノ支給ニ關スル事項
  - 八、第一項ノ收支決算書ノ調整ニ關スル事項
  - 九、鎮守府及所屬諸官廨ノ金錢出納ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十四條 計算課ハ其課員ヲ造船部兵器部建築部ニ派出シ左ノ事務ヲ掌理セシム
- 一、職工ノ出場退場ノ検査ニ關スル事項
  - 二、職工ノ名簿整頓ニ關スル事項
  - 三、職工ノ賃錢計算並其支給ニ關スル事項
  - 四、職工ノ増減ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十五條 計算課ハ其課員ヲ病院及監獄署ニ派出シ左ノ事務ヲ掌理セシム
- 一、病院及監獄署ノ金錢出納ニ關スル事項

- 二、病院及監獄署ノ庶務
  - 三、藥品醫療器械ノ出納ニ關スル事項
  - 四、囚人ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十六條 人員課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、鎮守府及所屬諸官廨ノ人員調査ニ關スル事項
  - 二、下士卒ノ名簿履歷簿調整ニ關スル事項
  - 三、下士卒ノ出入ニ關スル事項
  - 四、徵兵募兵ニ關スル事項
  - 五、豫備兵後備兵及海員ニ關スル事項
  - 六、下士卒ノ人員ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十七條 材料課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、材料物品ノ購買運搬供給出納ニ關スル事項
  - 二、材料物品ノ保存方法ニ關スル事項

- 三、各部貯藏ノ材料物品ノ價額調査ニ關スル事項
- 四、材料物品ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十八條 衣糧課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、被服糧食ノ員數調査ニ關スル事項
  - 二、被服糧食ノ準備ニ關スル事項
  - 三、被服糧食ノ運搬供給出納ニ關スル事項
  - 四、被服糧食ノ支給ニ關スル事項
  - 五、被服糧食ノ出納ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第三十九條 給與課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、俸給日給其他金錢給與ノ例規ニ關スル事項
  - 二、藥品醫療器械及患者ノ給與ニ關スル事項
  - 三、囚人ノ給與ニ關スル事項
  - 四、職工ノ賃銀ニ關スル事項

- 五、府内ノ用度ニ關スル事項
- 第四十條 主計部長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス
- 第四十一條 主計部長ハ鎮守府一般ノ主計官以下ヲ監督ス
- 第四十二條 課長ハ部長ノ命ヲ承ケ課務ヲ整理ス
- 第四十三條 課員ハ課長ノ命ヲ承ケ課務ヲ分掌ス
- 第四十四條 主計部ハ中央倉庫ヲ所轄シ各部各官解艦船營一般ノ需用ニ供スル爲メ普通ノ材料物品ヲ貯藏配付セシム
- 第四十五條 中央倉庫主管ハ主計部長ノ命ヲ承ケ倉庫ヲ管守シ材料物品ノ保存出納ヲ掌ル
- 第四十六條 副主管ハ主管ヲ助ケ其主務ヲ整理ス
- 第四十七條 造船部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、艦船及其機關ヲ新製改造修理スル事
  - 二、所屬ノ諸工場諸機械ヲ管理スル事

- 三、艦材圓材等ヲ貯蓄保存シ及所用ノ材料ヲ検査スル事
  - 四、船臺ニ於テ製造中ノ艦船ヲ管守スル事
  - 五、所管倉庫ノ材料物品ノ保存出納ニ關スル事項
  - 六、職工ヲ教育スル事
  - 七、兵器ヲ修理スル事
  - 八、艦船ノ新製改造修理ニ係ル概算書ヲ調整スル事
  - 九、造船ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第四十八條 兵器部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、兵器ノ貯藏保存配賦出納ニ關スル事項
  - 二、砲銃水雷彈藥ノ試験ニ關スル事項
  - 三、火工ニ關スル事項
  - 四、大砲水雷ノ備裝ニ關スル事項
  - 五、兵器ノ修理ニ係ル概算書ヲ調整スル事

- 六、兵器ノ修理ニ係ル報告統計ヲ整理スル事
- 第四十九條 建築部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、官廨兵營學校病院官舎等ノ建築修理及其主管ニ關スル事項
  - 二、船渠船臺及埠頭ノ築造修理ニ關スル事項
  - 三、海軍ニ屬スル燈臺浮標電信其他水陸ノ工事ニ關スル事項
  - 四、港内ノ浚渫ニ關スル事項
  - 五、官廨造修簿ヲ記注シ及之ヲ管守スル事
  - 六、鎮守府所屬地ノ地券ヲ管守スル事
  - 七、所管倉庫ノ材料物品ノ保存出納ニ關スル事項
  - 八、建築修理ニ係ル仕様帳及概算書ノ調整ニ關スル事項
  - 九、建築修理ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第五十條 造船部兵器部建築部ノ長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス
- 第五十一條 造船部ノ各科長ハ部長ノ命ヲ承ケ科務ヲ整理ス

第五十二條 造船部各科及兵器部建築部ノ主幹ハ部長ノ命ヲ承ケ各分掌ノ工業ヲ擔任ス

第五十三條 武庫水雷庫ノ主管ハ兵器部長ノ命ヲ承ケ兵器水雷及其屬具ノ保存出納ヲ掌ル

第五十四條 監獄署長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第五十五條 警査長ハ署長ノ命ヲ承ケ警査ヲ指揮シ監獄ノ巡視警戒ヲ掌ル

第五十六條 各軍港ニ軍港司令部ヲ置キ其部下ニ豫備艦部水雷部航海部ヲ置キ其職員ヲ定ムルコト左ノ如シ

軍港司令部

軍港司令官 一人 少將或大佐

軍港副官 一人 大尉

軍港司令官傳令使 一人 大尉或中尉

豫備艦部

豫備艦總理 一人 大佐或中佐

豫備艦副總理 一人 大尉

豫備艦機關長 一人 機關監

豫備艦船具庫主管 一人 尉官

水雷部

水雷司令 二人 佐官

水雷副司令 二人 大尉

航海部

部長 一人 豫備艦總理ヲ以テ之ニ充ツ

部員 二人 少佐及大尉

倉庫主管 一人 豫備艦船具庫主管ヲ以テ之レニ充ツ

第五十七條 軍港司令官ハ艦船營兵員及海軍所屬ノ砲臺ヲ指揮シ軍港ノ守備ヲ掌ル



第五十八條 軍港司令官ハ軍紀風紀ヲ維持シ所屬軍人軍屬ノ訓練教育ヲ監督ス

第五十九條 軍港司令官ハ鎮守府管轄ノ左ノ艦船ヲ指揮ス

一、常備艦船

二、練習艦

三、艤裝中ノ艦船

四、豫備艦船

五、水雷船

第六十條 軍港司令官ハ其港内ニ在ル艦船ニ港内規則ヲ遵守セシムヘシ

第六十一條 軍港司令官ハ諸般ノ法律命令ヲ麾下ニ布達シ又麾下艦船營長ノ上申及報告ヲ點檢シ鎮守府司令長官ニ進達ス

第六十二條 軍港司令官ハ麾下ノ艦船ヲ點檢シ其現狀性質並ニ乗員ノ景況ヲ詳知シ又常ニ艦船ヲ整頓準備シ若シ役務ニ適セサルコトヲ發見スルトキハ速ニ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

第六十三條 軍港司令官ハ麾下ノ艦船ヲ各所ニ配置スルトキハ發航ノ前歸著ノ後

及艦船新ニ麾下ニ屬スルトキハ之ヲ點檢シ其詳細ヲ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

第六十四條 軍港司令官自ラ點檢ヲ行フ能ハサルトキハ豫備艦總理ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第六十五條 軍港司令官ハ麾下將校以下服務ノ程度ヲ觀察シ其黜陟轉換等ノ事ニ就テ意見アルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ申告スヘシ

第六十六條 軍港副官ハ司令官ノ命ヲ承ケ軍港司令部ノ庶務ヲ整理シ文書ノ往復受附等ノ事ヲ掌ル

第六十七條 軍港司令官傳令使ハ差使及命令傳達ヲ掌リ又軍港司令部ノ事務ヲ分掌ス

第六十八條 豫備艦總理ハ軍港司令官ノ命ヲ承ケ豫備艦船ヲ管轄シ其守衛保存及就任準備ノ事ヲ總理ス

チ

- 第六十九條 豫備艦副總理ハ總理ヲ補佐シ其主務ヲ整理ス
- 第七十條 豫備艦機關長ハ豫備艦ノ機關ニ係ル事ヲ整理シ機關官以下ヲ監督ス
- 第七十一條 豫備艦船具庫主管ハ總理ノ命ヲ承ケ豫備艦ニ屬スル器具物品ノ準備保存ヲ掌ル
- 第七十二條 水雷司令ハ軍港司令官ノ命ヲ承ケ攻撃水雷及防禦水雷ニ關スル事項并ニ水雷艇隊及布設水雷ノ指揮ヲ掌ル
- 第七十三條 水雷副司令ハ司令ヲ輔佐シ其主務ヲ整理ス
- 第七十四條 航海部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、新艦ノ索具ヲ裝置スル事
  - 二、所管倉庫ノ諸具ノ保存出納ニ關スル事項
  - 三、桅檣掛脫ニ關スル事項
  - 四、消防隊ヲ監督シ及消防具ヲ監視スル事
  - 五、航海用信號及信號所管理ニ關スル事項

- 六、港内規則ヲ維持ニ關スル事項
- 七、港内艦船ノ錨地轉換及繫泊ニ關スル事項
- 八、艦船出入渠ニ關スル事項
- 九、繫船用錨鎖ノ配置及其検査ニ關スル事項
- 十、海軍所屬ノ浮標礁標及目標ノ管理ニ關スル事項
- 十一、軍港内ノ水路嚮導ニ關スル事項
- 十二、難破船救助ニ關スル事項
- 第七十五條 航海部長ハ軍港司令官ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス
- 第七十六條 部員ハ部長ヲ助ケ各分任ノ事項ヲ整理ス
- 第七十七條 倉庫主管ハ部長ノ命ヲ承ケ艦船附屬具等ノ保存出納ヲ掌ル
- 第七十八條 第三條第五十六條ニ掲クル職員ノ外屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク
- 第七十九條 作業費ニ屬スル職員ハ此官制ニ依ラス

○地方官官制

○明治十九年七月二十日勅令第五拾四號

朕地方官官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

地方官官制

府縣

第一條 各府縣ニ職員ヲ置ク左ノ如シ

知事

書記官

收稅長

屬

收稅屬

典獄

副典獄

書記

看守長

看守副長

第二條 知事ハ一人勅任二等又ハ奏任一等トス内務大臣ノ指揮監督ニ屬シ各省ノ

主務ニ就テハ各省大臣ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ部内ノ行政及警察ノ

事務ヲ總理ス但東京府知事ハ勅任一等ニ陞ルコトヲ得

第三條 知事ハ部内ノ行政及警察事務ニ付其職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律命

令ノ範圍内ニ於テ管内一般又ハ其一部ニ府縣令ヲ發スルコトヲ得

第四條 府縣令ハ官報其他特ニ定ムル方法ニ依リ一般ニ公布シタル後其効力アル

モノトス

第五條 府縣令ハ内務大臣其他主務ノ大臣ニ於テ公益ヲ害シ成規ニ違ヒ又ハ權限

ヲ

ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ中止セラレ、コトアルヘシ  
第六條 知事ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ功過ハ内務大臣及主務大臣ニ具狀シ  
判任官以下ノ進退ハ之ヲ專行ス

第七條 知事ハ法律命令ノ定ムル所ニ從ヒ所部ノ官吏ヲ懲戒ス其奏任官ニ係ルモ  
ノハ之ヲ内務大臣ニ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行ス

第八條 知事ハ非常急變ノ場合ニ臨ミ兵力ヲ要シ又ハ警護ノ爲メ兵備ヲ要スルト  
キハ鎮臺若クハ營所ノ司令官ニ移牒シテ出兵ヲ請フコトヲ得

第九條 知事ハ各郡區内警察分署ノ配置分合ヲ定ム

第十條 知事ハ廳中處務ノ細則ヲ設クルコトヲ得

第十一條 知事ハ其須要ニ從ヒ俸給豫算定額内ニ於テ雇員ヲ使用スルコトヲ得

第十二條 知事ハ一周年末ニ其廳ノ豫算定額内ニ於テ奏任官以下特別ノ勤勞アル  
者ヲ賞與スルコトヲ得其奏任官ニ係ルモノハ之ヲ内務大臣ニ具狀シ判任官以下  
ハ之ヲ專行ス

第十三條 知事ハ其須要ニ從ヒ俸給豫算定額内ニ於テ内務大臣ノ認可ヲ經技術官  
官等俸給令ニ依リ技術官ヲ置クコトヲ得但地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ノ經費  
内ニ於テスルモノハ内務大臣ノ認可ヲ經雇員トシテ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條 書記官ハ二人奏任二等以下トス知事ノ命ヲ承ケ部長トナリテ其所部ノ  
事務ヲ整理ス知事事故アルトキハ上席書記官其職務ヲ代理ス

第十五條 收稅長ハ一人奏任四等以下トス知事ノ命ヲ承ケ租稅ノ賦課徵收及徵稅  
費ニ關スル事務ヲ掌ル

第十六條 屬ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ書記計算ノ庶務ニ從事ス

第十七條 收稅屬ハ判任トス收稅部ニ屬シ收稅長ノ指揮ヲ承ケ其主務ニ從事ス

第十八條 典獄ハ判任一等又ハ二等トス知事又ハ部長ノ命ヲ承ケ監獄ニ關スル一  
切ノ事務ヲ掌理シ書記看守長以下ヲ指揮ス

第十九條 副典獄ハ判任三等乃至五等トス典獄ノ事務ヲ佐ク典獄事故アルトキハ  
其職務ヲ代理ス

第二十條 書記ハ判任六等以下トス典獄ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二十一條 看守長ハ判任五等乃至七等トス典獄ノ命ヲ承ケ監獄ノ看守ヲ掌リ兼テ看守ノ勤惰ヲ視察ス

第二十二條 看守副長ハ判任八等以下トス看守長ノ職掌ヲ佐ク

第二十三條 看守ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十四條 府縣廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲ニ第一部第二部ヲ置キ部中便宜課ヲ設ケ書記官ヲシテ各一部ノ長タラシム

第一部

一、府縣會水利土功會區町村會ノ會議ニ關スル事項

二、地方稅區町村費備荒儲蓄ニ關スル事項

三、外國人ニ關スル事項

四、文書往復ニ關スル事項及官印府縣印ヲ管守スル事

五、農工商務ニ關スル事項

六、他部ノ主掌ニ屬セザル事項

第二部

一、土木ニ關スル事項

二、兵事ニ關スル事項

三、學務ニ關スル事項

四、監獄ニ關スル事項

五、衛生ニ關スル事項

六、會計及公債證書ニ關スル事項

第二十五條 前條ノ外府縣廳中ニ收稅部ヲ置キ租稅ノ賦課徵收及徵稅費ニ關スル

一切ノ事務ヲ分掌セシム部中課ヲ設クルハ第二十四條ノ例ニ依ル

第二十六條 前條ニ指定スル外臨時ノ事務ハ知事ニ於テ便宜其主掌ヲ定ムルコト

ヲ得

警察官

チ

第二十七條 各府縣ニ左ノ警察官ヲ置ク

警部長

警部

警部補

第二十八條 警部長ハ一人奏任四等以下トス知事ノ指揮監督ヲ承ケ左ノ職務ヲ掌ル

一、管内高等警察ノ事

二、管内ノ警察ニ關スル一切ノ事務及警察ノ會計ニ關スル事務ヲ整理スル事

三、管内各部ノ警察官ヲ指揮監督シ非常急變ノ場合ニ於テ管内ノ警察官ヲ統一指揮スル事

四、管内各警察署及各警察分署ニ必要ノ警察官ヲ分配スル事

第二十九條 警部ハ判任一等乃至七等警部補ハ判任八等以下トス警部長ノ指揮監

督ヲ承ケ各其主任ニ屬スル警察事務ヲ掌リ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

第二十條 各府縣ニ警察本部ヲ置キ前第二十四條ニ指定スルノ外府縣廳中ノ一部

トシ警部長ヲシテ其長ニ充テ部中課ヲ設ケ前第二十八條ノ事務ヲ掌理セシム

第二十一條 府縣内各郡區ニ警察署一箇所ヲ置キ警察署ノ下其部内ニ於テ警察分署ヲ配置シ警察署ハ警部ヲ以テ其長ニ充テ警察分署ハ便宜警部又ハ警部補ヲ以テ之ニ充テ部内ノ高等警察行政警察及司法警察ヲ掌リ法律命令ノ履行ヲ監督ス其項目左ノ如シ

一、諸營業市場會社製造所度量衡教會講社說教及拜禮ニ關スル事項

二、演藝遊觀場遊戲場遊憩場徽章祭典葬儀賭博富籤其他風俗ニ關スル事項

三、船舶堤防河岸地道路橋梁渡船場鐵道電信公園車馬諸建築田野漁獵採藻

ニ關スル事項

四、人命痍傷群集喧噪銃砲火藥爆發物發火物刀劍水災火災難破船遺失物埋藏物ニ關スル事項

五、傳染病豫防消毒檢疫種痘飲食物飲料水醫療藥品家畜屠畜場墓地火葬場  
其他衛生ニ關スル事項

六、諸般ノ犯罪人ヲ搜索拿捕シ證據物件ヲ拾集シ之ヲ檢察官ニ交付スル等  
ニ關スル事項

七、失踪者瘋癲者棄兒迷兒被監視者ニ關スル事項

八、政治ニ關スル結社集會新聞雜誌圖畫及其他ノ出版ニ關スル事項

第三十二條 各警察官ハ其職權ニ依リ又ハ上官ノ命ニ依リ若クハ部長收稅長郡區  
長戸長及其他行政官ノ請求ニ應シ又司法警察ニ關シテハ檢察官ノ命ヲ承ケ其職  
務ヲ執行スヘシ

第三十三條 警察官ハ總テノ場合ニ於テ行政官又ハ司法官ノ自ラ其責任ニ當リテ  
警察官ニ請求ヲ爲ストキハ警察官ハ其請求ニ應スルノ義務アルモノトス

第三十四條 他府縣ヨリ警察ノ事務ニ關スル照會ハ必ス知事ヲ經ヘシ但急施ヲ要  
スル場合ニ於テハ警部長又ハ其事ノ執行ヲ要スル地ノ警察官ニ宛直ニ照會スル

コトヲ得

第三十五條 巡查ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第三十六條 東京府下ノ警察及監獄ニ關スル事務ハ勅令第四拾貳號警視廳官制ニ  
依リ本令中ノ條項ニ指定スル限ニアラス

郡區

第三十七條 每郡若クハ數郡ニ郡長一人每區ニ區長一人及書記若干人ヲ置ク

第三十八條 郡區長ハ奏任四等以下書記ハ判任三等以下トス

第三十九條 郡區長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ部内ニ執行シ部内ノ行政  
事務ヲ掌理ス

第四十條 郡區長ハ法律命令ヲ以テ委任シ及知事ヨリ特ニ分任スル條件ハ便宜施  
行シテ後知事ニ報告スルヲ得

第四十一條 郡長ハ行政事務ニ就テ其部内町村ノ戸長ヲ指揮シ其公同事務ニ就テ  
ハ之ヲ監督ス

テ

第四十二條 郡區長ハ郡區書記ノ任免ヲ知事ニ具申ス

第四十三條 郡區長ハ法律命令若クハ知事ヨリ委任セラレタル事件ニ付部内一般

ニ告示スルコトヲ得

第四十四條 郡區長ハ部内ノ行政處分ニ關シ警察官ニ請求シテ之ヲ執行セシムル

コトヲ得

第四十五條 郡區書記ハ郡區長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ分掌ス

島地

第四十六條 長崎縣鹿兒島縣其他今後指定セラルヘキ府縣ニ特ニ島司ヲ置キ部内

行政事務ヲ掌理シ知事ノ委任スル條項ハ便宜之ヲ施行スルコトヲ得

第四十七條 島司ハ奏任三等以下トス

○地方官官等俸給令

○明治十九年七月二十日勅令第五拾五號

朕茲ニ地方官官等俸給令ヲ裁可ス

御名 御璽

地方官官等俸給令

第一條 知事ノ年俸ヲ定ムル左ノ如シ

勅任貳等

上四千五百圓

下四千圓

奏任壹等

上三千五百圓

下三千圓

第二條 知事ハ五年ヲ踰ユルニアラザレハ其年俸ヲ増給セス

第三條 東京府知事ノ勅任一等ニ陞リタル場合及知事ノ叙任特例ハ勅令第六號高等官官等俸給令ニ依ル

第四條 書記官警部長收稅長郡區長ノ叙任同等内ノ順序定員年俸及陞叙特例ハ前條ニ同シ

第五條 屬典獄副典獄郡區書記監獄書記ノ俸給昇等每等ノ定員及在官死亡者ノ賜

ヲ



金ハ勅令第三拾六號判任官官等俸給令ニ依ル

第六條 警部警部補看守長看守副長及收稅屬ノ俸給ハ別表定ムル所ニ依リ昇等毎等ノ定員及在官死亡者ノ賜金ハ前條ニ同シ

別表

官	判										任									
	等一	等二	等三	等四	等五	等六	等七	等八	等九	等十	等一	等二	等三	等四	等五	等六	等七	等八	等九	等十
警部	四拾五圓	四拾四圓	三拾六圓	三拾貳圓	貳拾八圓	貳拾四圓	貳拾壹圓													
看守長					貳拾八圓	貳拾四圓	貳拾壹圓													
警部補																				
看守副長																				
收稅屬	五拾四圓	四拾五圓	四拾四圓	三拾五圓	三拾圓	貳拾五圓	貳拾圓	拾五圓	拾貳圓	拾圓	拾五圓	拾貳圓	拾圓	拾五圓	拾貳圓	拾圓	拾五圓	拾貳圓	拾圓	拾五圓

○朝鮮國ヨリ輸入ノ日本酒類海關稅

○明治十九年八月二日勅令第六拾壹號

朕朝鮮國ニ於テ製造シテ我國ニ輸入スル日本酒ニ海關稅ヲ徵收スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

朝鮮國ニ於テ製造シテ日本國ニ輸入スル日本酒類ニハ當分ノ内左ノ割合ヲ以テ海關稅ヲ徵收ス

釀造酒一石ニ付 金四圓

蒸溜酒一石ニ付 金五圓

再製酒一石ニ付 金六圓

チ

○中央衛生會官制

○明治十九年十一月六日勅令第六拾九號

朕中央衛生會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

中央衛生會官制

第一條 中央衛生會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ各省大臣ノ諮詢ニ應シ公衆衛生獸畜衛生ニ關シテ意見ヲ述ヘ及其施行方法ヲ審議ス

第二條 中央衛生會ハ各省主管事務中衛生ニ關スル事項ニ就テハ其主任大臣ニ建議スルコトヲ得

第三條 中央衛生會ハ衛生各般ノ事項ヲ警視總監北海道廳長官及府縣知事ニ尋問シ或ハ臨時會員ヲ各地方ニ派遣シテ檢察セシムルコトヲ得

第四條 中央衛生會議事規則ハ該會ニ於テ之ヲ議定シ内務大臣ノ認可ヲ請フヘシ  
第五條 中央衛生會ニ職員ヲ設クルコト左ノ如シ

會長 内務次官ヲ以テ之ニ充ツ

委員 左ノ各官ヲ以テ之ニ充ツ

陸軍省醫務局長

海軍省衛生部長

宮内省侍醫局長官

帝國大學醫科大學長

警視總監

東京府知事

内務省衛生局長

内務省警保局長

内務省參事官 二人

其他醫師七人獸醫二人及化學家二人ヲ以テ委員トス

臨時委員

チ

幹事 内務省衛生局長ヲ以テ之ニ充ツ

書記

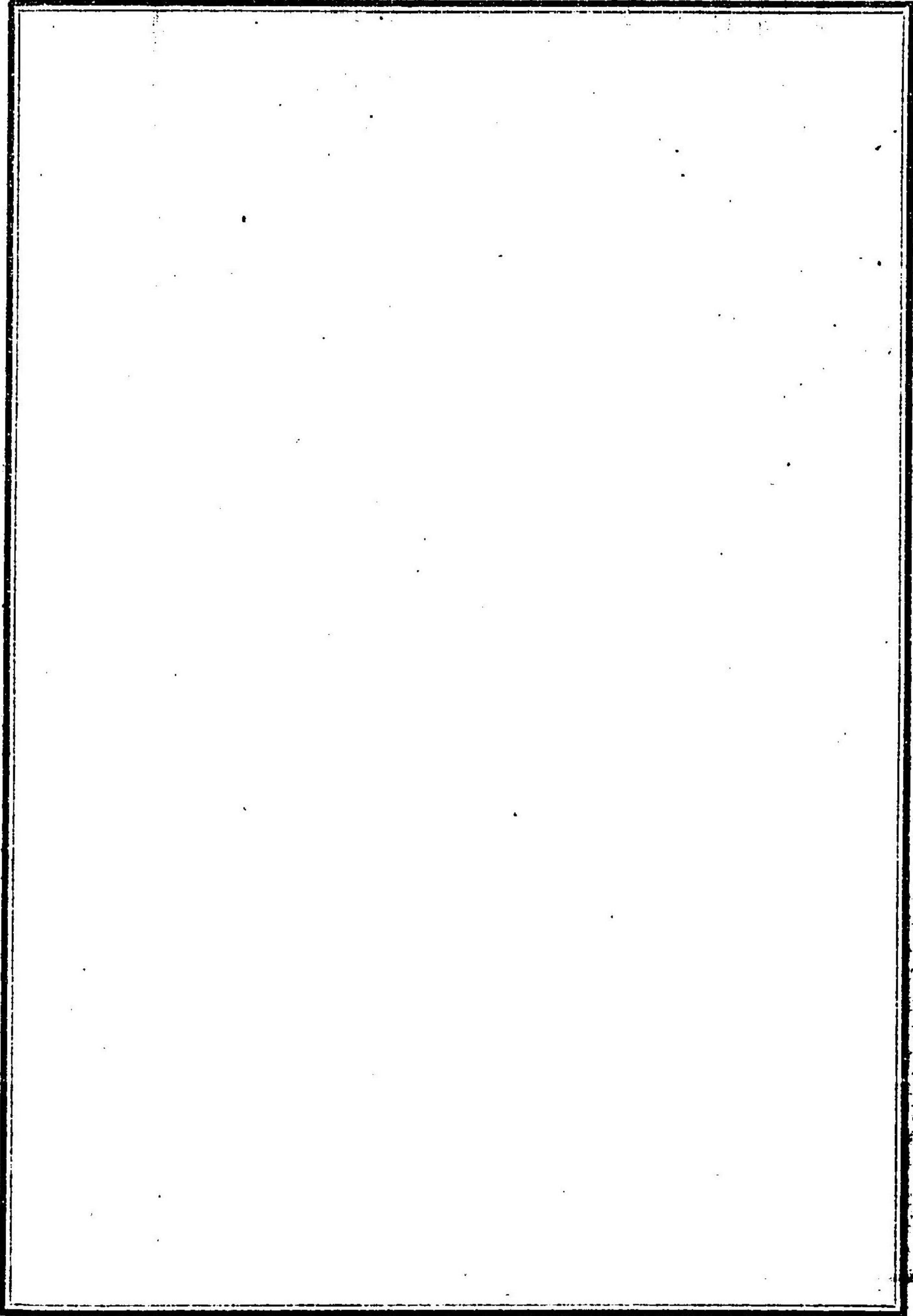
第六條 會長ハ本會議事規則ニ依リ議事ヲ整頓シ其議定セシモノヲ内務大臣及主任大臣ニ具申ス

第七條 會長事故アルトキハ開會當日ノ上席人ヲシテ其事務ヲ代理セシム

第八條 委員中醫師獸醫化學家内務省參事官及臨時委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第九條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス

第十條 書記ハ判任トシ會長之ヲ任免ス上官ノ指揮ヲ受ケ議事ヲ筆記シ及文書計算ニ從事ス



○利ノ部

○陸軍武官官等表

○明治十九年三月十一日勅令第四號

朕陸軍武官官等表ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

陸軍武官官等表

將官		上長官又佐官		士官又尉官		准士官		下	
陸軍大將 陸軍中將 陸軍少將		陸軍一等監督 陸軍二等監督 陸軍三等監督		陸軍一等監督 陸軍二等監督 陸軍三等監督		陸軍一等軍吏 陸軍二等軍吏 陸軍三等軍吏		陸軍一等書記 陸軍二等書記 陸軍三等書記	
陸軍醫總監		陸軍軍醫監 陸軍一等軍醫正 陸軍二等軍醫正 陸軍三等軍醫正		陸軍一等藥劑官 陸軍二等藥劑官 陸軍三等藥劑官		陸軍一等醫士 陸軍二等醫士 陸軍三等醫士		陸軍一等醫部 陸軍二等醫部 陸軍三等醫部	
陸軍監督長		陸軍一等監督 陸軍二等監督 陸軍三等監督		陸軍一等監督 陸軍二等監督 陸軍三等監督		陸軍一等軍吏 陸軍二等軍吏 陸軍三等軍吏		陸軍一等書記 陸軍二等書記 陸軍三等書記	
陸軍輜重兵大佐		陸軍輜重兵中佐 陸軍輜重兵少佐		陸軍輜重兵大尉 陸軍輜重兵中尉 陸軍輜重兵少尉		陸軍輜重兵上級監督 陸軍輜重兵中級監督 陸軍輜重兵下級監督		陸軍輜重兵曹長 陸軍輜重兵曹長 陸軍輜重兵曹長	
陸軍砲兵大佐		陸軍砲兵中佐 陸軍砲兵少佐		陸軍砲兵大尉 陸軍砲兵中尉 陸軍砲兵少尉		陸軍砲兵上級監督 陸軍砲兵中級監督 陸軍砲兵下級監督		陸軍砲兵曹長 陸軍砲兵曹長 陸軍砲兵曹長	
陸軍工兵大佐		陸軍工兵中佐 陸軍工兵少佐		陸軍工兵大尉 陸軍工兵中尉 陸軍工兵少尉		陸軍工兵上級監督 陸軍工兵中級監督 陸軍工兵下級監督		陸軍工兵曹長 陸軍工兵曹長 陸軍工兵曹長	
陸軍騎兵大佐		陸軍騎兵中佐 陸軍騎兵少佐		陸軍騎兵大尉 陸軍騎兵中尉 陸軍騎兵少尉		陸軍騎兵上級監督 陸軍騎兵中級監督 陸軍騎兵下級監督		陸軍騎兵曹長 陸軍騎兵曹長 陸軍騎兵曹長	
陸軍步兵大佐		陸軍步兵中佐 陸軍步兵少佐		陸軍步兵大尉 陸軍步兵中尉 陸軍步兵少尉		陸軍步兵上級監督 陸軍步兵中級監督 陸軍步兵下級監督		陸軍步兵曹長 陸軍步兵曹長 陸軍步兵曹長	
陸軍樂部士官		陸軍樂部士官		陸軍樂部士官		陸軍樂部士官		陸軍樂部士官	
陸軍一等軍醫長		陸軍二等軍醫長		陸軍三等軍醫長		陸軍一等軍醫長		陸軍二等軍醫長	
陸軍一等軍醫正		陸軍二等軍醫正		陸軍三等軍醫正		陸軍一等軍醫正		陸軍二等軍醫正	
陸軍一等藥劑官		陸軍二等藥劑官		陸軍三等藥劑官		陸軍一等藥劑官		陸軍二等藥劑官	
陸軍一等醫士		陸軍二等醫士		陸軍三等醫士		陸軍一等醫士		陸軍二等醫士	
陸軍一等書記		陸軍二等書記		陸軍三等書記		陸軍一等書記		陸軍二等書記	
陸軍一等醫部		陸軍二等醫部		陸軍三等醫部		陸軍一等醫部		陸軍二等醫部	
陸軍一等樂部		陸軍二等樂部		陸軍三等樂部		陸軍一等樂部		陸軍二等樂部	



陸軍海軍武官等ノ官等ヲ裁可ス

○陸軍海軍武官官等

○明治十九年四月三十日勅令第三拾七號

朕茲ニ陸軍海軍武官ノ官等ヲ裁可ス

御名 御璽

陸軍海軍武官官等

リ

第一條 陸軍海軍大將ハ親任式ヲ以テ叙任スルノ官トシ中將ハ勅任一等少將及相當官ハ勅任二等トス

第二條 陸軍海軍大佐ハ奏任一等中佐ハ奏任二等少佐ハ奏任三等大尉ハ奏任四等中尉ハ奏任五等少尉ハ奏任六等トス佐官尉官ノ相當官亦同シ

第三條 陸軍准士官下士ノ官等ハ判任一等ヨリ四等ニ至リ海軍准士官下士ノ官等ハ判任一等ヨリ五等ニ至ル

○陸軍軍人軍屬違警罪處分例

○明治十九年五月二十四日勅令第四拾四號

朕陸軍軍人軍屬違警罪處分例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

陸軍軍人軍屬違警罪處分例

第一條 陸軍軍人軍屬ノ犯シタル違警罪ハ違警罪即決例ニ依リ憲兵部ニ於テ其處分ヲ爲シ憲兵設置ナキ地ニ於テハ警察署ニ於テ其處分ヲ爲スコシ

第二條 憲兵部若クハ警察署ニ於テ被告人ヲ留置シタルトキハ直チニ其所屬ノ長官若クハ隊長ニ通知スコシ

第三條 即決ノ言渡ニ對シテハ軍法會議ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得其裁判管轄ハ陸軍治罪法ニ從フ

第四條 正式ノ裁判ヲ請求スル者ハ違警罪即決例第五條ニ記載シタル期限内ニ其理由ヲ記シタル書面ヲ即決ノ言渡ヲ爲シタル憲兵部若クハ警察署ニ差出スコシ

第五條 憲兵部若クハ警察署ニ於テ前條ノ書面ヲ受領シタルトキハ二十四時内ニ訴訟ニ關スル一切ノ書類ヲ管轄軍法會議ノ所管司令官ニ送致スコシ

第六條 軍法會議ニ於テ被告人ノ訊問ヲ要セサルモノト認ルトキハ書面ニ依リ其裁判ヲ爲スコトヲ得

第七條 即決ノ言渡確定シ若クハ正式裁判ノ言渡ヲ爲シタルトキハ憲兵部警察署



軍法會議ヨリ被告人所屬ノ長官若クハ隊長ニ其執行ヲ囑託スルコトヲ得  
第八條 軍法會議ノ裁判ニ對シテ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

○陸軍將校服制

○明治十九年七月七日勅令第四拾八號

朕陸軍將校服制ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

陸軍將校服制圖例并服制圖

稱名				第一種 帽			第二種 帽		
短	袴	軍	正	第一種	第二種	第一種	第二種	第三種	
短	袴	軍	正	夏	日	夏	夏	雨	
套	覆	袴	衣	套	覆	套	覆	套	
劍	懸	飾	飾	劍	懸	劍	懸	劍	
刀	章	帶	緒	刀	章	刀	章	刀	
緒	緒	緒	帶	緒	緒	緒	帶	緒	

第 一

名				第 二				第 三			
少	中	大	軍	少	中	大	監	少	中	大	監
醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
監	正	監	監	監	正	監	監	監	正	監	監
近衛隊	緋	緋	緋	緋	緋	緋	緋	緋	緋	緋	緋
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

種 二 第						
上等監護	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	軍醫總監	將官
同	同	同	同	同	同	濃紺絨
同	同	同	同	同	同	金色 中心ヨ 尖頭 五分
同	同	同	同	同	同	黒
同	同	同	同	同	同	草
黄	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	獸藥軍監屯輜工砲騎歩	近衛隊ハ紺絨	將官 紺絨
絨	深緑絨	深緑絨	深緑絨	深緑絨	深緑絨	監督長花色藍絨
大線幅一寸 七分 頂端線幅一分 五分	同	同	同	同	同	大線幅六分 小線幅一分 頂端線幅一分 五分
但小線ヲ附セス 大線一條トス	但書同シ	但小線ヲ附セス	但書同シ	但書同シ	但小線ヲ一條トス	下部高サ一寸七分 強 大線小線各二條 線ノ間ハ各一分 頂端線ハ噴ミ出シ ニ附ス
同	同	同	同	同	同	同

名	種									
	下副官	二等軍樂長	上等監護	一等軍樂長	三等軍醫	二等軍醫	一等軍醫	少尉	中尉	大尉
稱	近衛隊ハ紺絨	黒天鵝絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨	濃紺絨
地	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
質	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
星章	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
眼庇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
庇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
横	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
章	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
式	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

職等	一 等	二 等	三 等	二 等	一 等	騎 兵	大	中	少	憲 兵	砲 兵	工 兵	輜 重 兵	屯 田 兵
稱	軍醫	醫	醫	監	少	中	大	中	少	大	中	中	中	少
地質	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
卸	將官ニ同 縫銀線 一分幅	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
品質	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
式	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
袖	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

職等	軍醫	監 督	少 將	中 將	大 將	大	中	少	正	名	帽
稱	軍醫	監	少	中	大	大	中	少	正	大	中
地質	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
卸	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
品質	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
式	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
袖	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
製	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同



袴											
憲兵		砲兵		工兵		二等軍樂		監軍		騎兵	
憲兵		砲兵		工兵		二等軍樂		監軍		騎兵	
下副官		下副官		上等監議		軍樂長		醫官		尉佐官	
屯田兵	憲兵	紺	濃	紺	濃	紺	濃	紺	濃	紺	濃
藍霜降絨	藍絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
但書同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

衣									
憲兵		砲兵		工兵		二等軍樂		騎兵	
憲兵		砲兵		工兵		二等軍樂		騎兵	
下副官		下副官		上等監議		軍樂長		尉佐官	
屯田兵	憲兵	紺	濃	紺	濃	紺	濃	紺	濃
藍霜降絨	藍絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨	紺絨
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
但書同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

名	雨				套				
	下副官	准尉官及相当官	佐官及相当官	将官及相当官	下副官	二等軍樂長	上等軍樂長	一等軍樂長	尉官
稱	副官	士官	尉官及相当官	将官及相当官	副官	軍樂長	軍樂長	軍樂長	尉官
地質	紺絨	黒毛絹	濃紺絨	濃紺絨	同	同	同	同	同
胸章	同	同	黒角徑五分五厘	黒角徑五分五厘	同	同	同	同	同
品質									
袖章									
製式	同	同	長手甲ノ隠ルチ襟幅二寸	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同	同

名	外				袴短		
	獸醫	軍醫	少將	中將	尉官及相当官	将官及相当官	騎兵下副官
稱	獸醫	軍醫	少將	中將	尉官及相当官	将官及相当官	騎兵下副官
地質	同	同	濃紺絨	濃紺絨	袴地ニ同シ	白絨或ハ白革	絨
卸	同	同	黒角徑五分五厘	黒角徑五分五厘	袴ノ側章ニ同シ		絨
袖章							同
製式	同	同	長手甲ノ隠ルチ襟幅二寸	同	同	物入四箇ヲ付ス	佐官ニ同シ但小線一條ヲ附シ其裾口ヲ裂ク凡五寸之レニ角卸各二箇ヲ付ス
形状	同	同	同	同	同	同	同



大		中		少		節	
將	將	將	將	將	將	將	將
金線三條 緋絹絲 線四條 幅各二分 五厘ノ筋織	銀線三條 花色藍 絹線四條 幅各 二分五厘ノ筋織	銀線三條 深綠絹 絲線四條 幅各二 分五厘ノ筋織	白絹絲線三條 緋 絹絲線四條 幅各 二分五厘ノ筋織	白絹絲線三條 花 色藍絹絲線四條 幅各二分五厘ノ 筋織	白絹絲線三條 花 色藍絹絲線四條 幅各二分五厘ノ 筋織	白絹絲線三條 花 色藍絹絲線四條 幅各二分五厘ノ 筋織	白絹絲線三條 花 色藍絹絲線四條 幅各二分五厘ノ 筋織
金線長サ 帶共六寸 圓徑一寸五分 星章銀色中心ヨリ尖 頭ニ至ルニ二分五厘 トス而シテ大將ハ 三箇中將ハ二箇少 將ハ一箇ヲ各帶ノ 半面ニ附ス	銀線大サ前ニ同シ星 章金色大サ前ニ同シ	銀線大サ前ニ同シ星 章金色大サ前ニ同シ	金線長サ 帶共六寸 圓徑一寸五分	銀線大サ前ニ同シ	銀線大サ前ニ同シ	銀線大サ前ニ同シ	銀線大サ前ニ同シ
長 凡五尺其兩端總各一箇ヲ附ス 留金具 金色	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同

大		中		少		章	
將	將	將	將	將	將	將	將
九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘	九打金線徑二分 九打金線徑一分 八厘
石筭形金色長サ二寸 六分	同	同	同	同	同	同	同
金線長サ 二丈四尺五寸ノ兩端ヲ鎖狀組トシ 之レニ金具各一箇ヲ附ス	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同

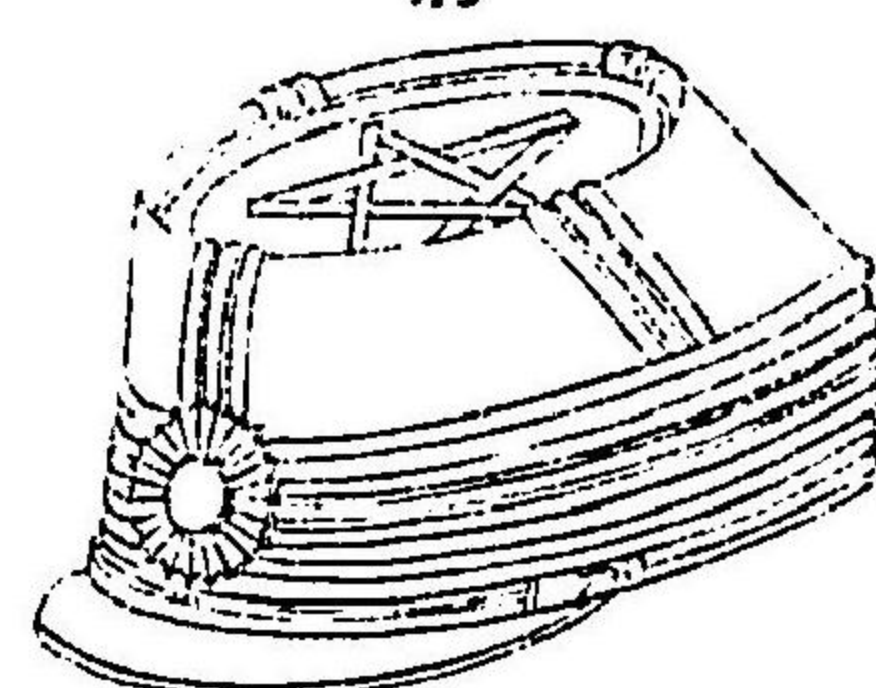
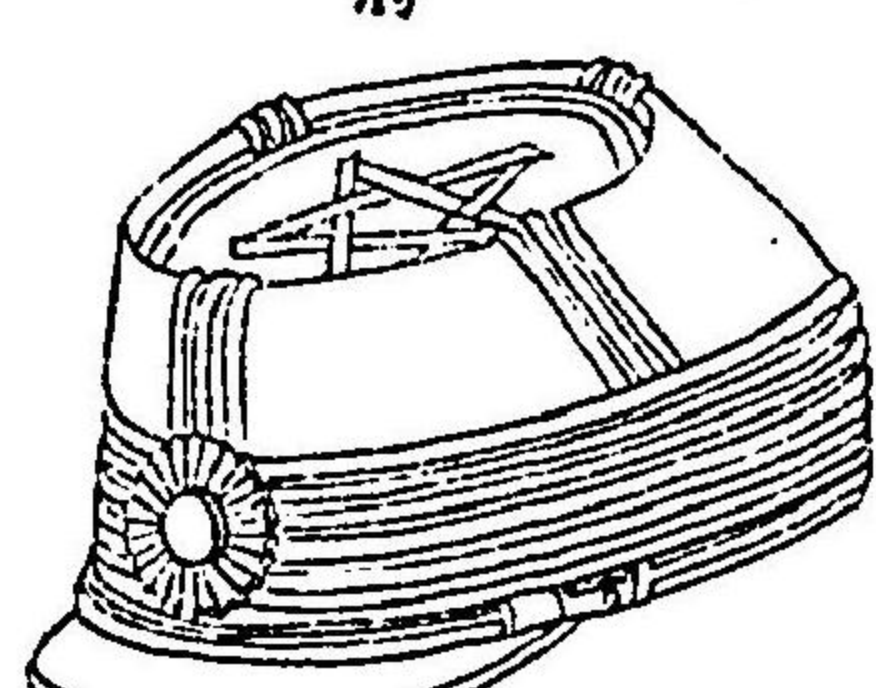
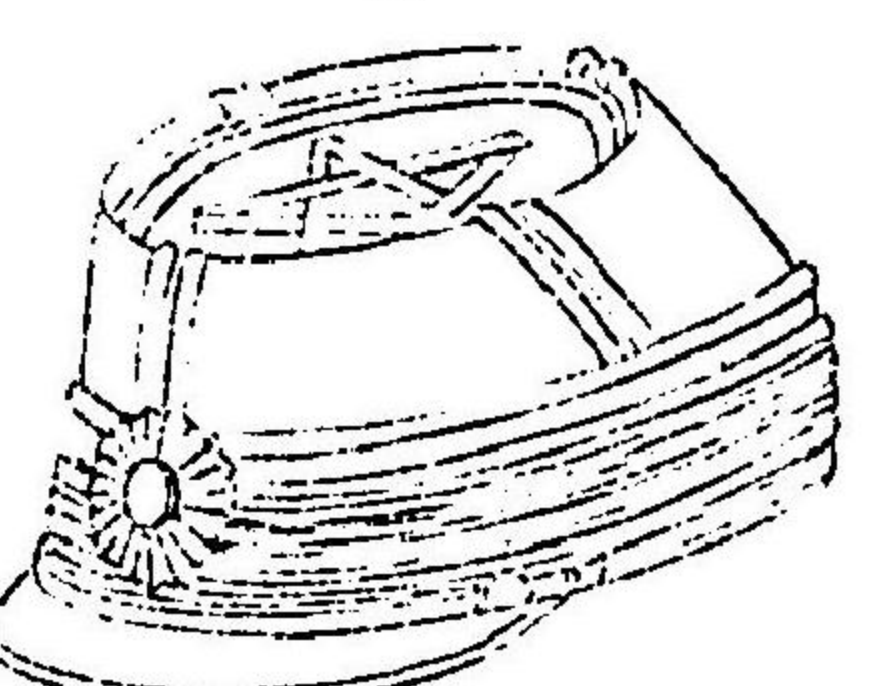
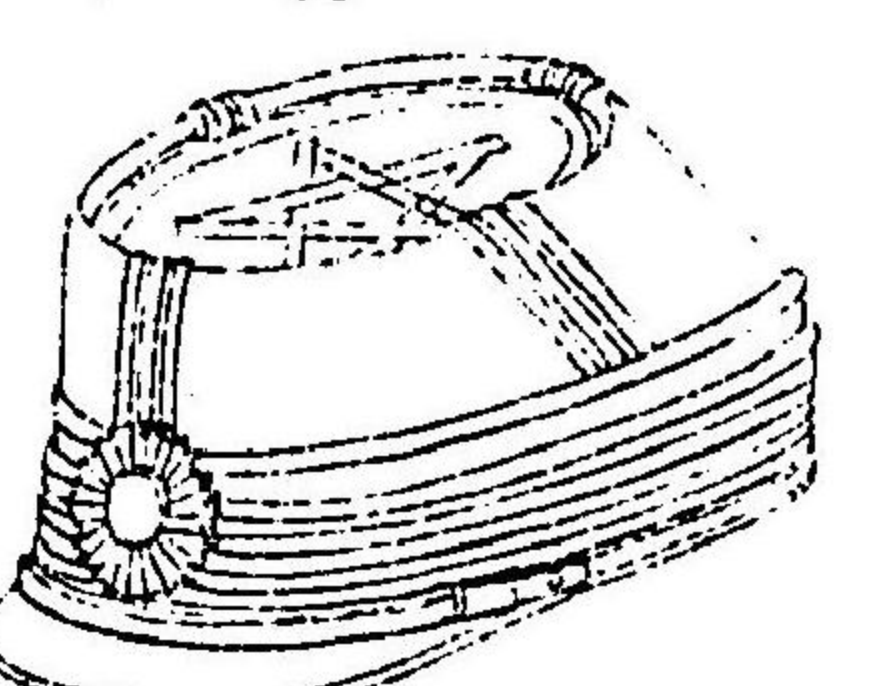
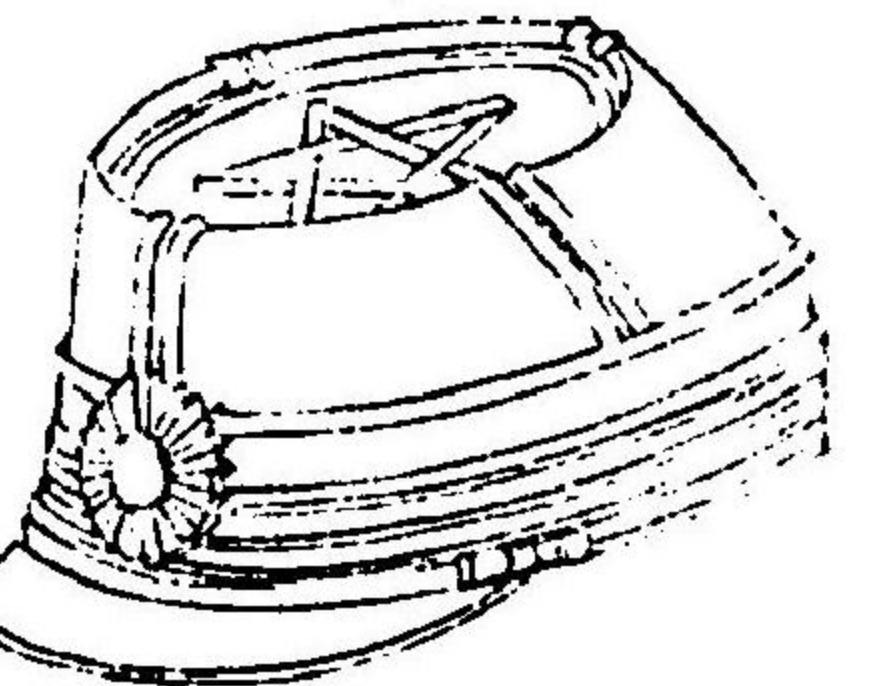
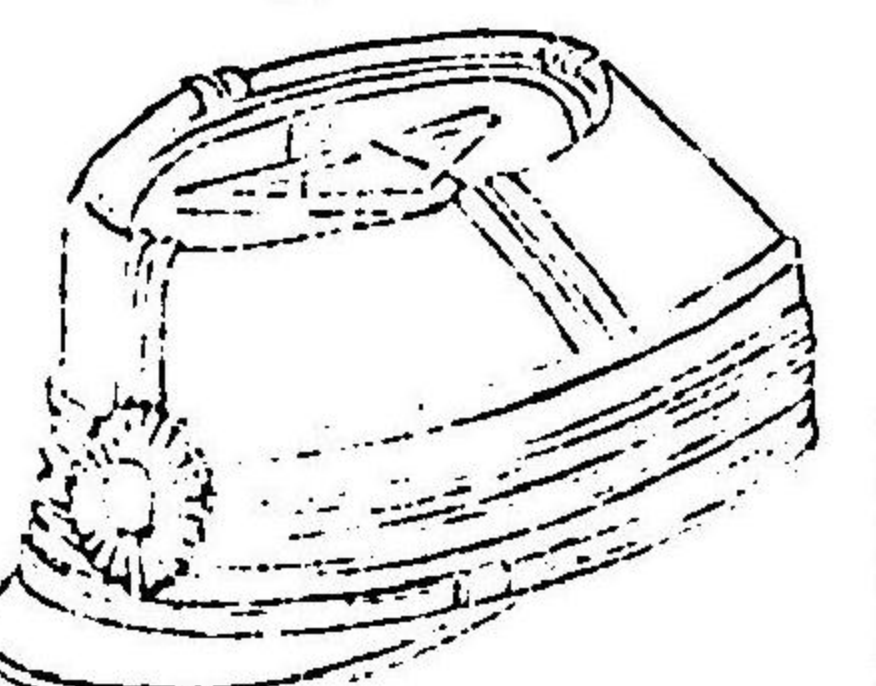


刀					名	獸藥軍軍監		
騎兵	一等軍	屯田兵	輜重兵	工砲兵	憲兵	將	劑	督
尉官	樂長	尉官	佐官	佐官	佐官	官	醫官	吏補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 曲五分	但書同シ	補
同	同	同	同	同	同	金色 櫻唐草	但電形ヲ附セス	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補
同	同	同	同	同	同	鐵鍬 三條背面ヲ覆 ハ石目櫻唐草ヲ置ク	同	補

劍					名	章	懸	帶		
獸藥軍軍監	軍監	少	中	大	稱	周巡衛	傳令使	一等軍樂長	獸藥軍軍監	
醫劑醫醫	醫總	醫長	將	將	將	番察	尉佐	尉佐	劑	督
監監正監督	監長	將	將	將	將	官	官	官	醫官	吏補
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

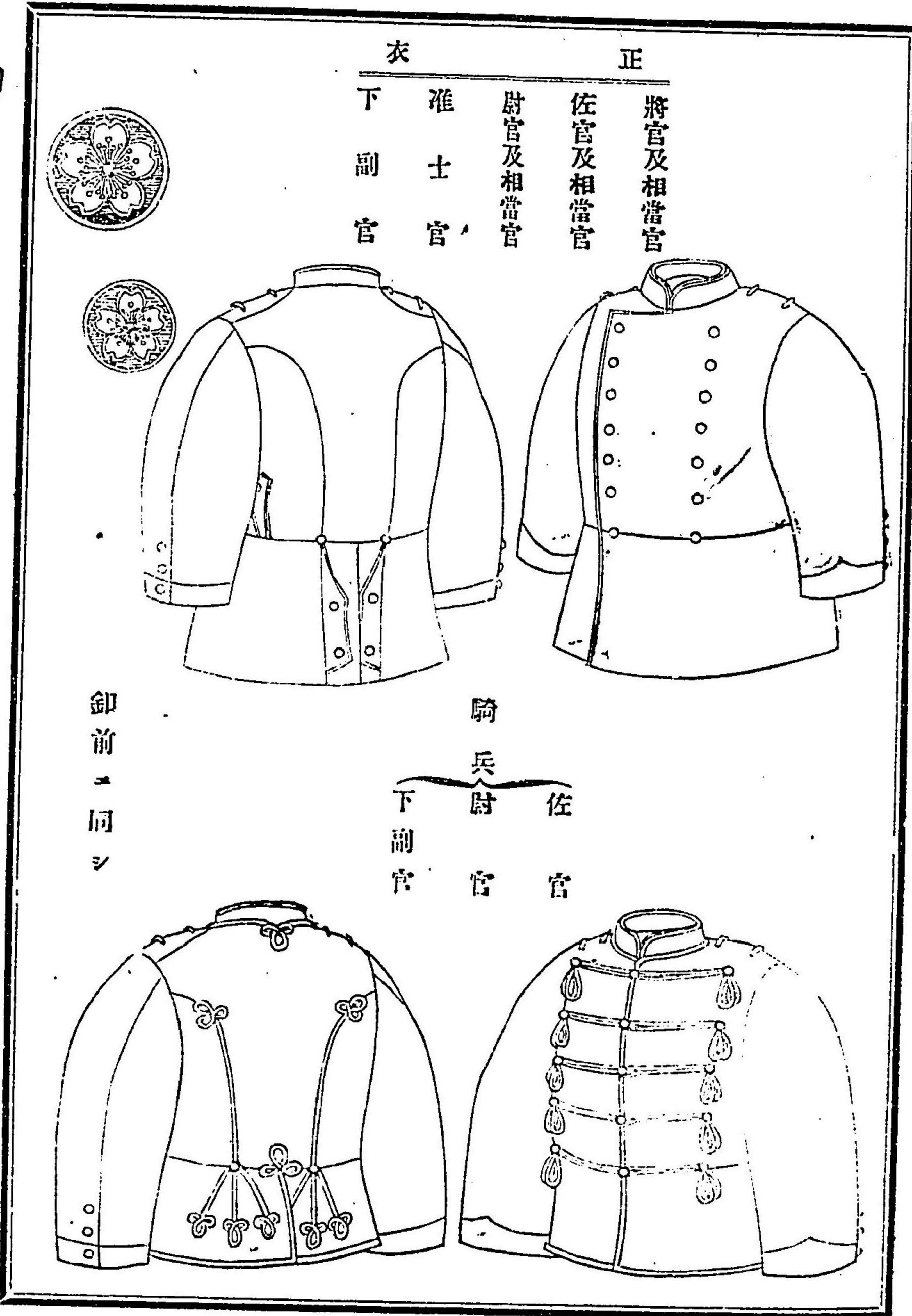
名	帶				刀			
	騎兵 下副官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 下副官	騎兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官
正	同	同	同	同	同	同	同	同
名	同	同	同	同	同	同	同	同
稱	同	同	同	同	同	同	同	同
品	同	同	同	同	同	同	同	同
價	同	同	同	同	同	同	同	同
前金具	同	同	同	同	同	同	同	同
製	同	同	同	同	同	同	同	同
式	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同
緒	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同

名	帶				劍			
	騎兵 下副官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 下副官	騎兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官	砲工砲歩憲二上 田重兵兵兵兵兵 尉佐 官官
正	同	同	同	同	同	同	同	同
名	同	同	同	同	同	同	同	同
稱	同	同	同	同	同	同	同	同
品	同	同	同	同	同	同	同	同
價	同	同	同	同	同	同	同	同
前金具	同	同	同	同	同	同	同	同
製	同	同	同	同	同	同	同	同
式	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同
緒	同	同	同	同	同	同	同	同
形状	同	同	同	同	同	同	同	同

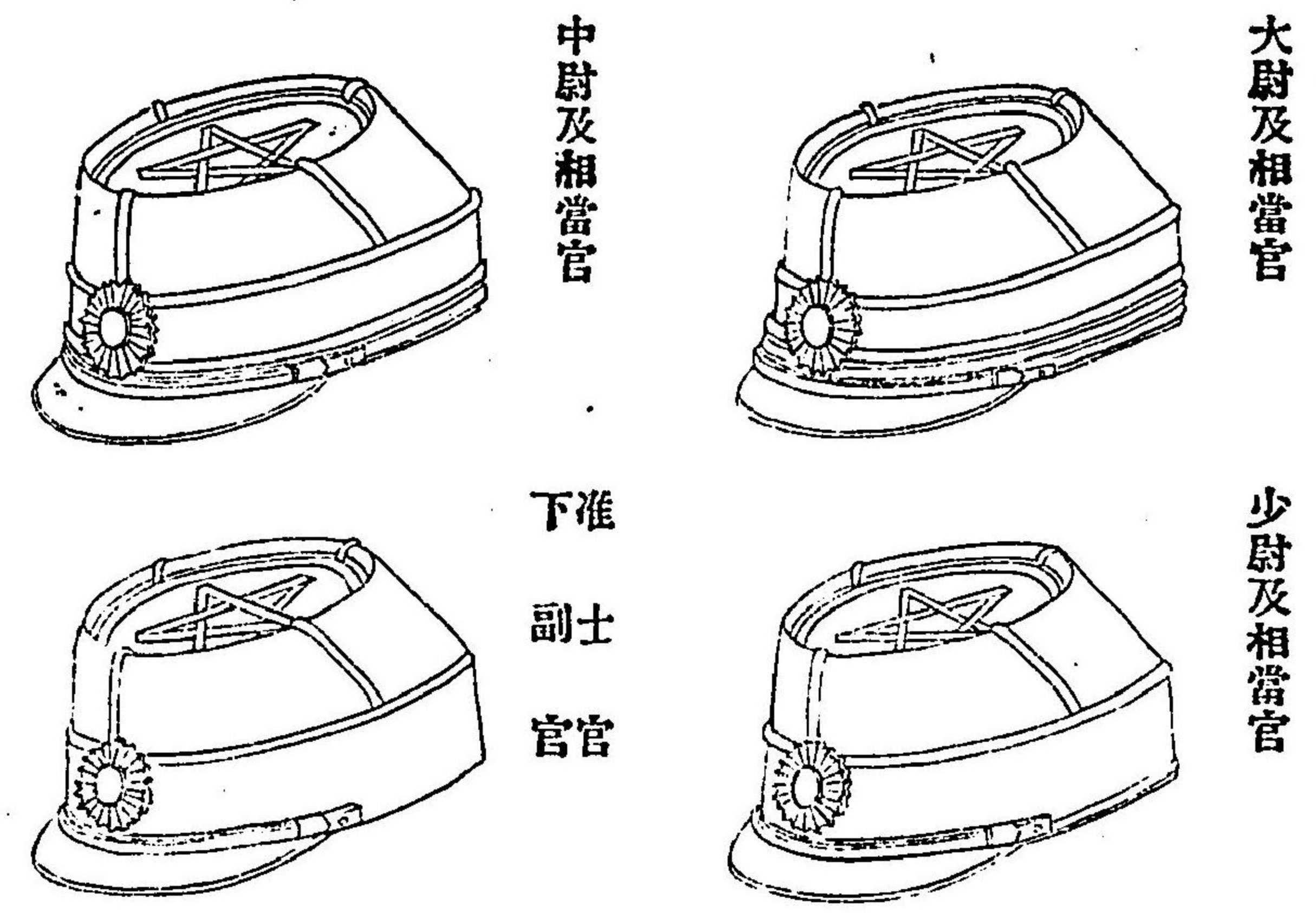
第一種 帽		刀 緒	
中	大	將	佐
將	將	將官	佐官
		正緒ニ同シ	正緒ニ同シ
大佐及 相當官	少將及 相當官		
		正緒ニ同シ	同
少佐及 相當官	中佐及 相當官		
		同	同

劍 緒		緒	
獸藥軍獸藥軍軍軍監監軍監將	獸藥軍軍監尉	獸藥軍軍監尉	獸藥軍軍監佐
劑 醫劑醫醫 督	劑 督	劑 督	劑醫醫
醫官醫監監正監吏補督	醫官醫監監正監吏補督	醫官醫監監正監吏補督	醫官醫監監正監督
黑絹絲 長サ一寸五分圓徑中央ニテ八分	正緒ニ同シ	黑護謨革 長サ二寸二分圓徑上部下部共ニ五分	相當官ハ銀線 長サ共ニ二寸五分圓徑中央ニテ九分五厘
同	同	黑絹絲九打徑一分五厘 長サ三尺二寸ヲ折返シ兩端ヲ合シ總ヲ附ス 緒締正緒ニ同シ	佐官ハ銀線 九打徑一分五厘 長サ二尺二寸ヲ折返シ兩端ヲ合シ總ヲ附ス 緒締相當官ハ銀線 幅三分五厘圓徑四分五厘
同	同	同	同

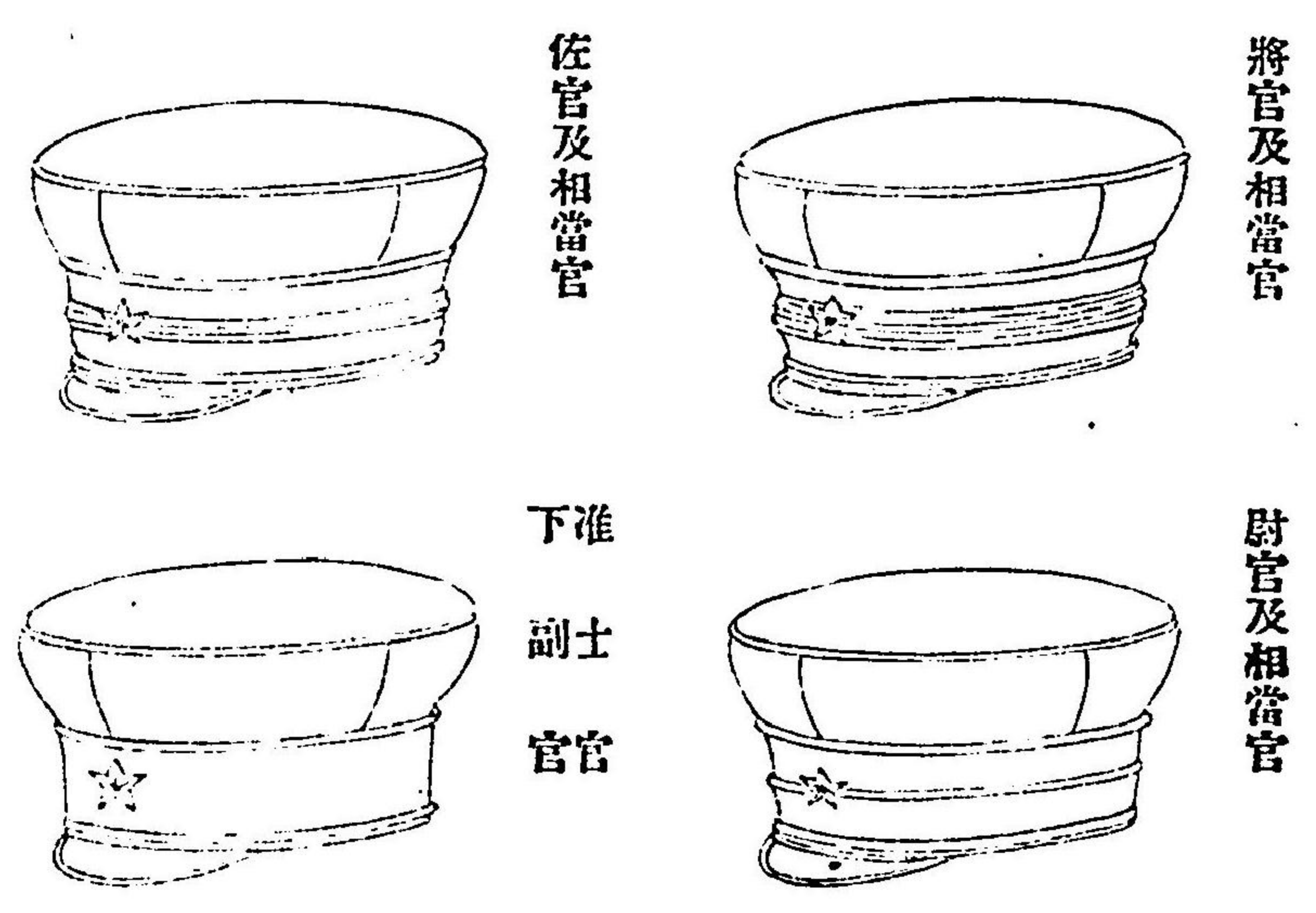
リ



帽種一第

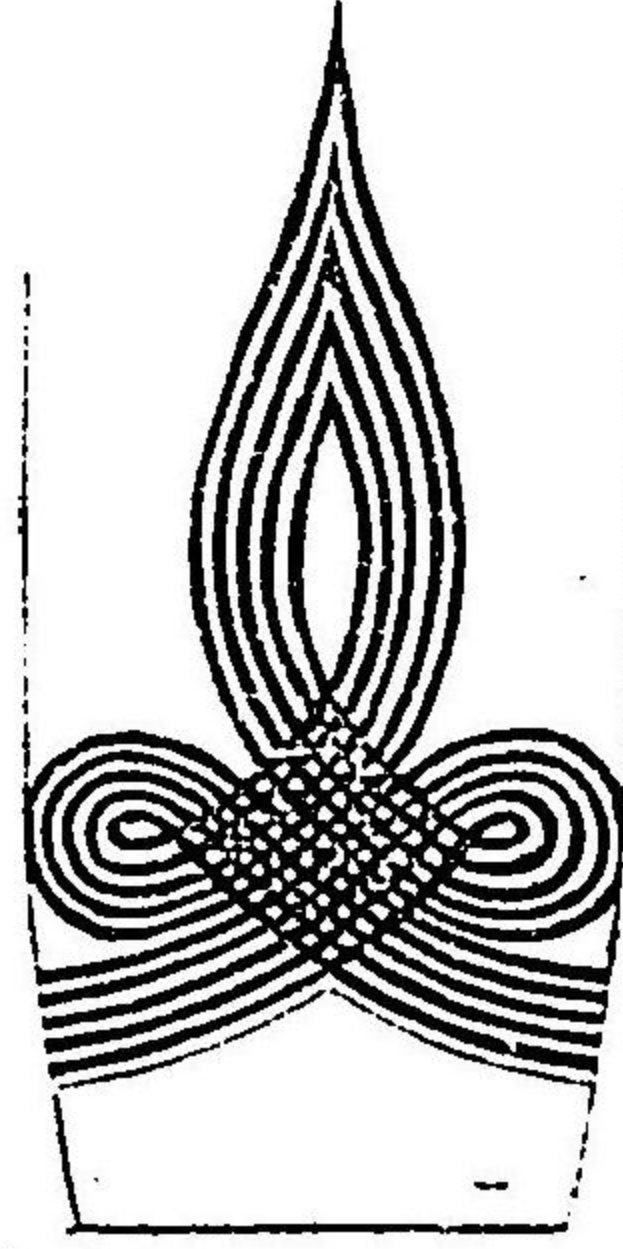


帽種二第

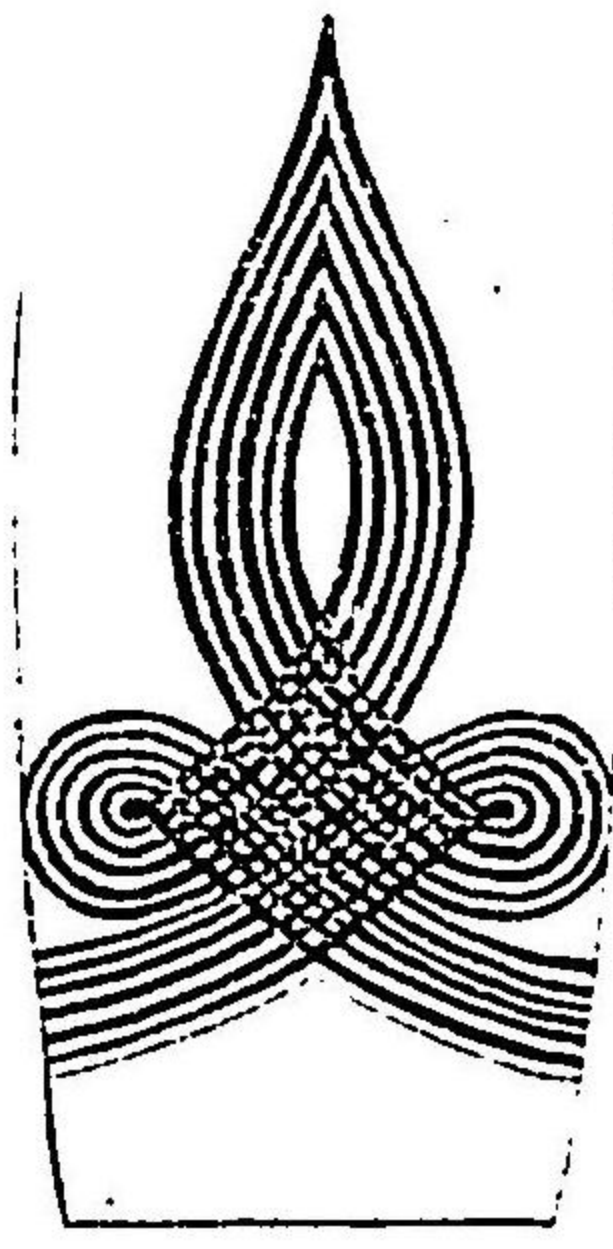


正衣袖章

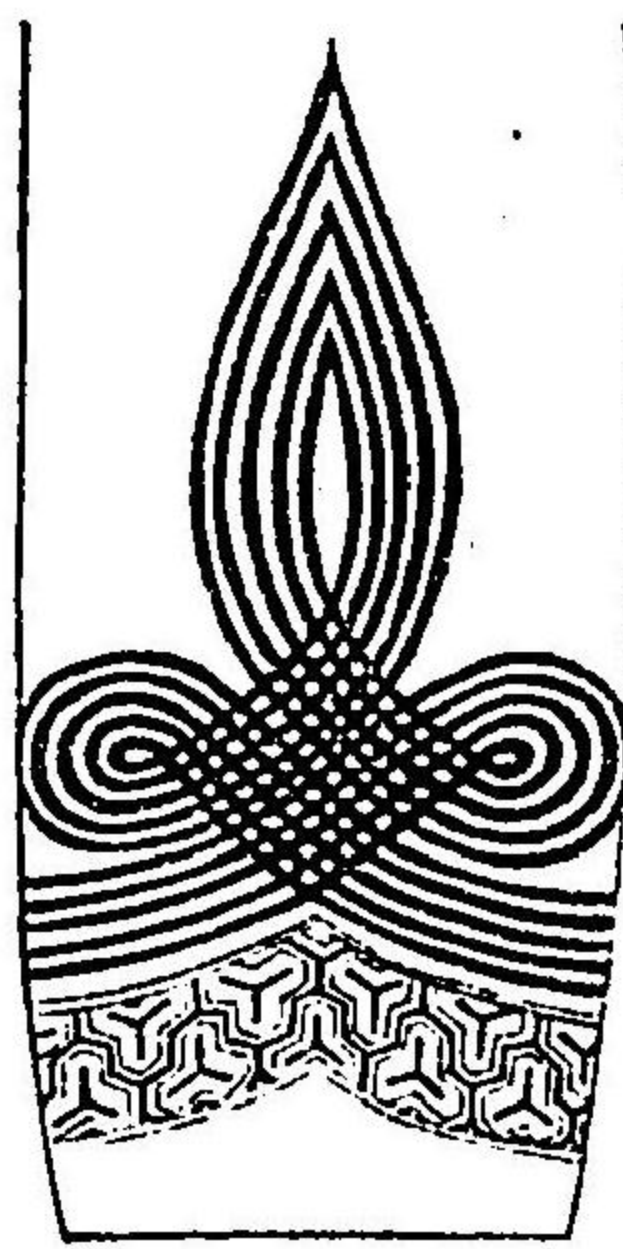
中佐及相當官



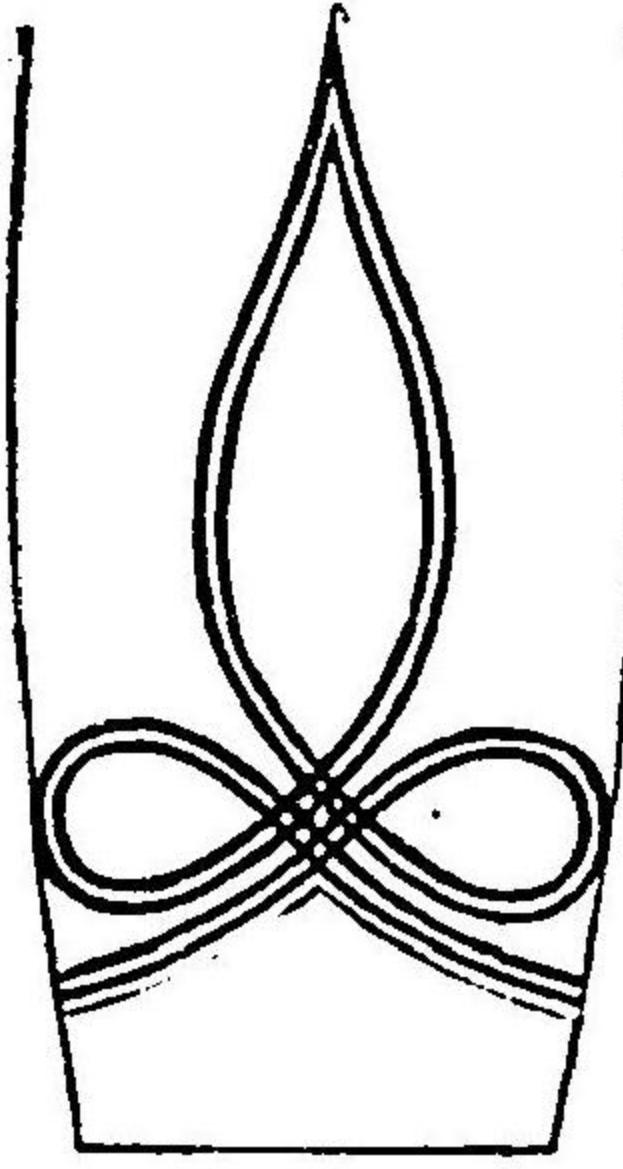
大佐及相當官



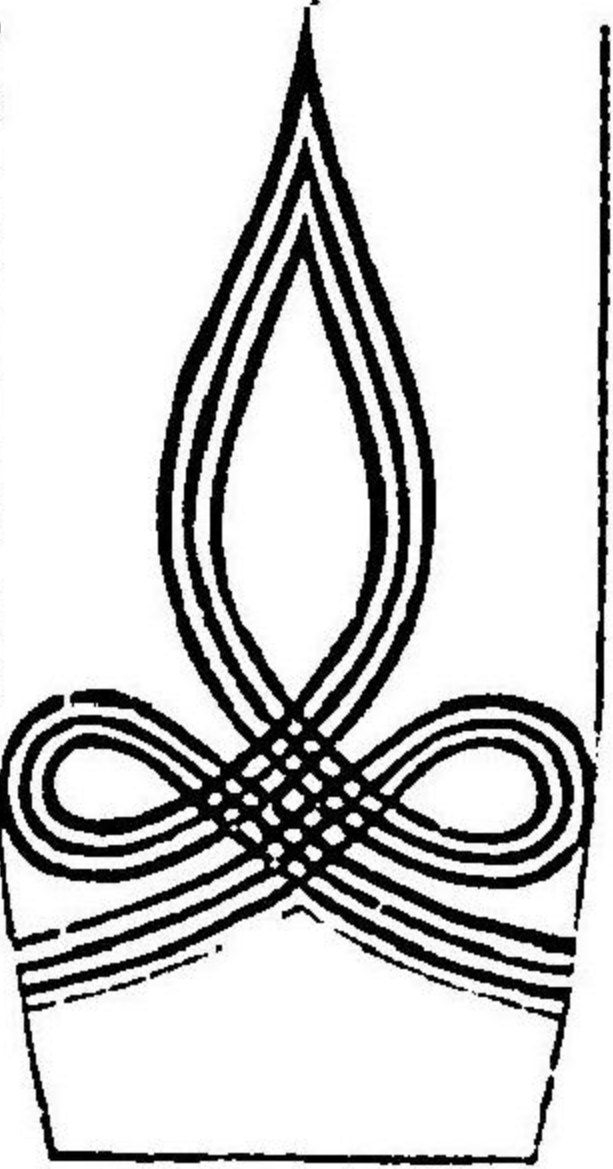
少將及相當官



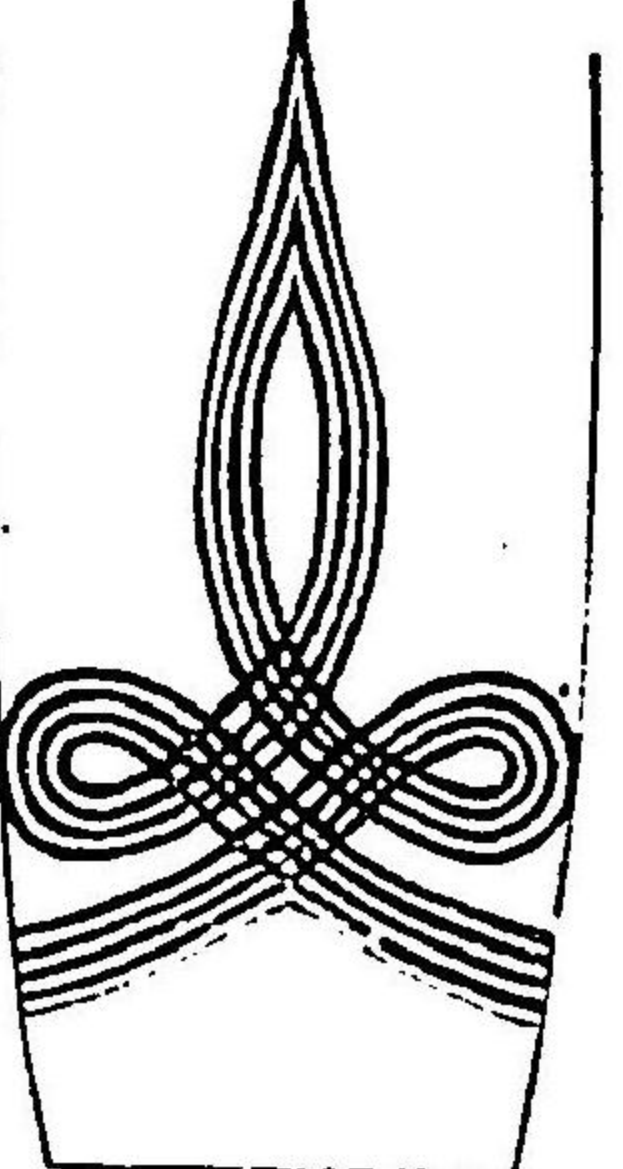
中尉及相當官



大尉及相當官

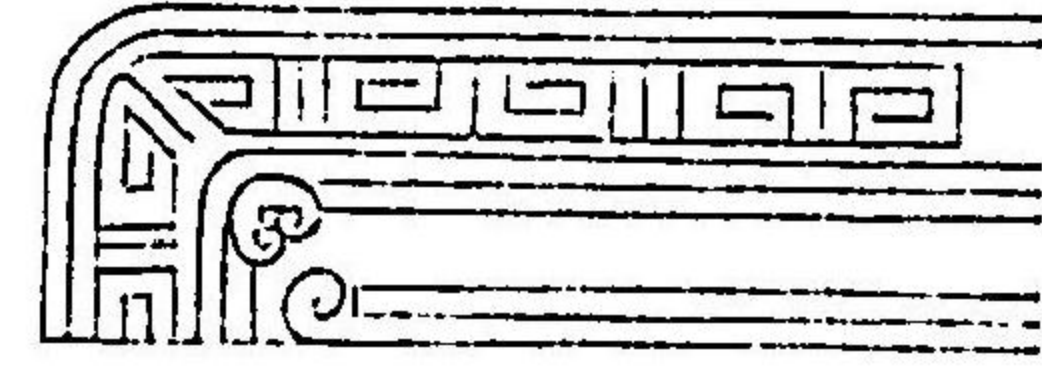


少佐及相當官

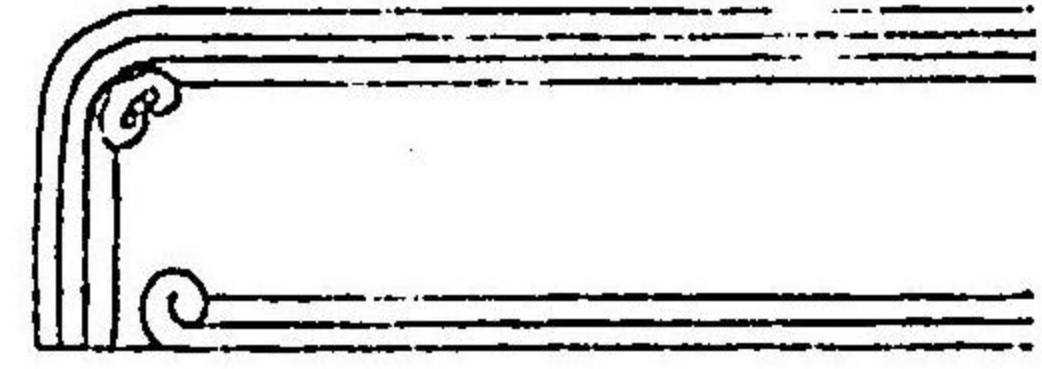


正衣襟章

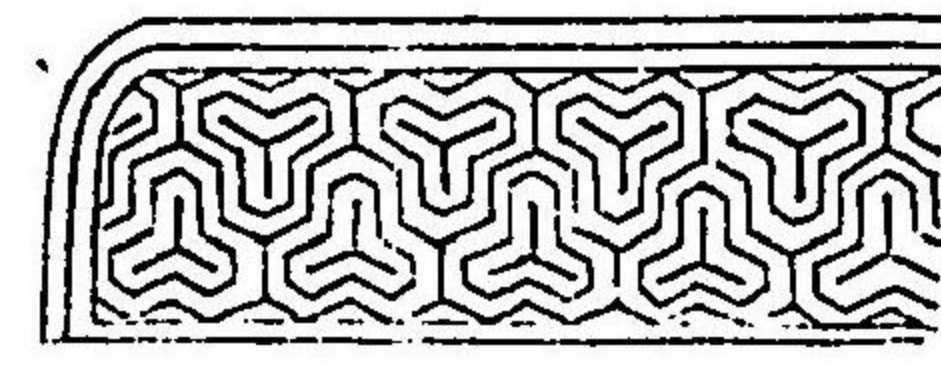
佐官及相當官



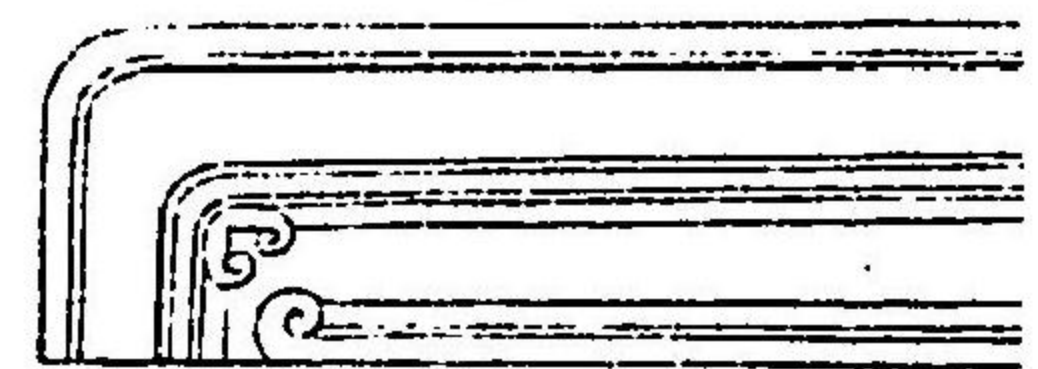
准  
士  
官



將官及相當官

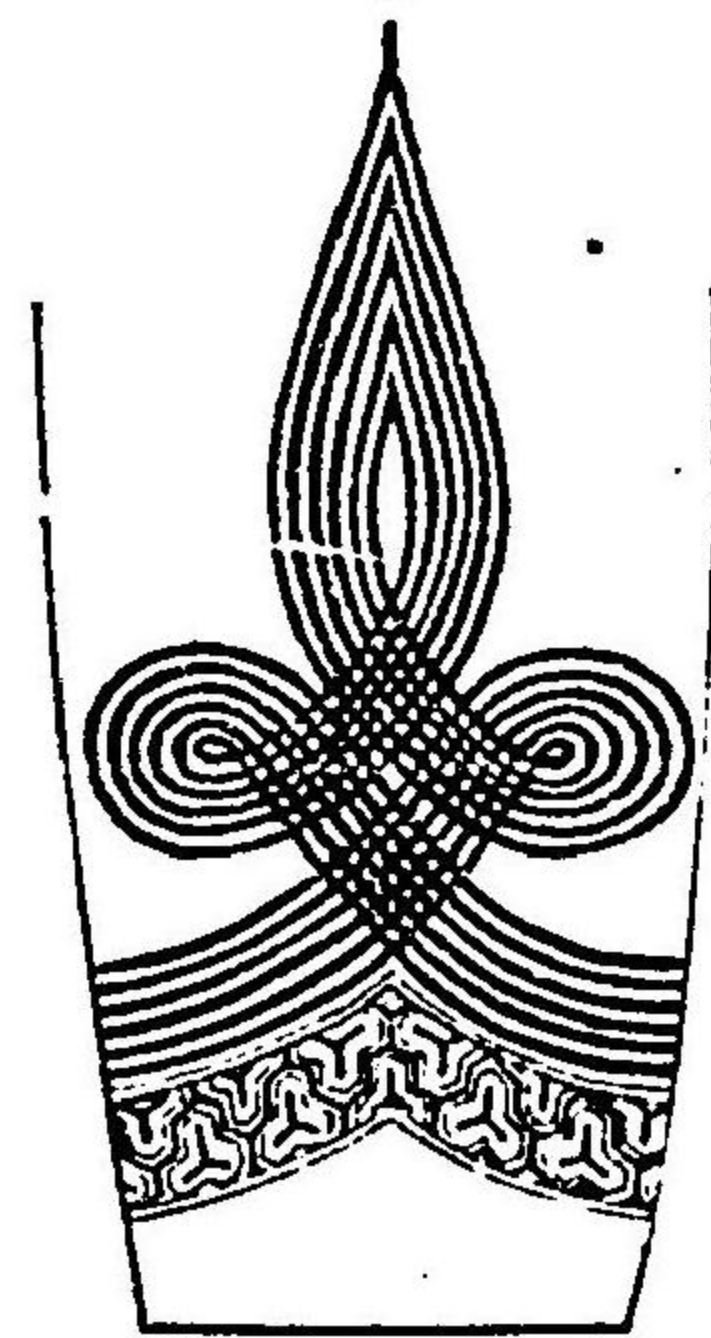


尉官及相當官

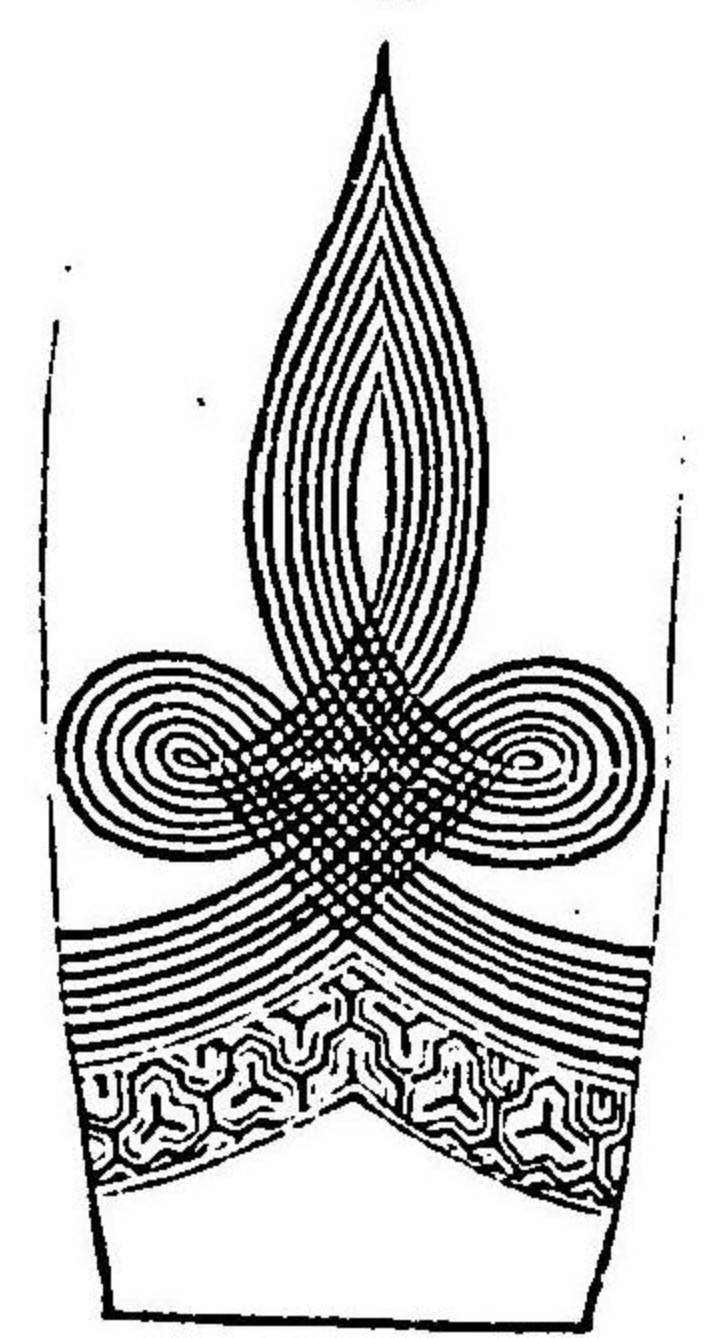


正衣袖章

中  
將



大  
將

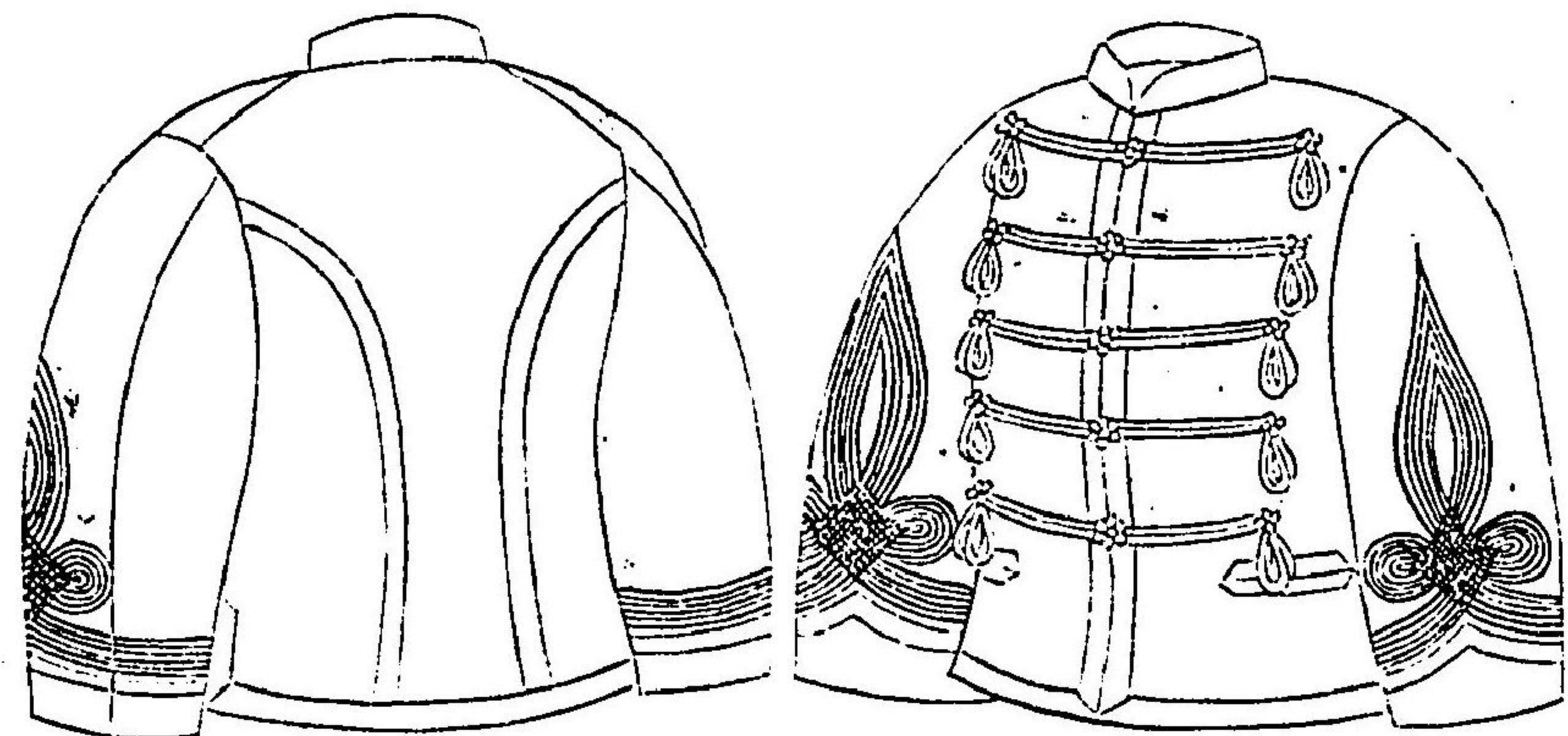


リ

軍 衣

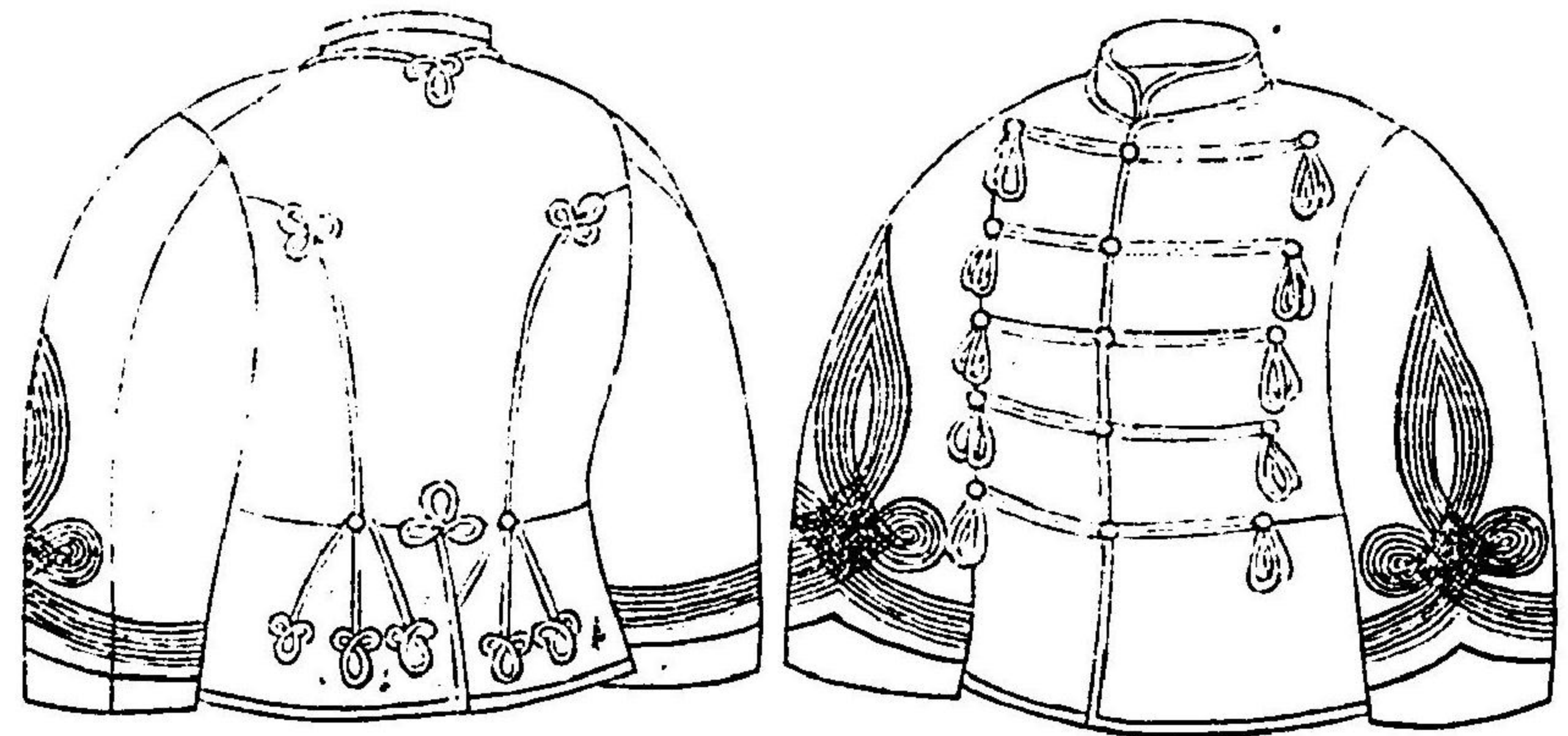
中佐及相當官以下  
准士官以下副官  
其之線數ハ正  
袖章ノ線數ハ正  
衣ニ同シ

大佐及相當官



中佐以下及下副官  
其袖章ノ線數ハ正  
衣ニ同シ

騎兵大佐

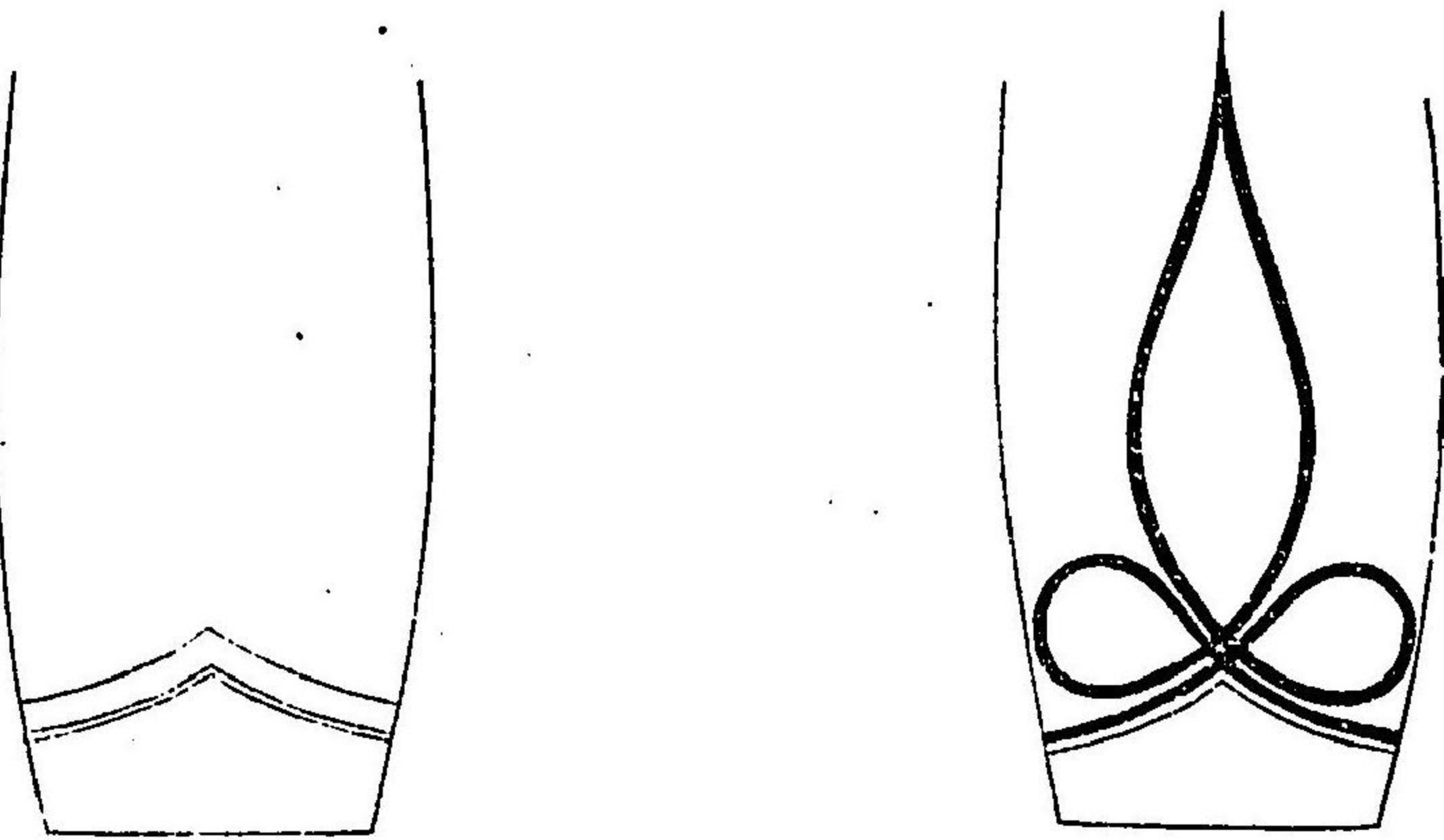


百三十三

正 衣 袖 章

准士官  
下副官

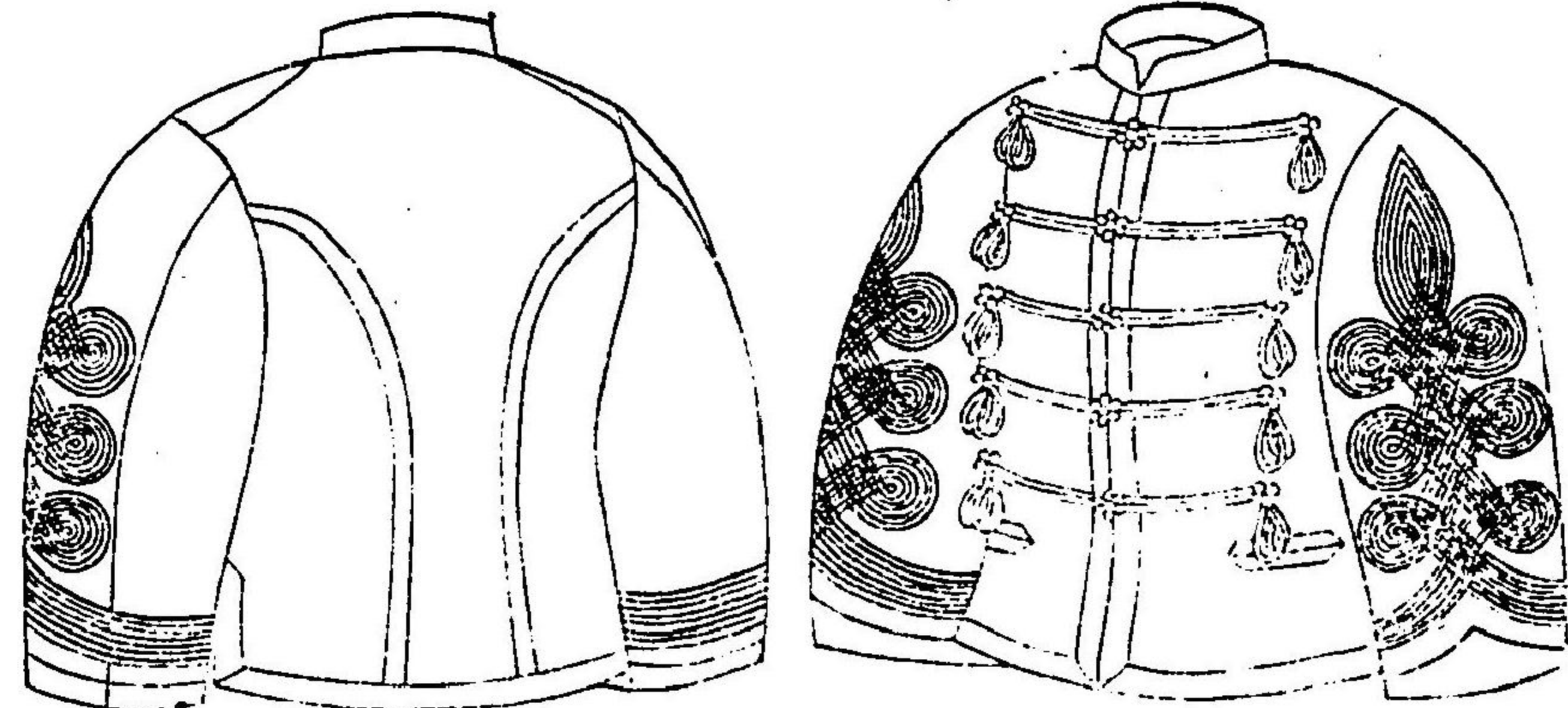
少尉及相當官



軍 衣

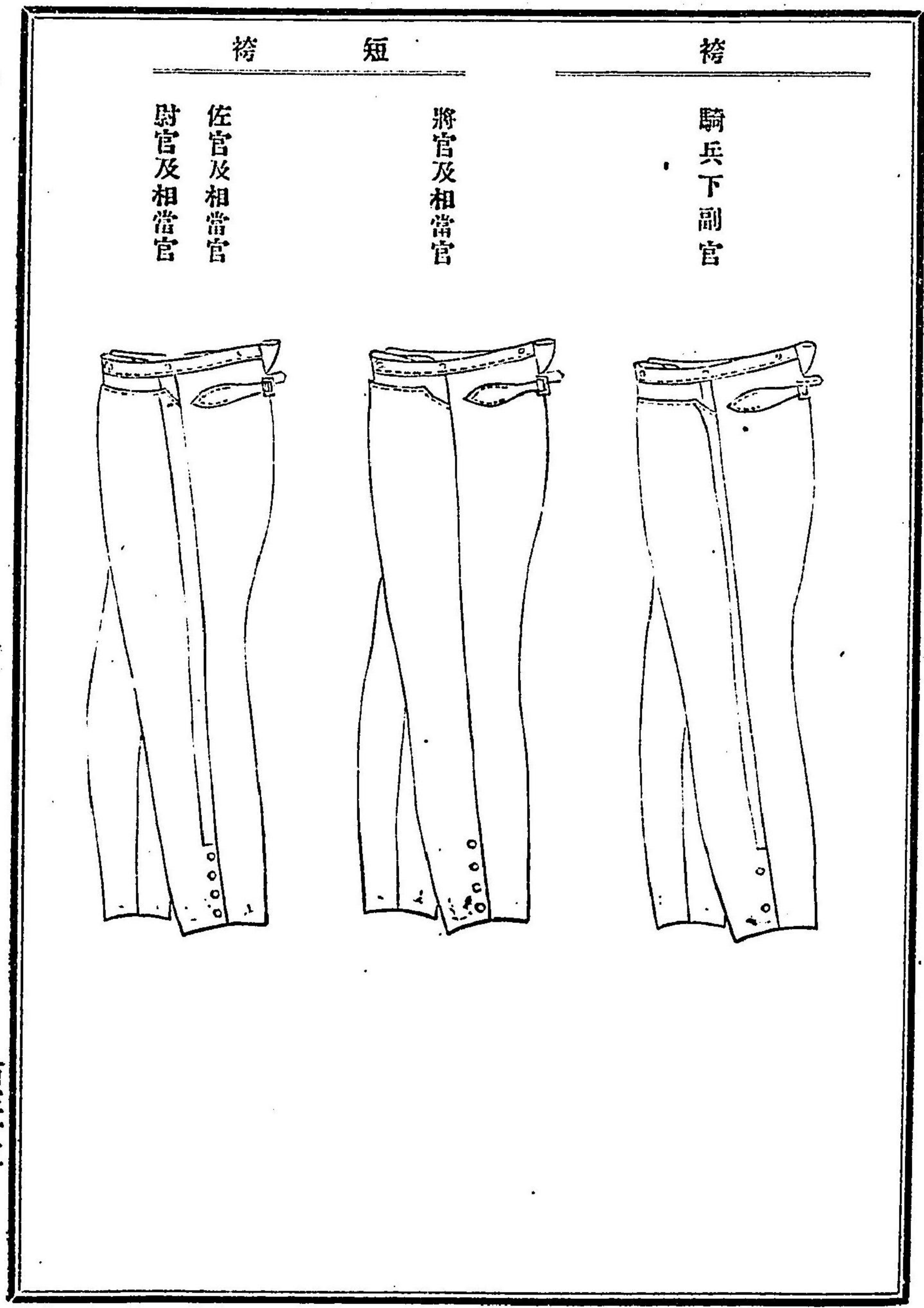
大將

中將少將及相當官  
其袖章ノ線數ハ正  
衣ニ同シ

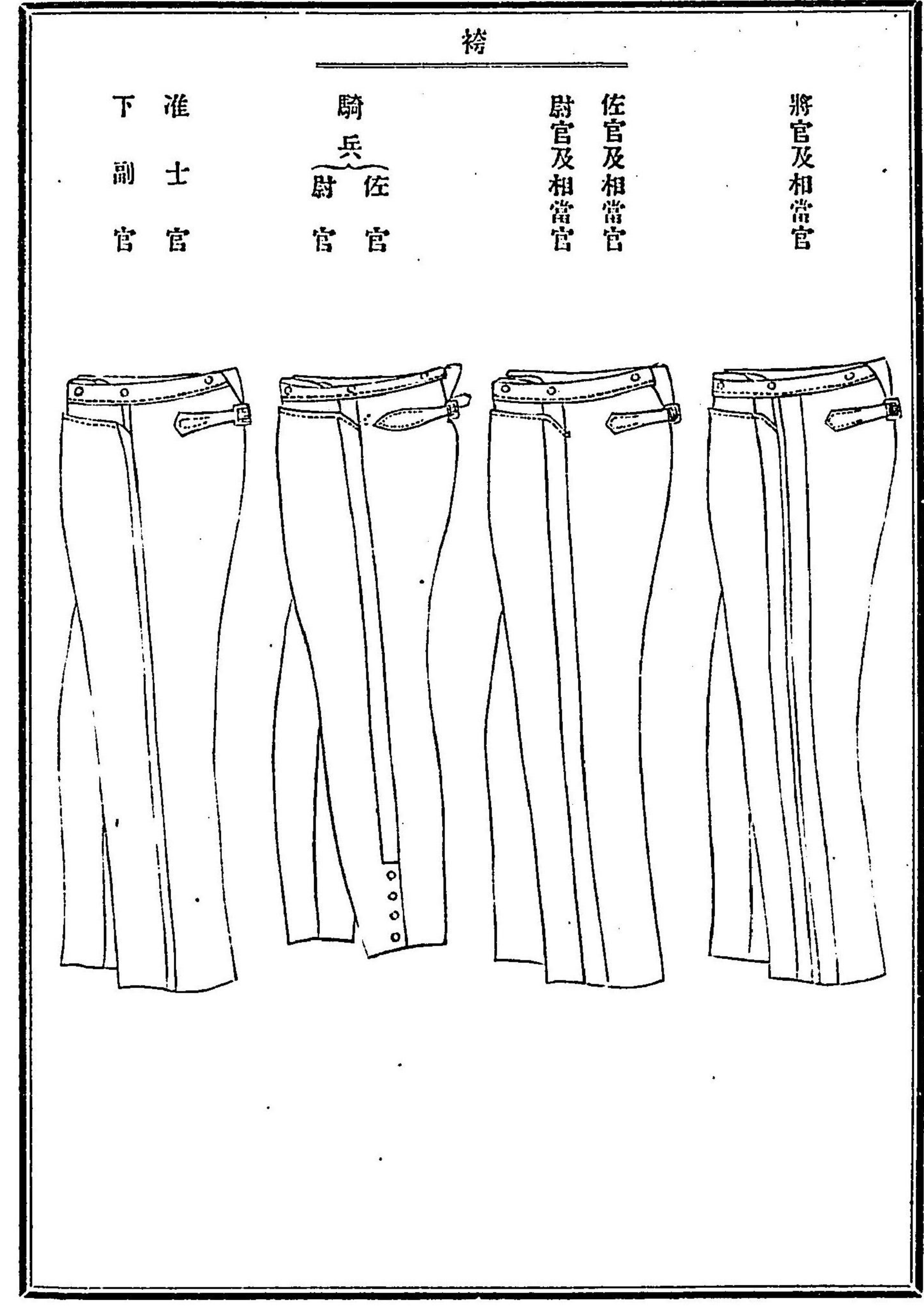


百三十一

リ



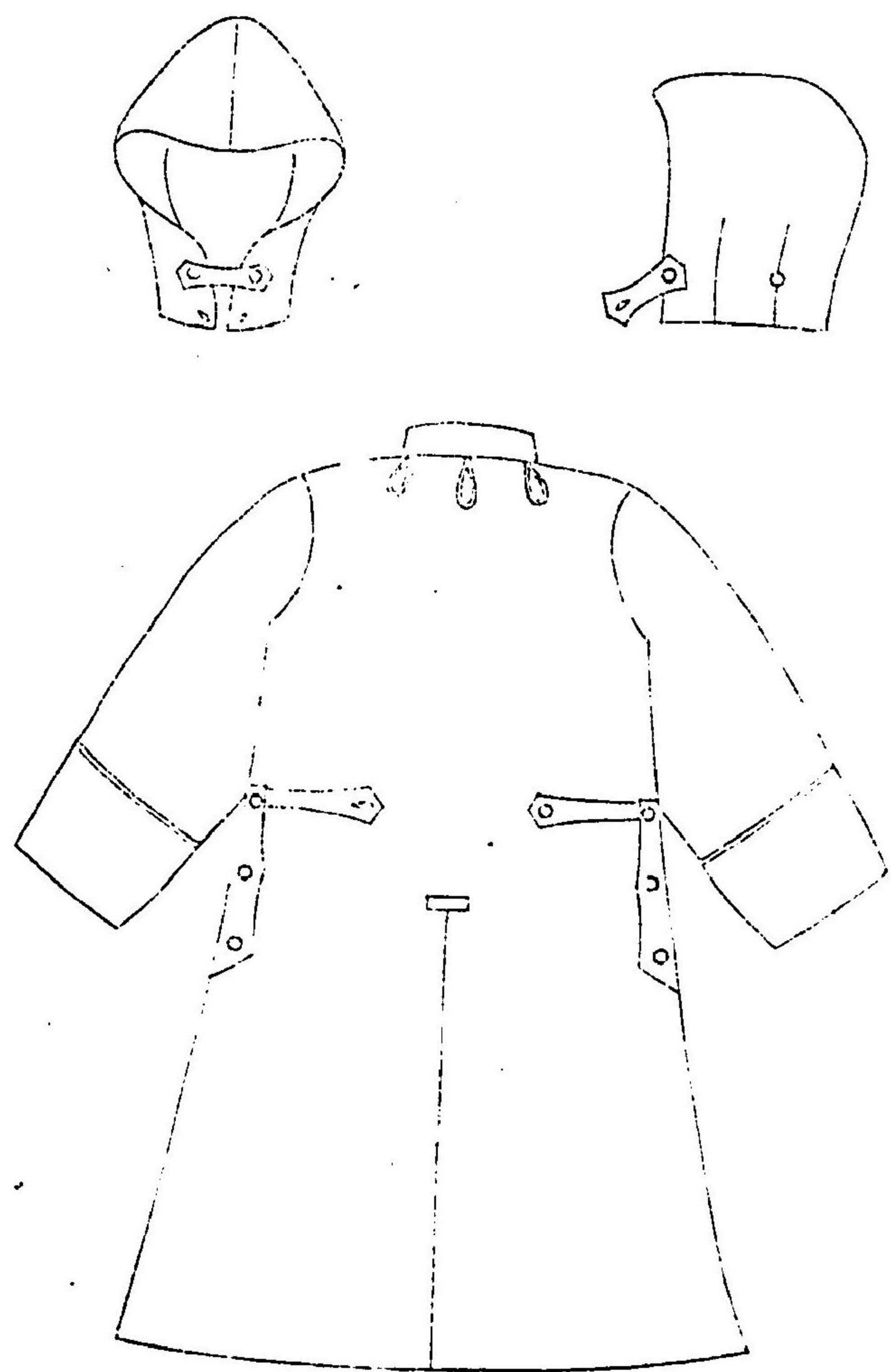
百三十五



百三十四

リ

外 套



百三十七

外 套

卸正衣用ニ同シ

將官及相當官  
 佐官及相當官  
 尉官及相當官  
 准士官  
 下副官



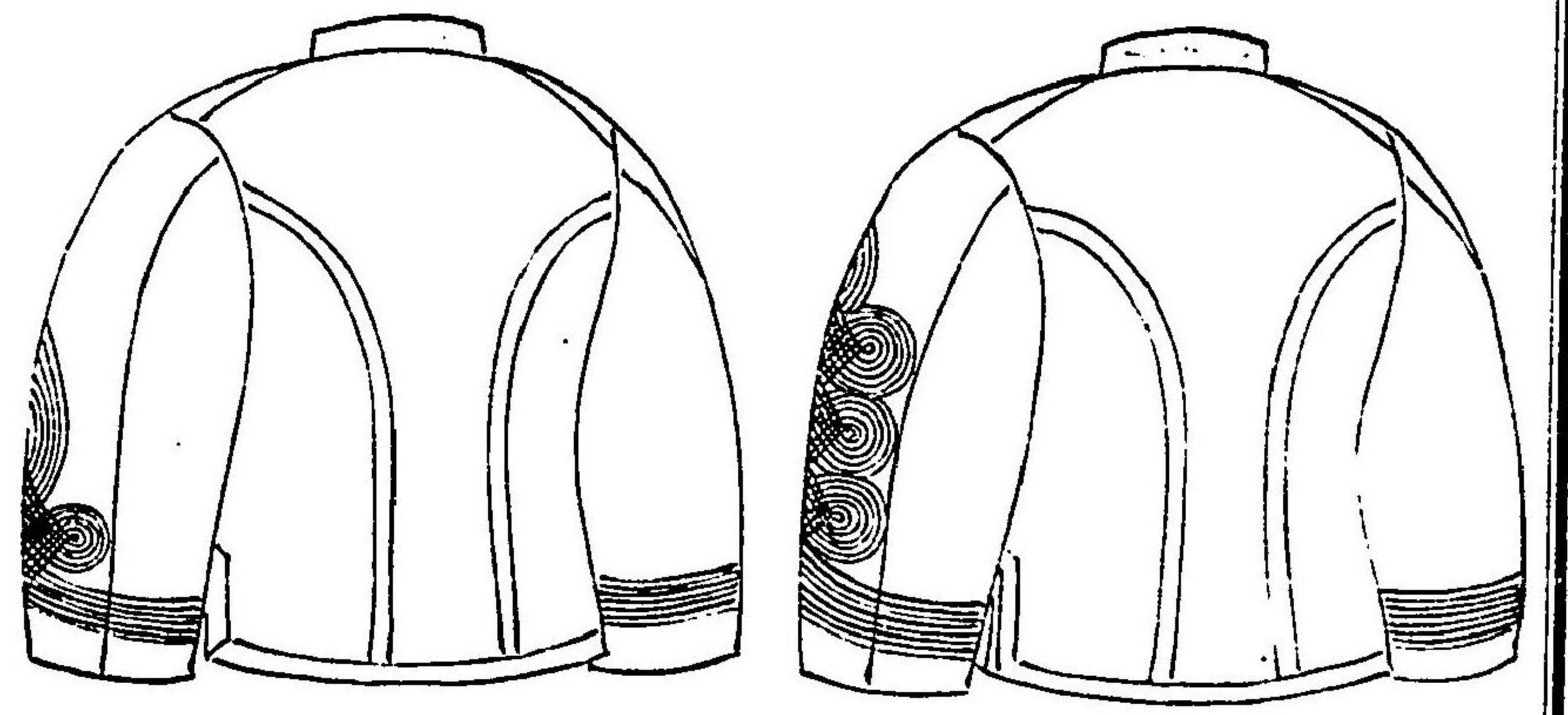
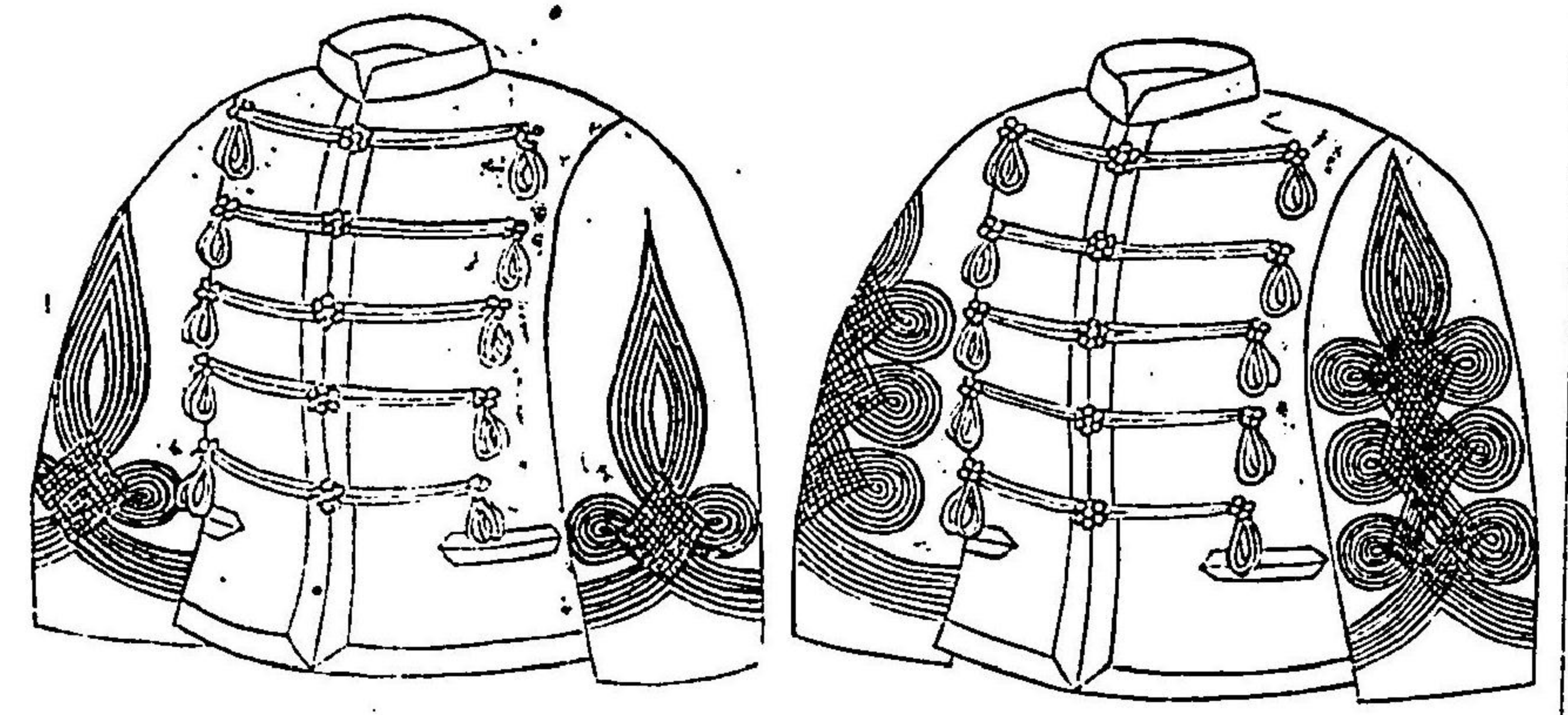
百三十六



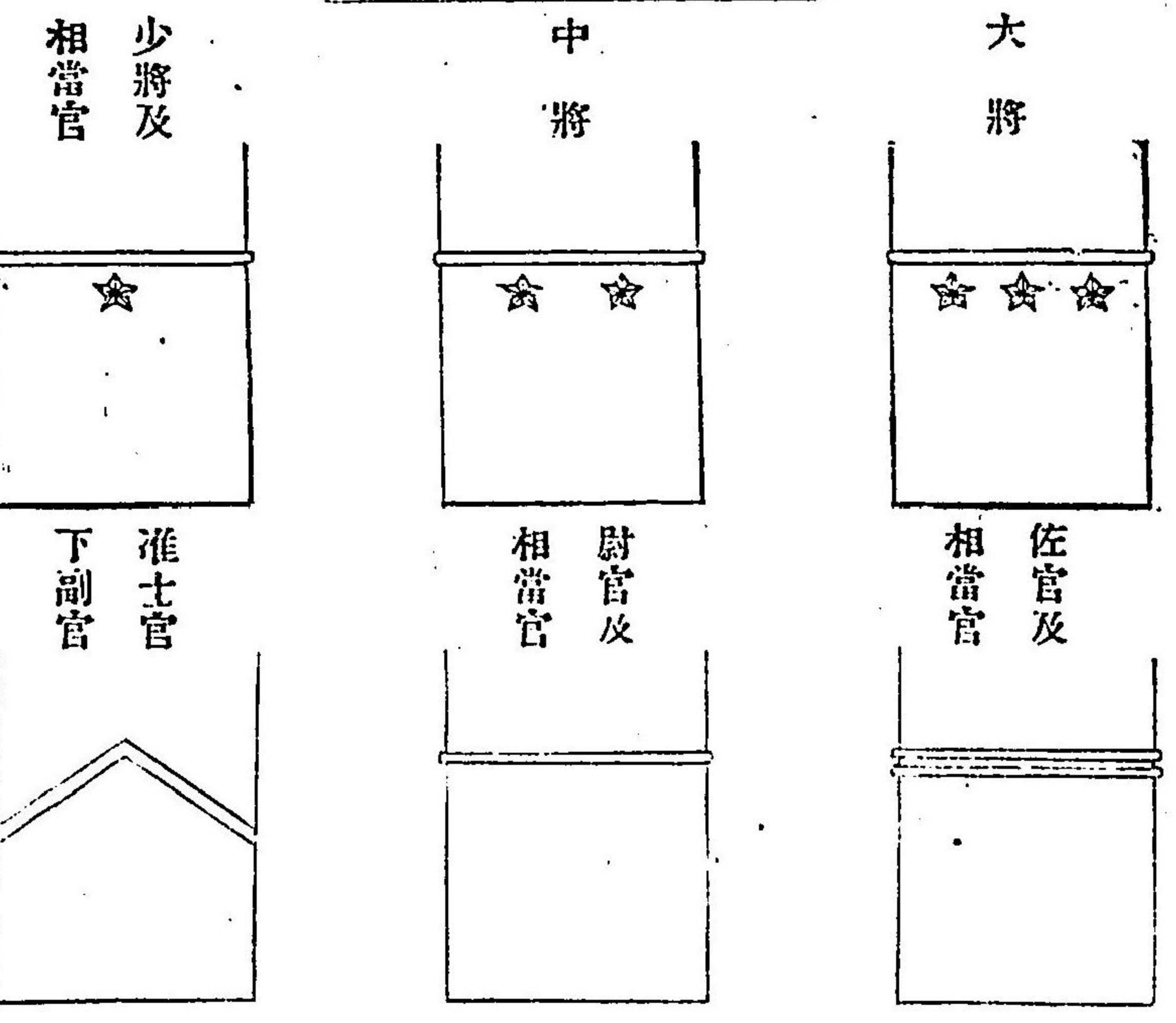
夏衣

大佐及相當官  
 中佐及相當官  
 以下准十官  
 副官共之  
 同其袖章  
 線數ハ正衣  
 同シ

大將  
 中將少將及  
 相當官之レ  
 同シ其袖章  
 線數ハ正衣  
 同シ

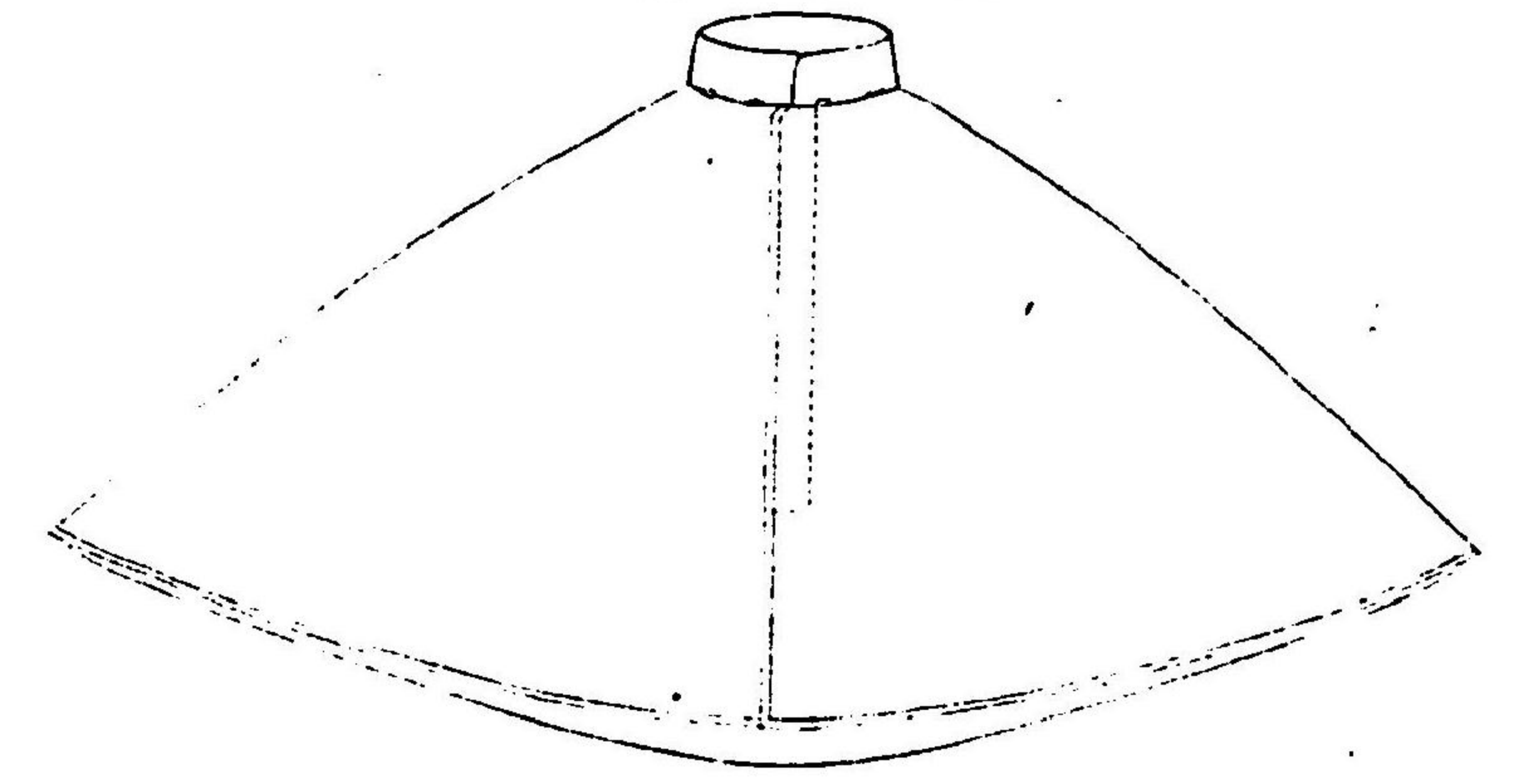


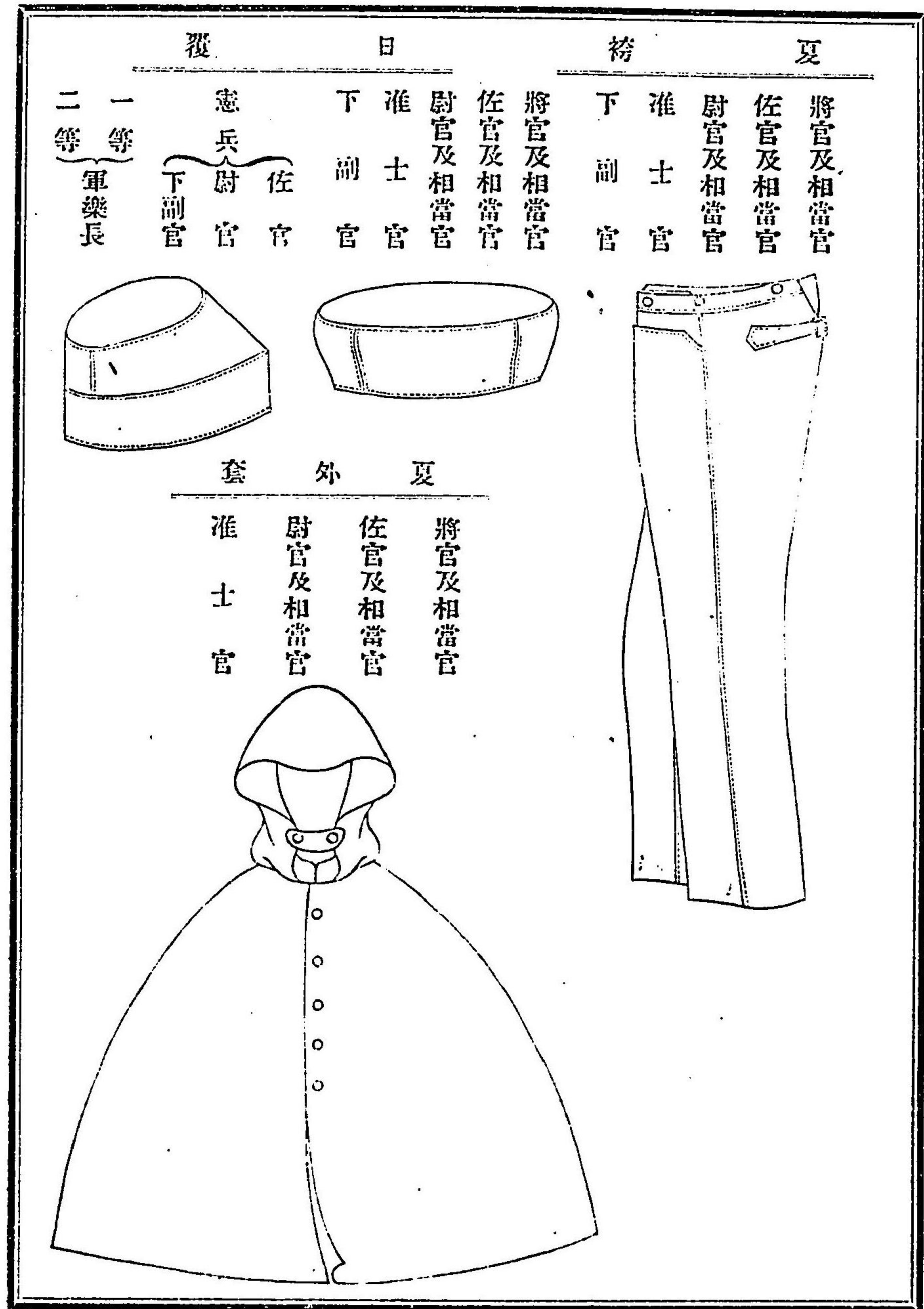
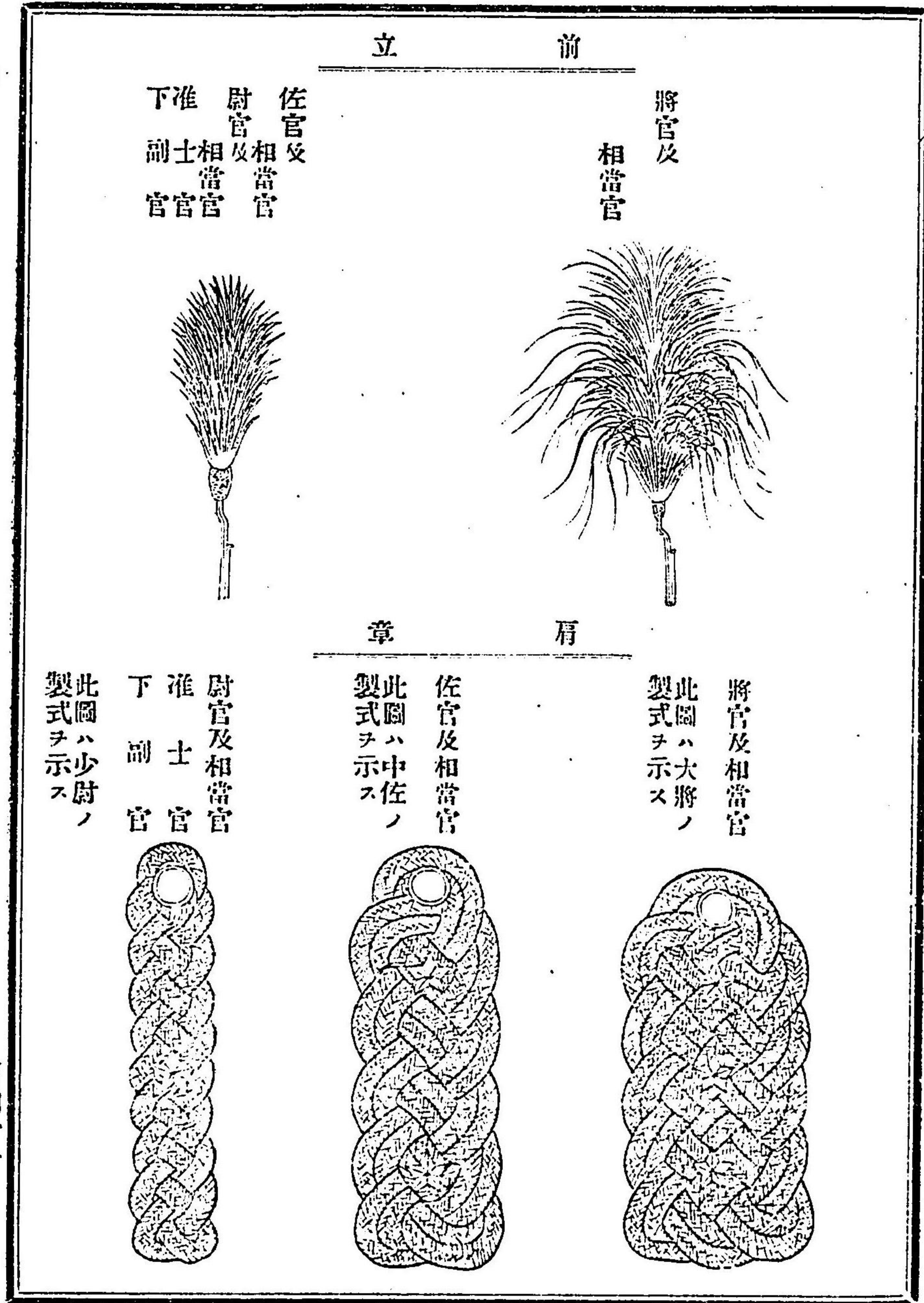
外 套 袖 章

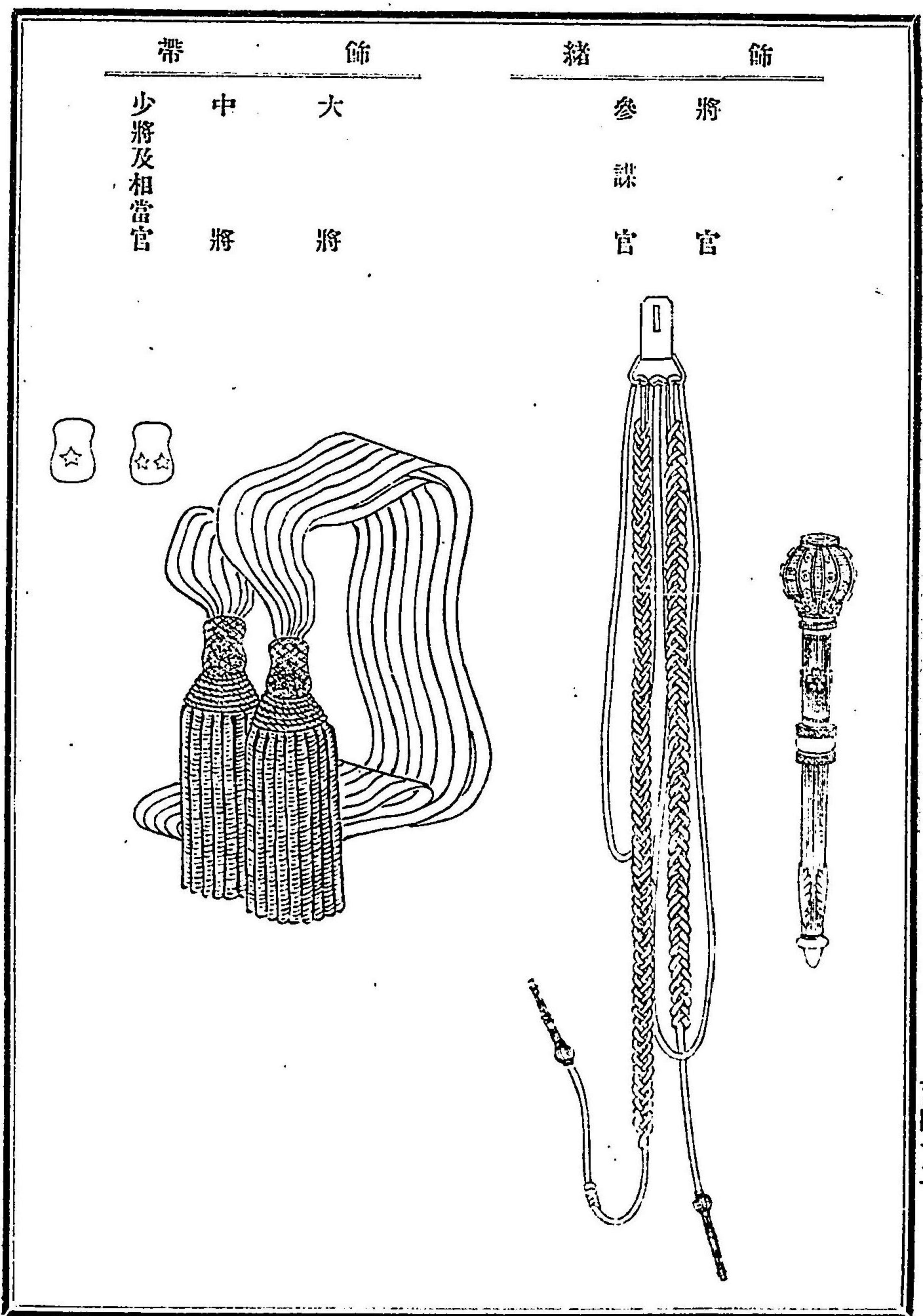
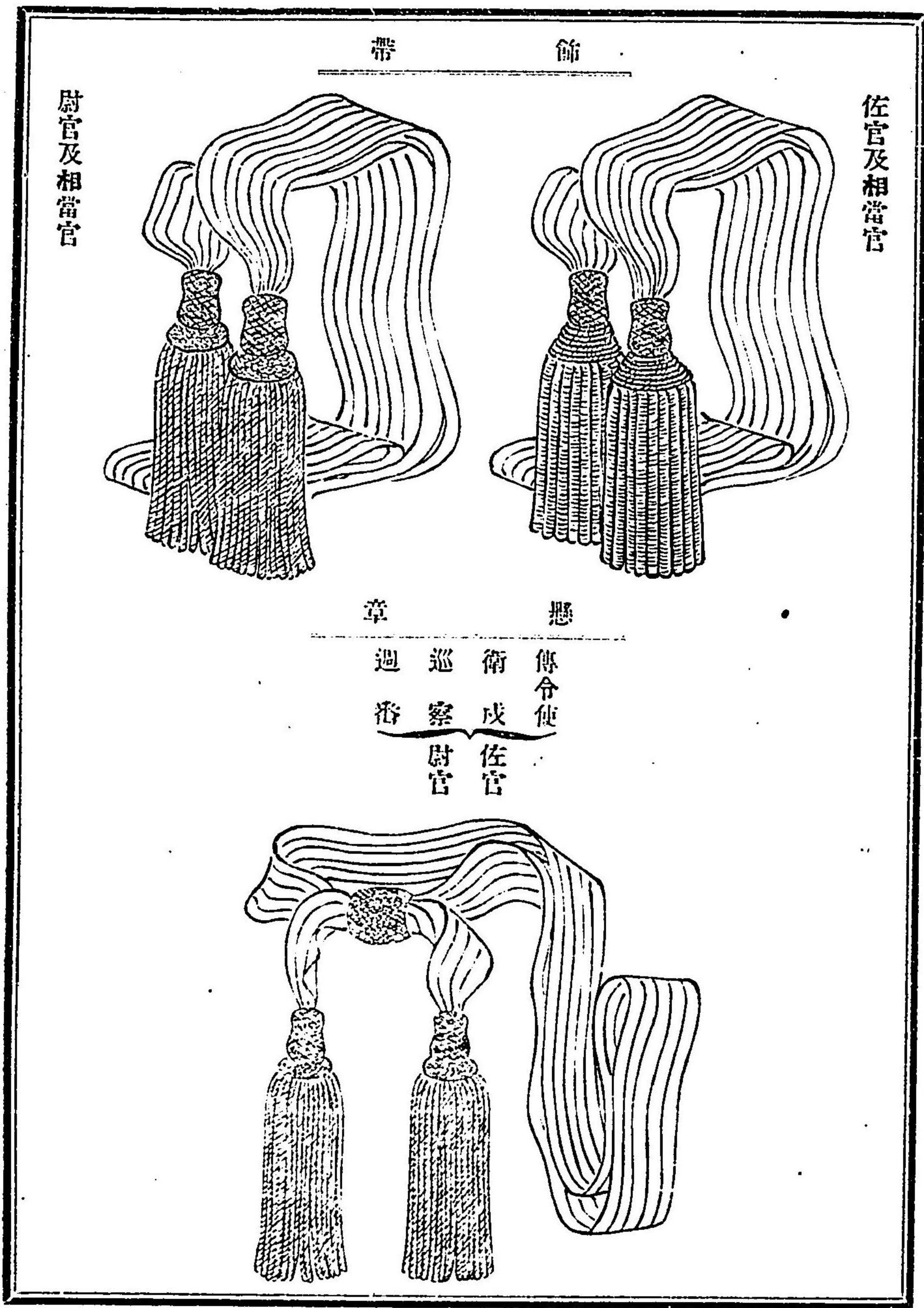


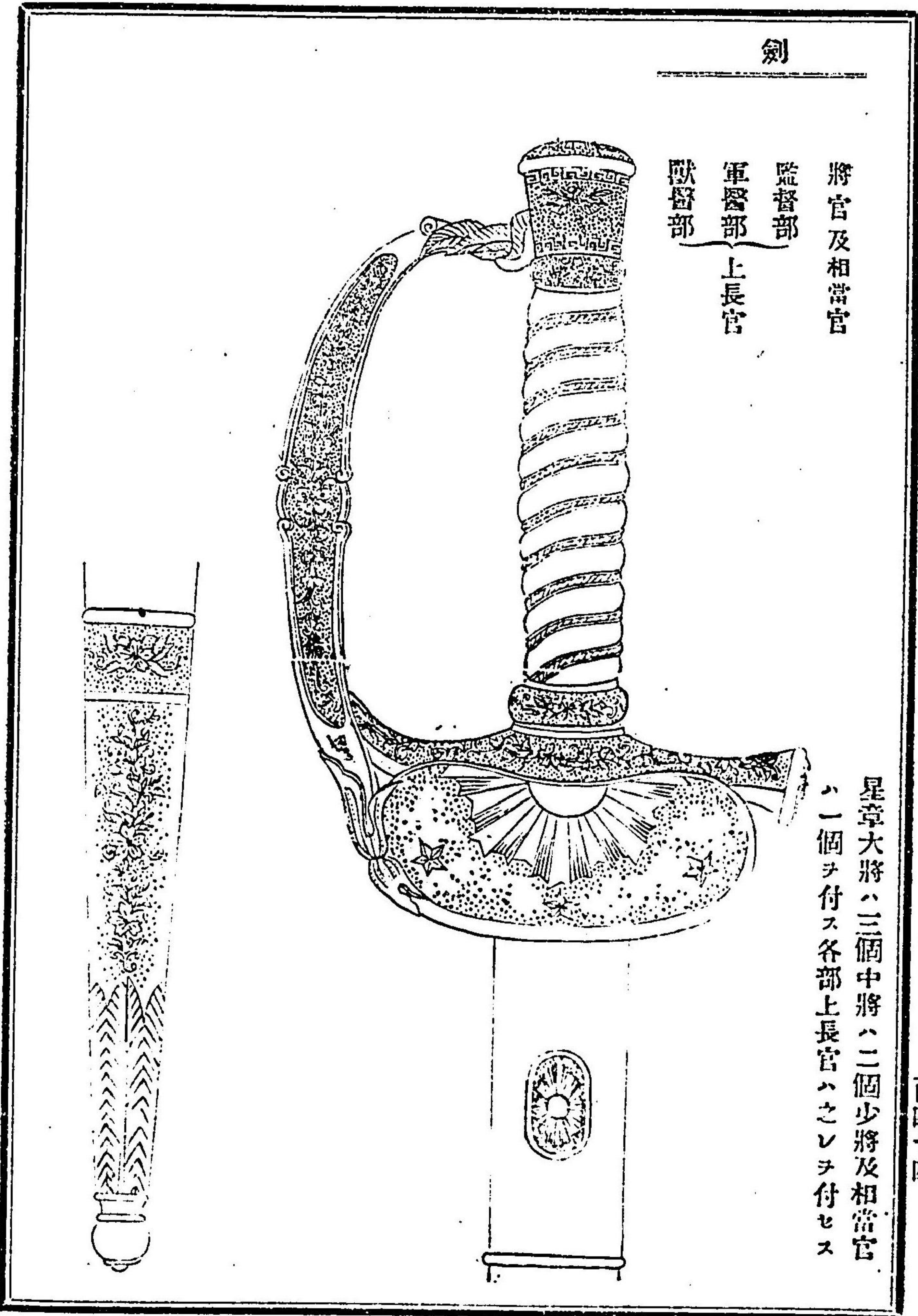
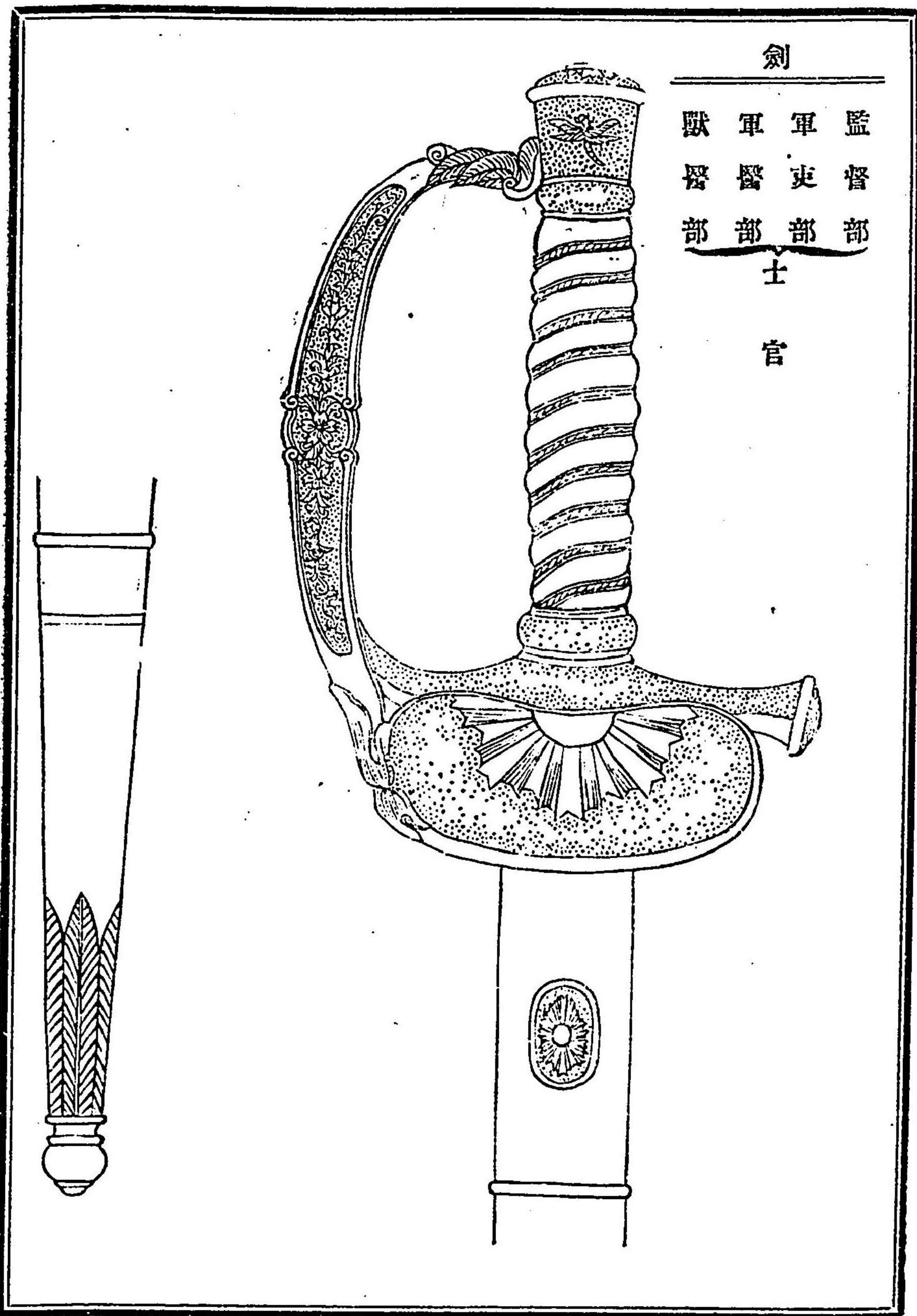
雨 覆

將官及  
相當官  
佐官及  
相當官  
尉官及  
相當官  
准士官  
下副官

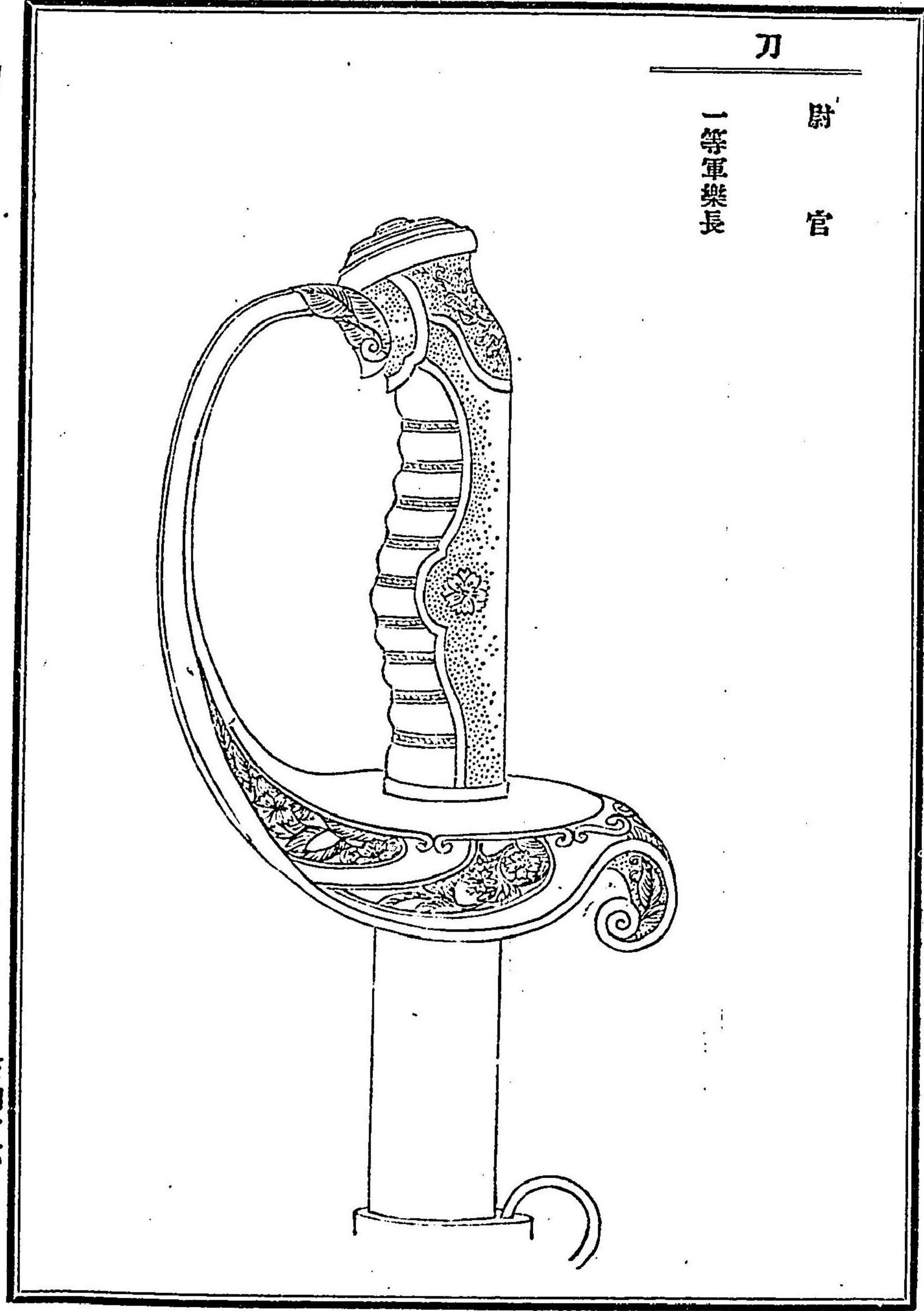




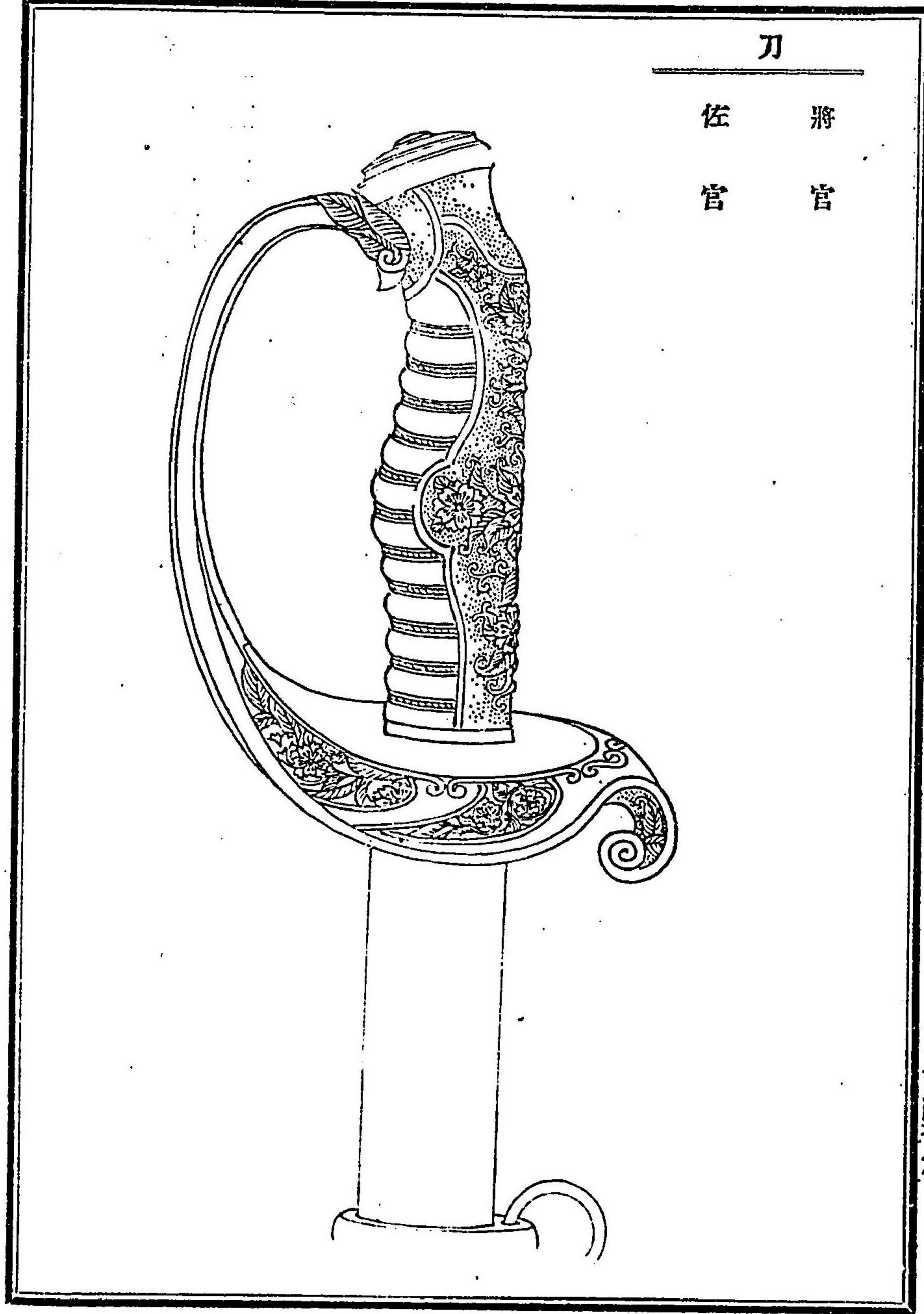




リ

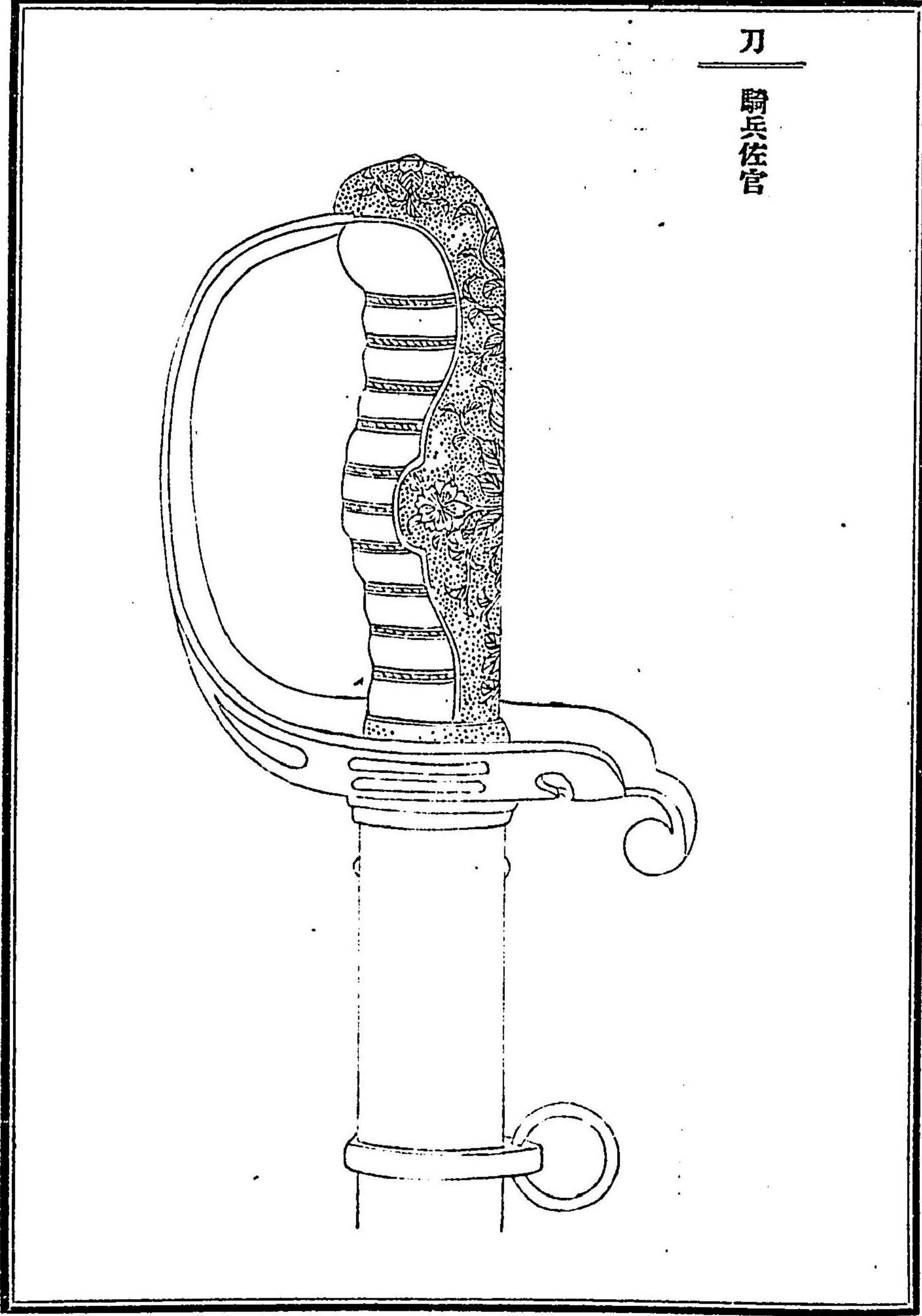


百四十六

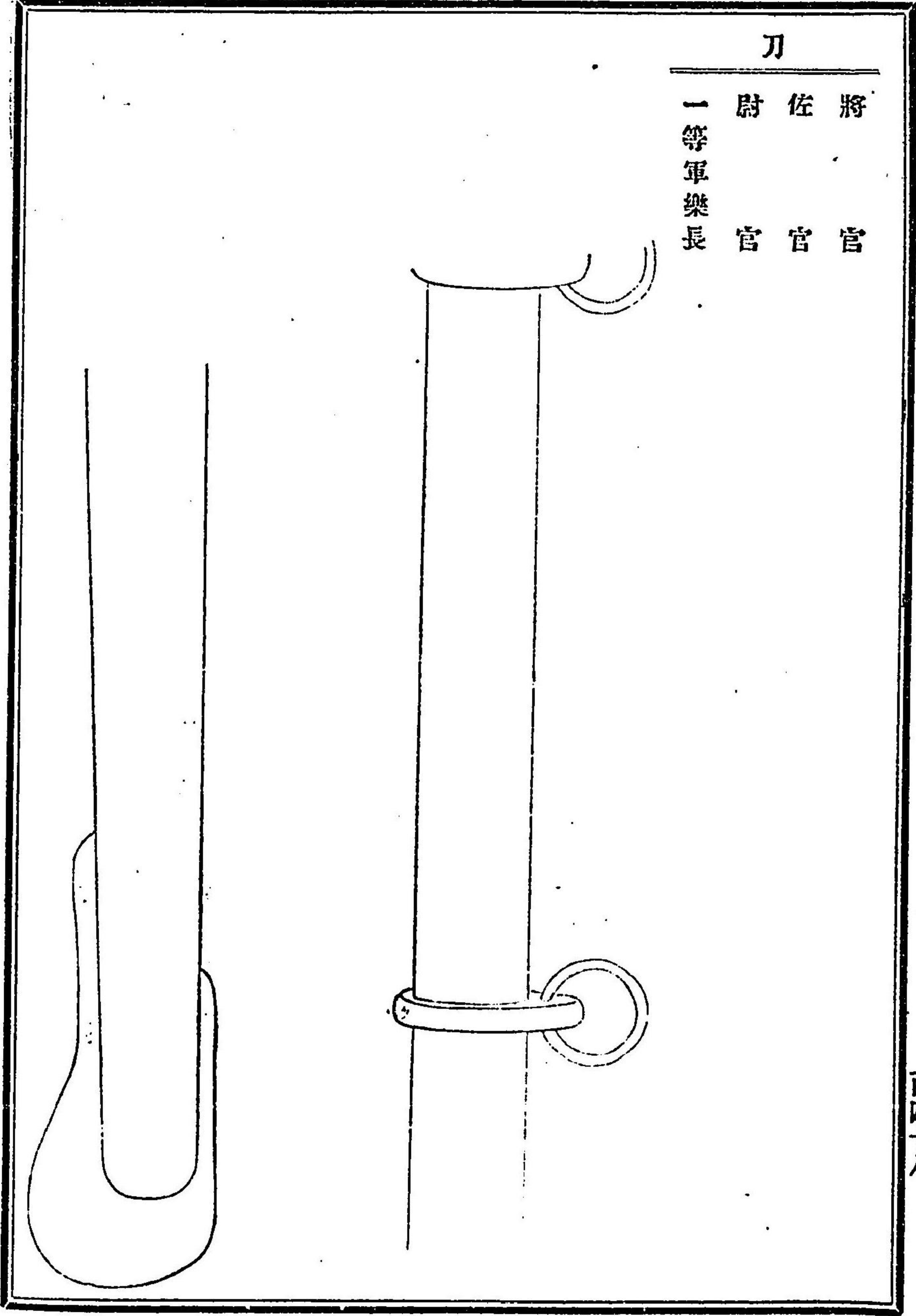


百四十六

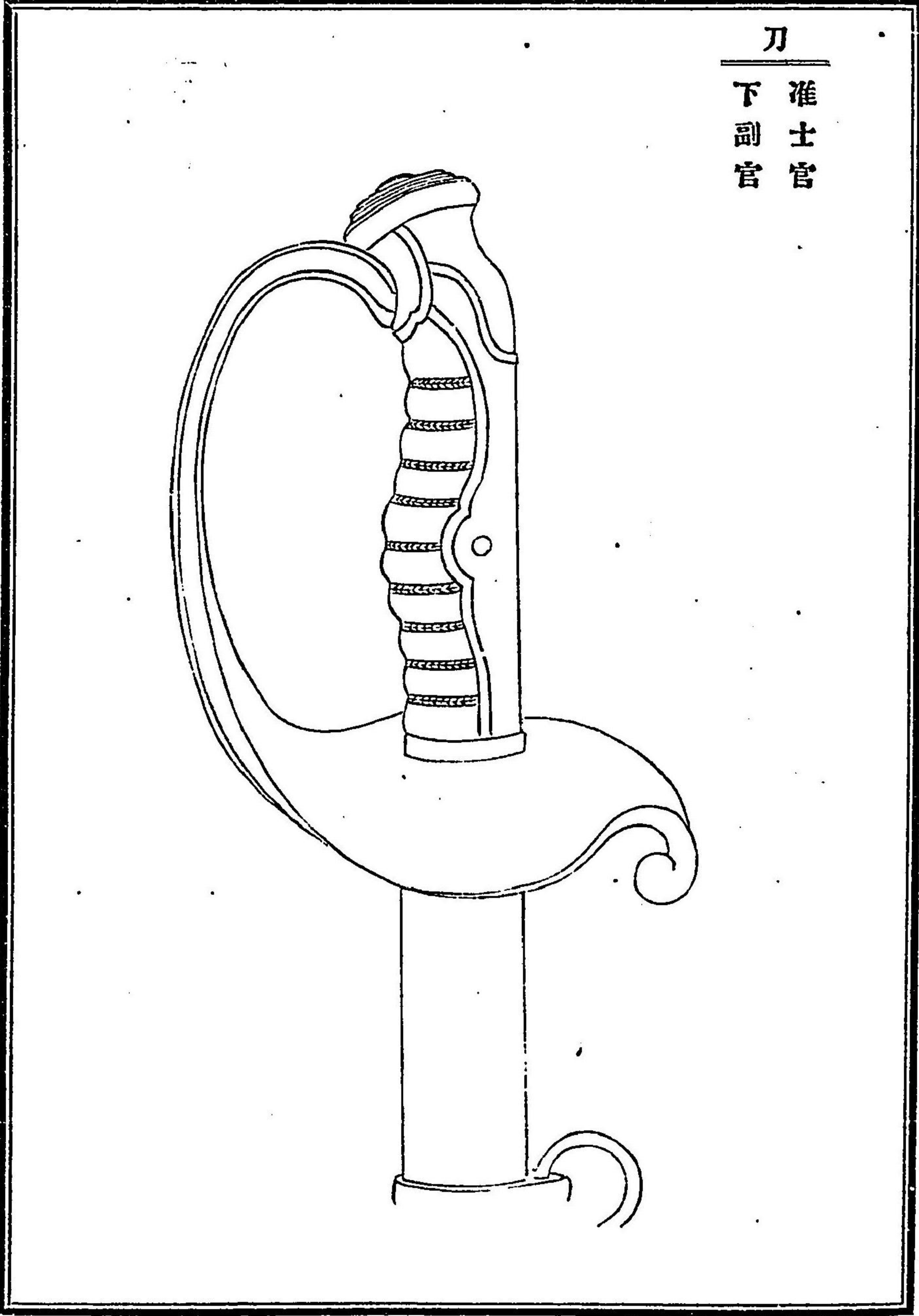
リ



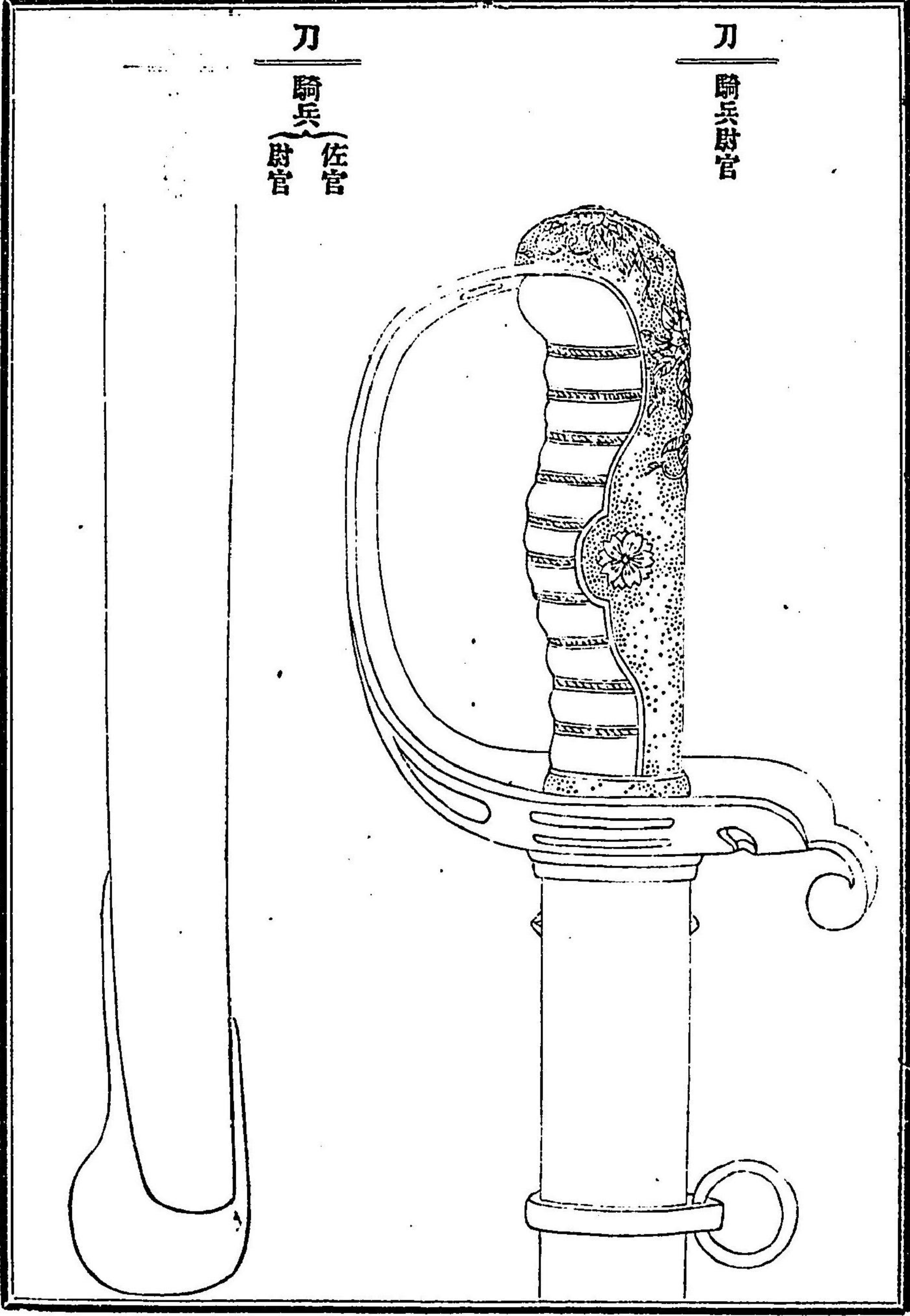
百四十九



百四十八



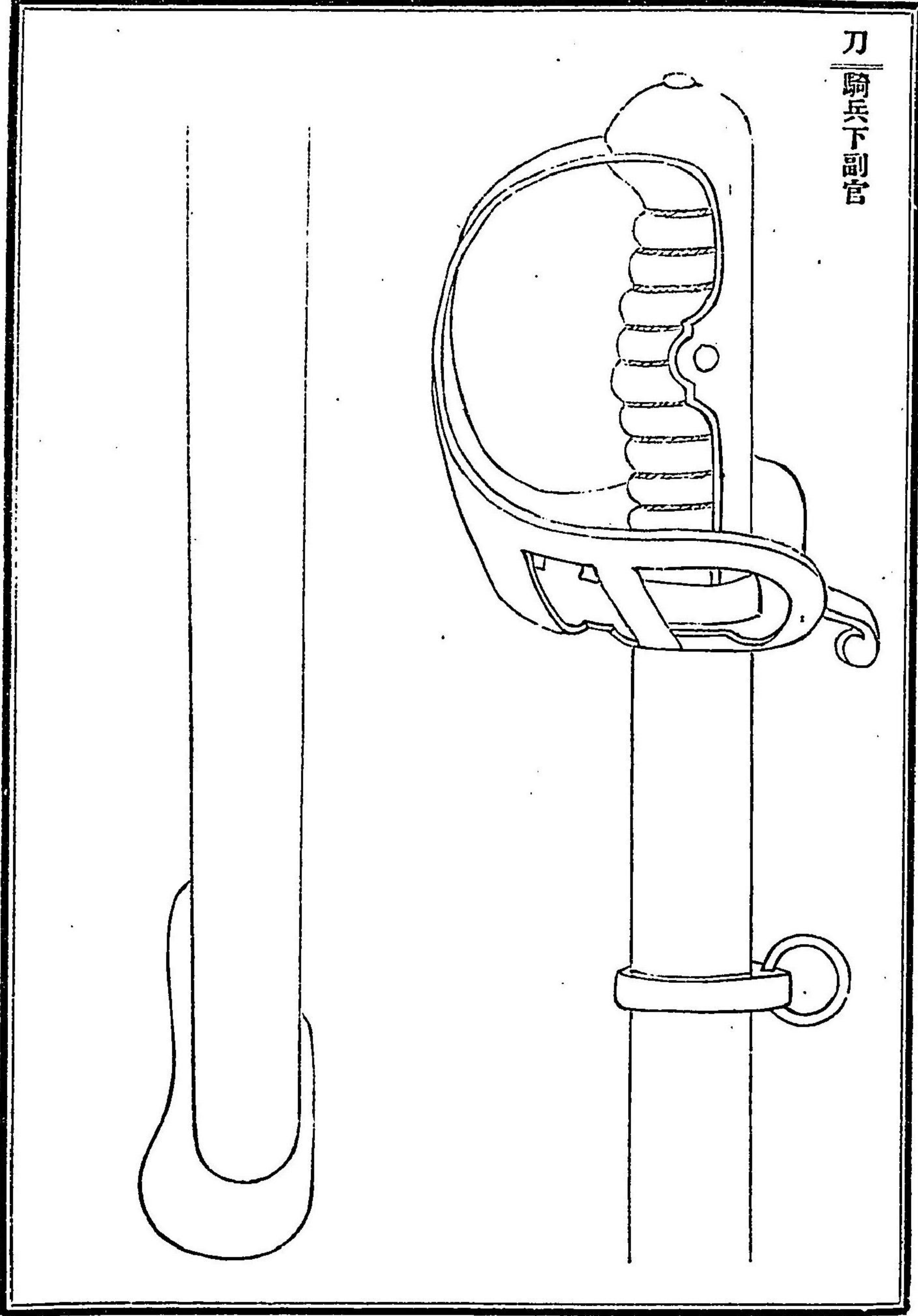
刀  
准士官  
下副官



刀  
騎兵尉官

刀  
騎兵佐官  
尉官

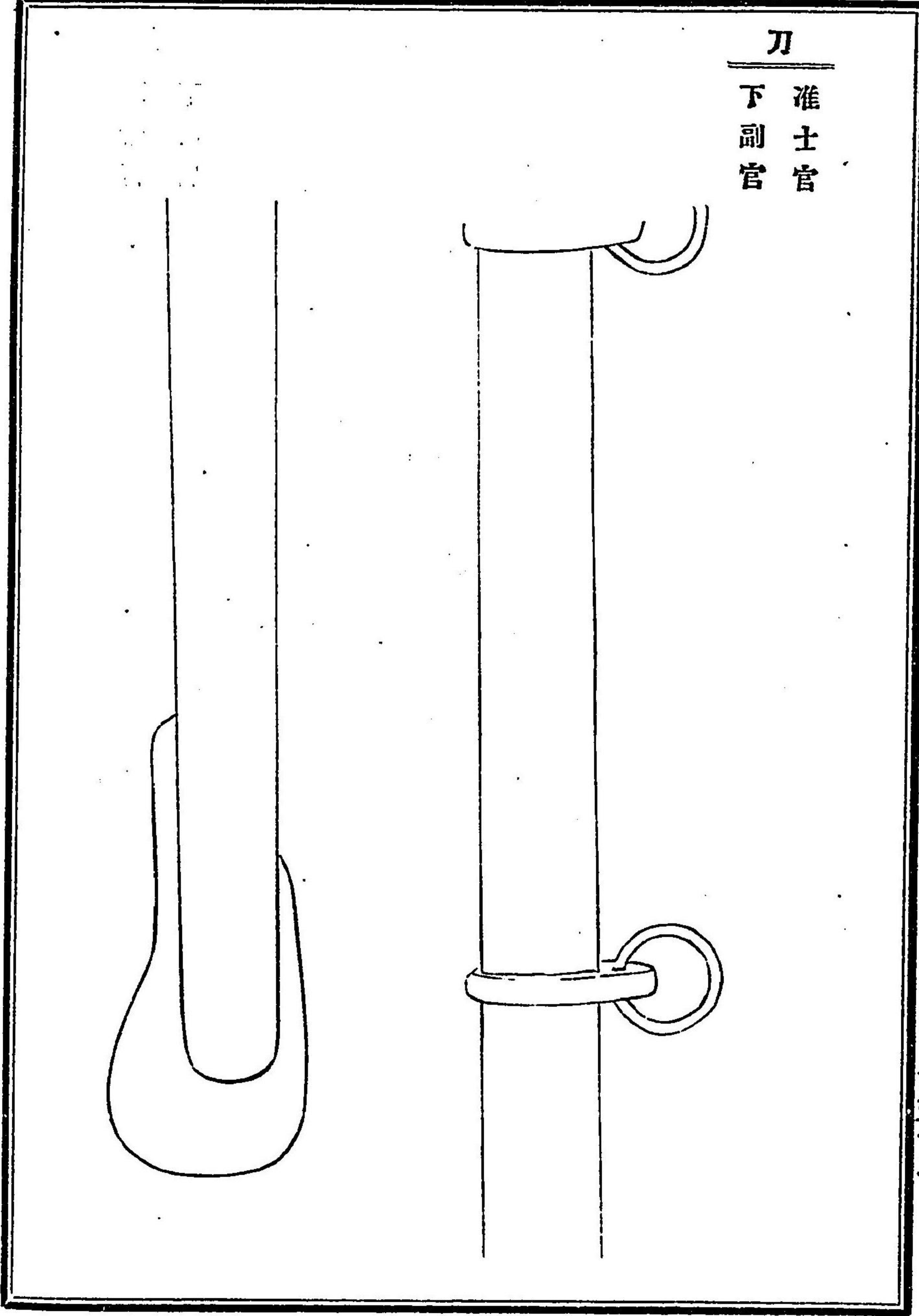
リ



刀 騎兵下副官

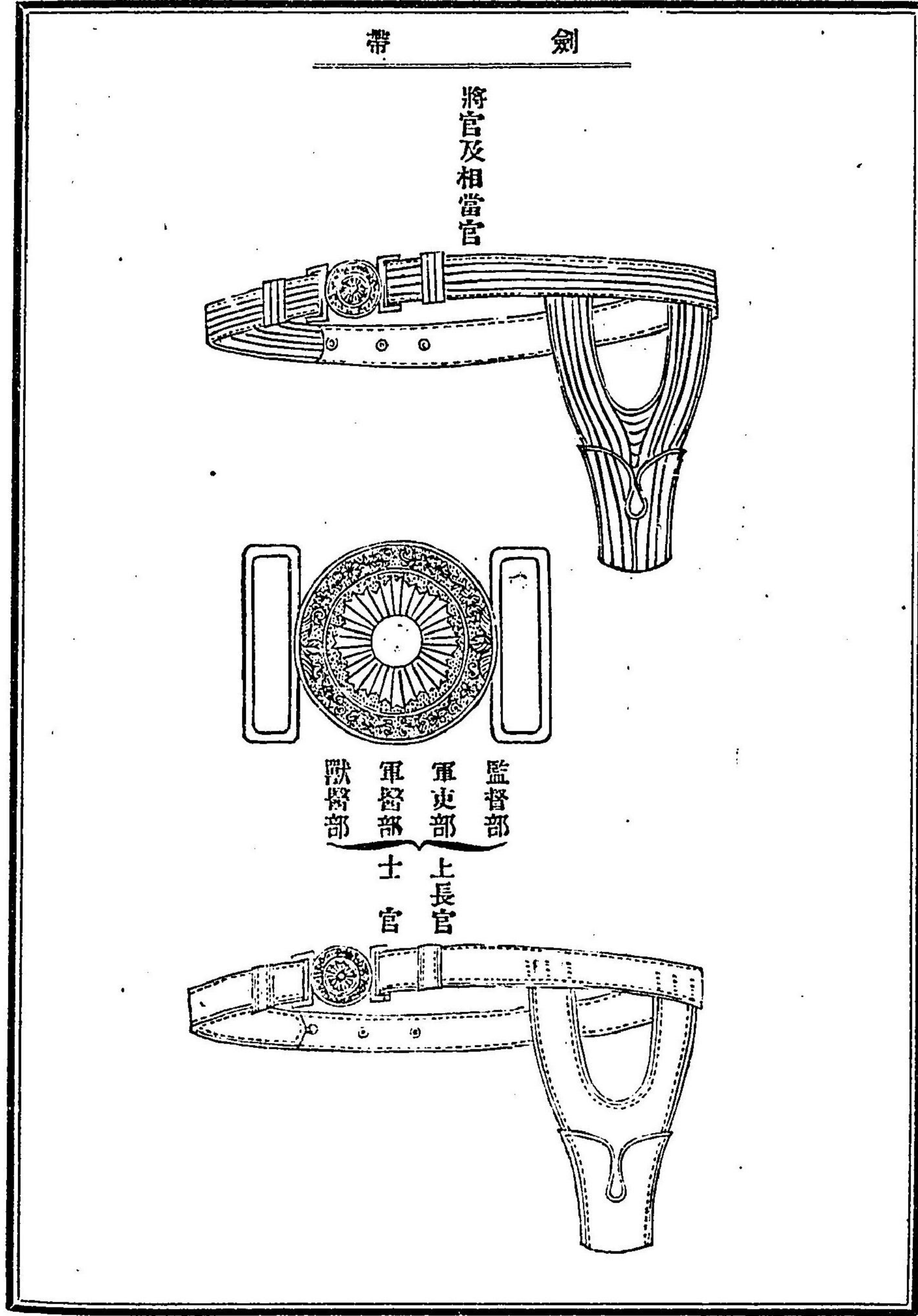
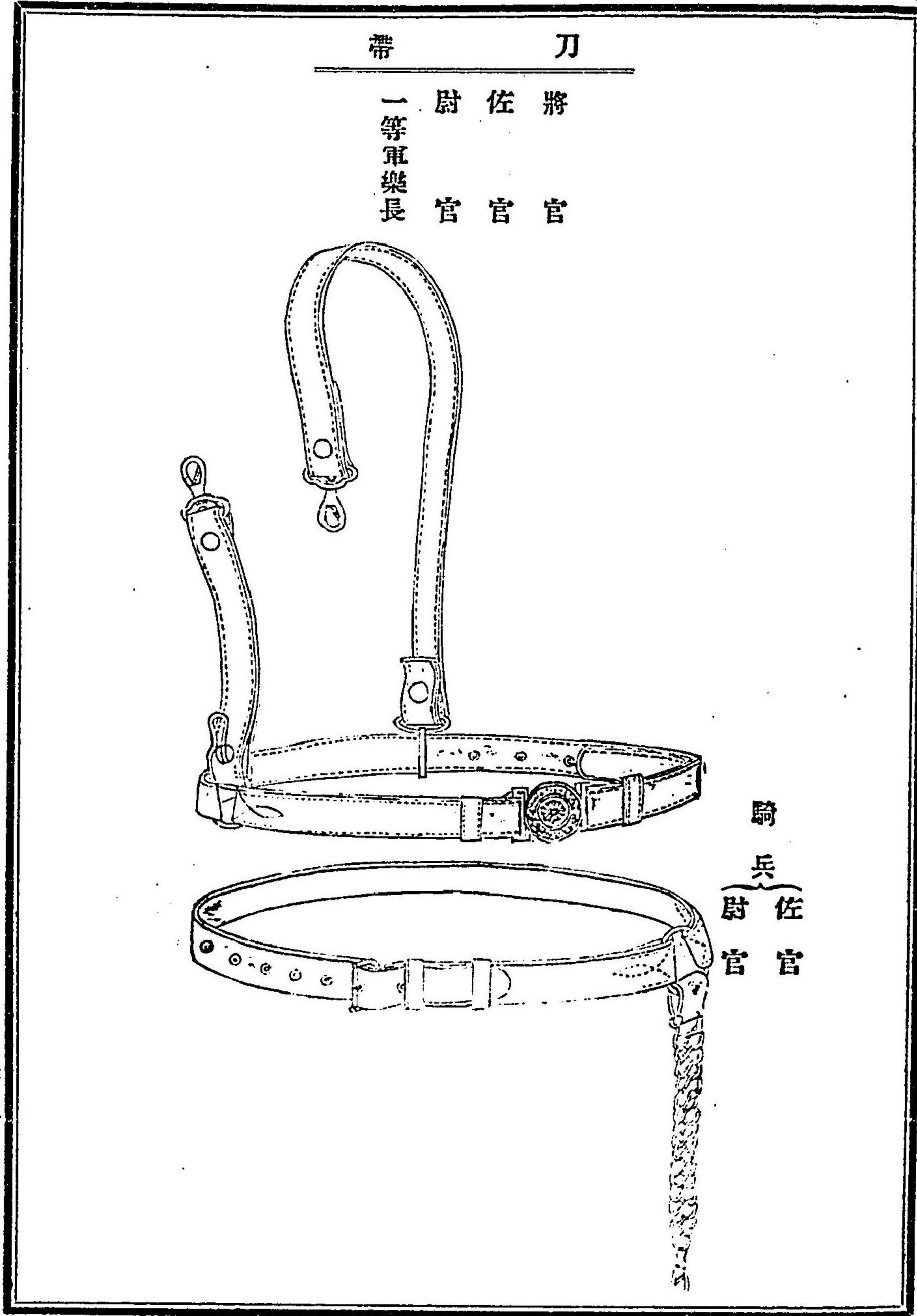
百五十三

刀 准士官  
下副官

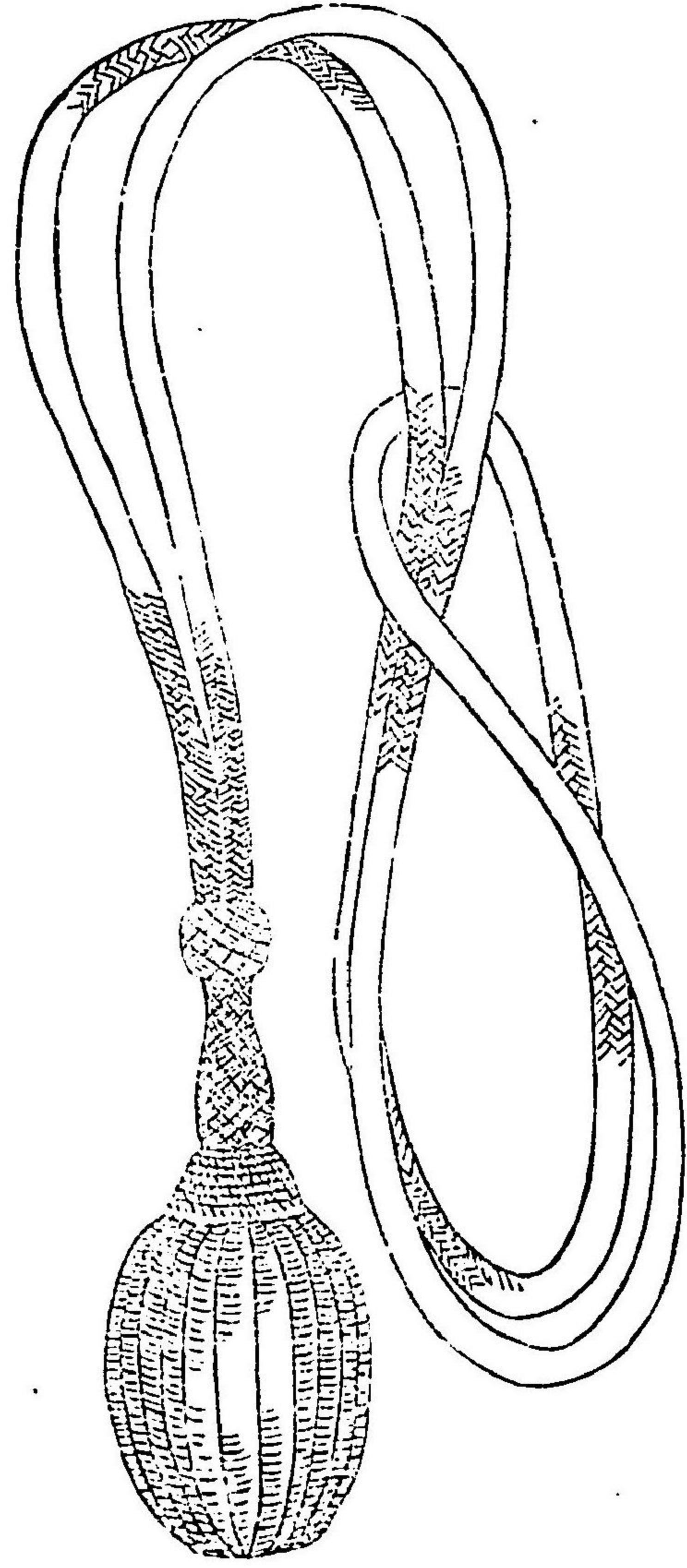


百五十一





正 緒

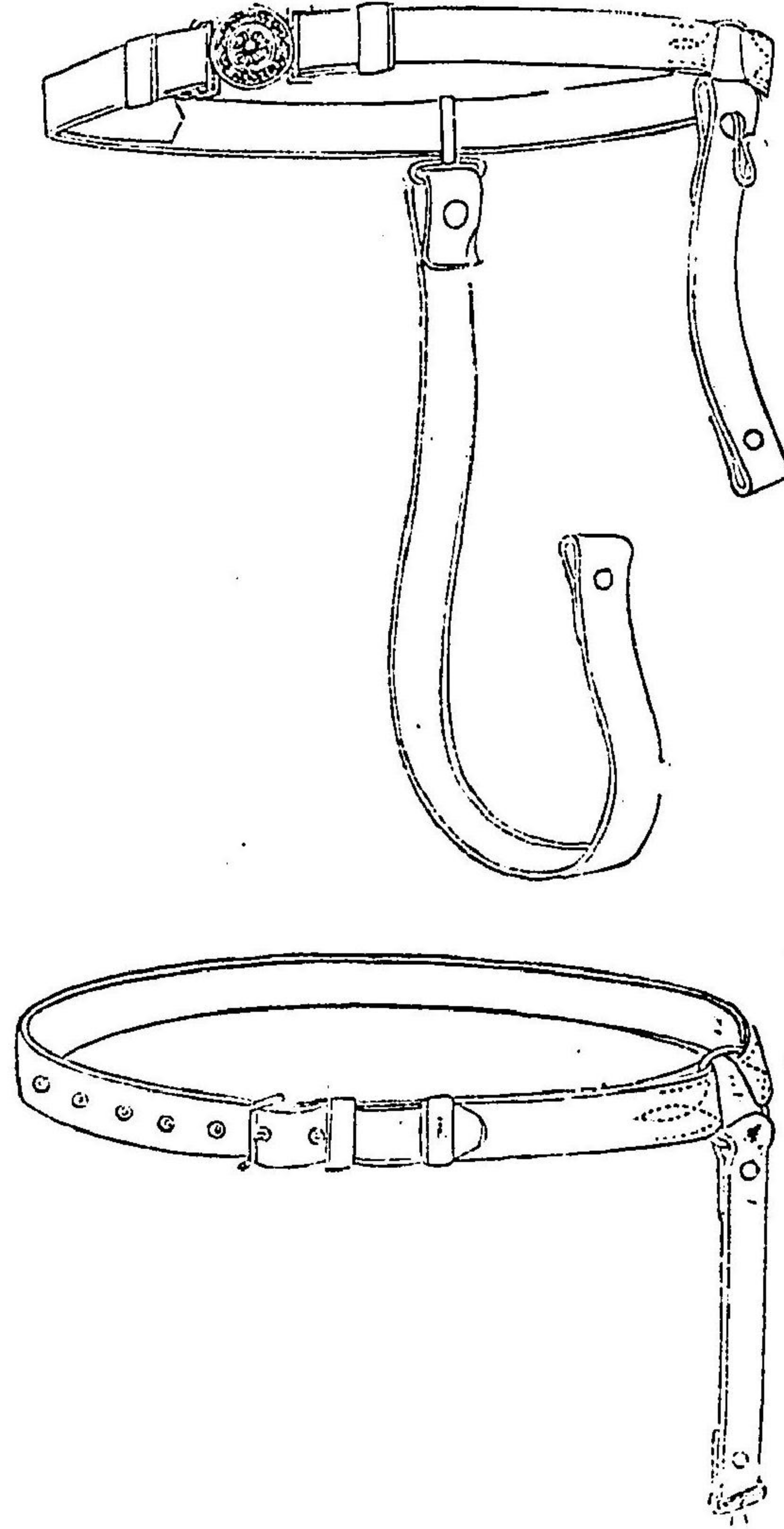


將官及相當官

將官及相當官ノ劍緒刀緒ノ形狀モ之ニ同シ

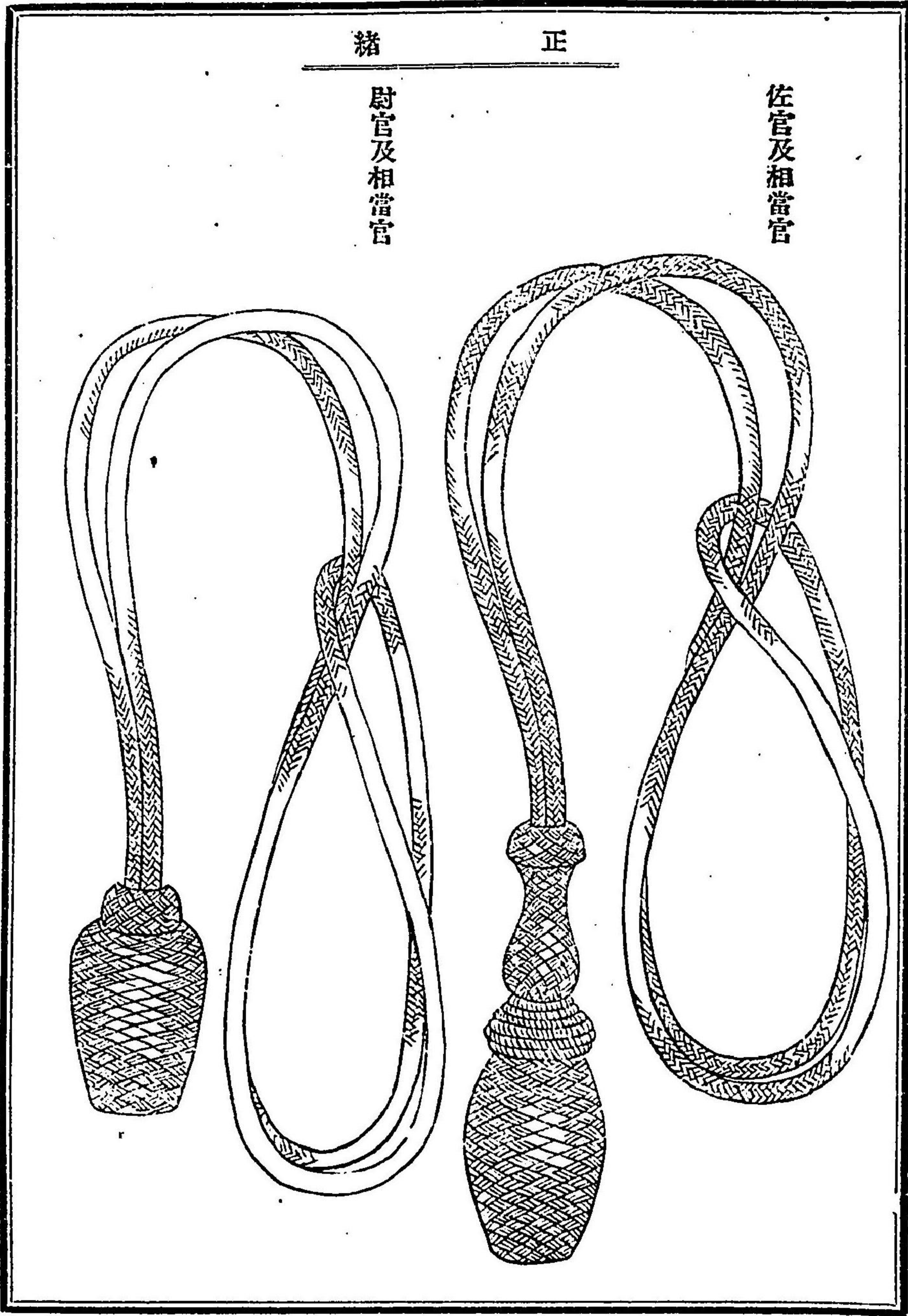
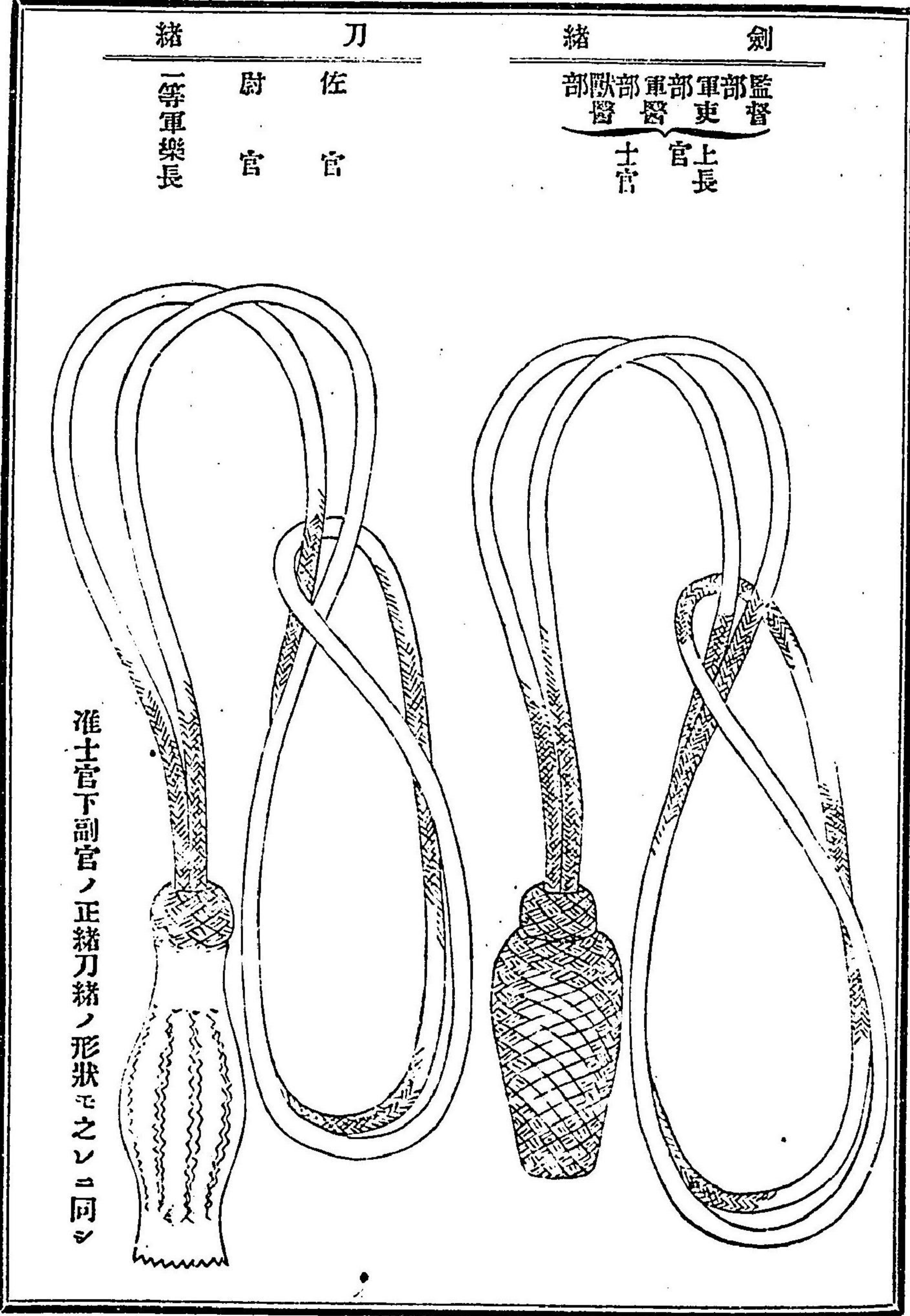
刀 帶

准士官  
下副官



騎兵下副官

リ



○陸軍檢閲條例

○明治十九年七月二十六日勅令第五拾七號

朕陸軍檢閲條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

陸軍檢閲條例

第一章 總則

第一條 凡ソ陸軍各隊各部ニ於テ服務ノ勤惰軍紀ノ張弛學術ノ精粗會計及ヒ衛生ノ可否ヲ檢シ條例規則實踐ノ度ヲ察シ出師準備ノ整否ヲ監シ總テ全國陸軍ノ情形ヲシテ壅塞凝滯ノ患ヒナカラシメンカ爲メ閱視檢實ノユトヲ爲ス之ヲ檢閲ト謂フ

第二條 檢閲ヲ分テ三トナス即チ左ノ如シ

其一 特命檢閲

其二 定期檢閲

其三 臨時檢閲

第三條 特命檢閲ハ將官勅ニ依リ檢閲使トナリ一軍管若クハ數軍管ヲ巡回シ其管内ニ在ル各隊各部ヲ閱視檢實ス

第四條 定期檢閲ハ近衛都督鎮臺司令官毎年定期ニ於テ部下各隊各部ヲ閱視檢實ス

諸學校教導團憲兵調馬軍用電信ノ諸隊モ定期ニ於テ檢閲ヲ行フ此檢閲ハ近衛都督鎮臺司令官ヲシテ施行セシム但陸軍大學校ハ此限ニアラス

第五條 臨時檢閲ハ騎砲工輜重兵科及監督部軍醫部ノ上長官陸軍大臣ノ命ニ依リ檢査官トナリ臨時一軍管若クハ數軍管ヲ巡回シ各本科ニ關スル檢査ヲ爲ス

第六條 凡ソ檢閲ニ關スル事務ノ細則ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二章 特命檢閲

リ

第七條 特命檢閱ノ要目左ノ如シ

一 兵隊整列ノ檢閱

但近衛諸隊ニ在テハ 天皇陛下ノ親閱ニ係ルヲ以テ此檢閱ヲ行ハス

二 部署及ヒ營内ノ檢閱

三 軍隊教育ノ檢閱

四 城寨砲臺ノ檢閱

第八條 檢閱使ノ屬員トシテ參謀大佐一人參謀又ハ各兵佐官ノ内一人尉官二人及

ヒ下士二人ヲ附シテ檢閱ノ事務ニ服セシム

第九條 檢閱使ハ豫メ巡回ノ路程ヲ定メ到著ノ時日ヲ其鎮臺營所等ノ長官ニ報知

シ諸事ヲ整頓シ檢閱ニ供スルノ準備ヲ爲サシム但休暇中ノ者ハ其期ニ先ダチ所管ニ歸ラシムヘシ

第十條 檢閱使鎮臺營所或ハ分營等ヲ置ク府縣ノ治所ニ到著スルトキハ其地方ノ

知事警視總監大審院長控訴院長檢事長始審裁判所長及ヒ檢事<sup>上席</sup>ノ存問ヲ受ル

モノトス

第十一條 檢閱使鎮臺營所分營等著發ノトキ並ニ滯在中儀仗兵及ヒ步哨ヲ備ヘ觀

兵ヲ行フモノトス其法陸軍敬禮式ニ從フ

第十二條 檢閱使ハ閱視ノ事ニ就キ意見ヲ筆記シ其部ノ長官ニ告示スヘシ

第十三條 檢閱使使務ヲ終レハ其實況ヲ上奏復命スルモノトス

第十四條 檢閱使ハ各隊各部ニ於テ軍人軍屬ノ風儀動作及ヒ人民ト交際ノ和否其

他過度ナル失費或ハ負債ノ有無等ヲ監察シ若シ不正ノ所爲又ハ人民ノ厭苦トナルヘキ事件アラハ直ニ其長官ニ通知シテ處分セシム

第十五條 軍人軍屬ノ訴訟情願假令當路ニ故障嫌疑ノ虞アルモノト雖モ檢閱使ニ

直訴スルハ嚴禁タリ檢閱使亦巡回中請願ノ簡牘等所管ノ長官ヨリ傳達スルモノニ非サレハ一切之ヲ受領スヘカラス若シ直訴スルモノアルトキハ其書類ヲ斥ケ所管ノ長官ニ通報シ相當ノ罰典ニ處セシム

第二章 定期檢閱

第十六條 定期檢閲ノ要目左ノ如シ

- 一 軍人ノ姿勢及ヒ武裝
  - 二 馬匹ノ資格及ヒ裝具
  - 三 軍紀風紀
  - 四 軍隊教育
  - 五 會計經理
  - 六 衛生及ヒ醫務
  - 七 出師準備
  - 八 要塞砲臺營庫倉庫
  - 九 兵器材料器具被服糧食
- 第十七條 近衛都督鎮臺司令官ハ檢閲中ニ於テ條例規則實踐ノ如何ヲ詳ニシ若シ之ニ違フモノハ速ニ改正ヲ加ヘ其權外ニ係ルモノハ狀況ヲ盡シ意見ヲ附シ陸軍大臣ニ上申スヘシ

第十八條 近衛都督鎮臺司令官檢閲ヲ終レハ其閱視セシ事項ハ細大トナク陸軍大臣ニ報告スヘシ

第四章 臨時檢閲

第十九條 臨時檢閲ノ要目左ノ如シ

- 一 馬匹ノ資格飼養衛生調駐
- 二 兵器彈藥馬具材料ノ員數保存
- 三 工兵器具材料ノ員數保存
- 四 輜重材料ノ員數保存
- 五 會計經理
- 六 衛生及ヒ醫務

第二十條 検査官檢閲ヲ終レハ其狀況ヲ盡シ意見ヲ附シ陸軍大臣ニ復命スヘシ

○陸軍武官進級條例

○明治十九年七月二十六日勅令第五拾八號

朕陸軍武官進級條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

陸軍武官進級條令

第一章 軍級

第一條 凡軍級ノ最モ高キ者ヲ將官ト云ヒ之ニ次ク者ヲ佐官或ハ上長官ト云ヒ又之ニ次ク者ヲ尉官或ハ士官ト云フ而シテ三官各分テ三級トナス即チ大將中將少將大佐中佐少佐大尉中尉少尉是ナリ之ヲ總稱スルトキハ將校ト云フ

第二條 其將校ニ次ク者ヲ下士ト云フ即チ曹長一等軍曹二等軍曹是ナリ

第三條 其下士ニ次ク者ヲ兵卒ト云フ即チ上等兵一等卒二等卒是ナリ

第二章 進級

第四條 凡軍人ノ進級ハ決シテ超級ノ陞進ヲ許スコトナク又缺員ナキ時ハ除任ヲ

行フコトナシ

第五條 逐級歷進ノ法上ノ級次ニ從フト雖モ出身又ハ陞級ノ後其月日猶淺キ者ハ遽ニ昇進スルヲ許サス之カ爲メニ最下ノ期限ヲ定メ以テ歷進ノ道ヲ律ス即チ左ノ如シ

上等兵ヨリ二等軍曹ニ二等軍曹ヨリ一等軍曹ニ進ムハ實役停年半年以上一等軍

曹ヨリ曹長ニ進ムハ實役停年一年以上曹長ヨリ少尉ニ進ムハ實役停年二年以上

少尉ヨリ中尉ニ中尉ヨリ大尉ニ進ムハ實役停年二年以上大尉ヨリ少佐ニ進ムハ

實役停年四年以上

少佐ヨリ中佐ニ進ムハ實役停年二年以上中佐ヨリ大佐ニ大佐ヨリ少將ニ進ムハ

實役停年二年以上

少將ヨリ中將ニ進ムハ實役停年二年以上

第六條 中將ノ大將ニ進ムハ歴戰者ニ就キ特旨ヲ以テ親任スルヲ例トス故ニ最下ノ期限ヲ定ムルコトナシ

リ

第七條 戰時ニ在テハ各官ノ實役停年ヲ其半ニ減スルコトヲ得

第八條 進級ノ法ニアリ一ヲ停年補除ト云ヒ一ヲ拔擢補除ト云フ參互之ヲ用フ其法左ノ如シ

上等兵ヨリ二等軍曹ニ二等軍曹ヨリ一等軍曹ニ一等軍曹ヨリ曹長ニ進ムハ皆拔擢ヲ以テス

少尉ヨリ中尉ニ進ムハ停年三分二拔擢二分一ヲ以テス

中尉ヨリ大尉ニ進ムハ停年拔擢相半ス

大尉ヨリ少佐ニ少佐ヨリ中佐ニ中佐ヨリ大佐ニ大佐ヨリ少將ニ少將ヨリ中將ニ進ムハ皆拔擢ヲ以テス

第九條 監督軍吏軍醫獸醫部ノ上長官士官下士並砲工兵監護陸軍諸工長同下長及ヒ諸卒モ亦本令ニ照シ其等級ニ準シテ進級ヲ律ス

第十條 平時少尉ノ進級ニ停年補除三分ノ二ヲ用フルノ例戰時ニ在テハ拔擢停年相半スルノ格ヲ用ヒ中尉以上ハ概シテ拔擢ノ例ヲ用フルコトヲ得

第十一條 左ニ掲クル場合ニ在テハ前諸條ノ例ニ據ルコトナク進級セシムルコトヲ得

- 一 敵前ニ在テ殊勳ヲ奏シ首將ノ命令ヲ以テ之ヲ全軍ニ布告セシモノ
- 一 戰時敵前ノ軍隊ニ在テ人員多ク缺耗シ補除定規ヲ履ム能ハサル時

第十二條 將校敵ノ捕虜トナルモ正當ノ理由アルモノハ其年月ヲ實役停年ニ算入スルコトヲ得

第三章 會議

第十三條 上長官士官ノ進級順序ヲ定ムル爲メ毎年定期檢閱畢ルノ後陸軍大臣ハ同次官參謀本部長會計局長醫務局長陸軍省ニ會同シテ決定候補名簿ヲ作ルモノトス

第十四條 此名簿ヲ作ルノ法其上長官ニ在テハ候補名簿ニ就キ陸軍大臣之ヲ決シ停年順序ヲ以テ其列序ヲ定メ其士官ニ在テハ各兵科毎ニ同級合格者ヲ合シ停年順序ヲ以テ其列序ヲ定ム



第十五條 下士ノ進級順序ヲ定ムル爲メ毎年定期檢閲畢ルノ後各長官ハ委員ヲ會同シ之ヲ審議シ決定候補名簿ヲ作ルモノトス

第十六條 此名簿ヲ作ルノ法各隊毎ニ同級合格者ヲ合シ優劣ヲ比較シ以テ其列序ヲ定ム

第四章 補除

第十七條 教導團生徒ニシテ卒業試験ニ合格ノ者ハ二等軍曹ニ任スルヲ例トシ團長ハ豫メ陸軍大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ補除スルモノトス

第十八條 上等兵ノ二等軍曹ニ二等軍曹ノ一等軍曹ニ一等軍曹ノ曹長ニ任スヘキ者ハ該隊長決定候補名簿ノ列序ニ從ヒ其長官ニ除任ノ事ヲ申請スヘシ

第十九條 士官學校生徒ニシテ卒業試験ニ合格ノ者ハ少尉ニ任スルヲ例トス校長ハ名簿ヲ陸軍大臣ニ呈シ大臣ヨリ除任ノ事ヲ奏上スヘシ

第二十條 曹長ノ少尉ニ進級スルハ特例トス故ニ其功績拔群ニシテ士官タルノ學術ヲ有スルモノニ非サレハ此撰ニ當ルヲ得ス

第二十一條 將校ノ決定候補名簿ハ陸軍大臣ヨリ奏上シ置キ補除ヲ要スル毎ニ其

列序ニ從ヒ士官ニ在テハ停年進級者ヲ參互シ除任ノコトヲ奏上スヘシ

第二十二條 將官ノ進級ハ上裁ニ出ツルト雖モ先ツ内官ヲ陸軍大臣ニ諭シ然ル後除任スルヲ例トス

第二十三條 興軍ノ日ニ方リテ戰地ニ臨ムノ首將ニハ進級補除ノ權ヲ假スコトアルヘシト雖モ其權限ハ上旨ニ出ルヲ以テ之ヲ本條例ニ掲ケス

○明治十九年十二月十六日勅令第七拾八號

朕陸軍武官進級條例中追加ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

本年七月勅令第五拾八號陸軍武官進級條例第十九條ニ左ノ一項ヲ追加ス

陸軍大學校卒業者ニシテ參謀職務適任證書ヲ有スル者拔擢セラレトキハ決定候補名簿ニ登載スル候補者ニ先チ進級セシム但此特例ハ大尉ニ進ム迄

○陸軍及海軍教官

○明治十九年十一月二日勅令第六拾八號

朕茲ニ陸軍及海軍諸學校ニ教官ヲ置クコトヲ裁可ス

御名 御璽

陸軍及海軍教官

第一條 陸軍及海軍諸學校ニ武官教官ノ外文官教官ヲ置ク左ノ如シ

教授 奏任

助教 判任

第二條 教授ノ官等俸給ハ勅令第六號高等官官等俸給令ニ依リ助教ノ官等俸給ハ

勅令第三拾六號判任官官等俸給令ニ依ル

武官ヲ以テ教官ニ充ツルトキハ本條ノ限ニアラス

第三條 教授助教ノ人員ハ其需要ニ從ヒ陸軍大臣若クハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

○臨時砲臺建築部官制

○明治十九年十二月一日勅令第七拾六號

朕臨時砲臺建築部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

臨時砲臺建築部官制

第一條 臨時砲臺建築部ハ東京ニ置キ陸軍省ニ隸シ全國樞要ノ地ニ砲臺ヲ建築スルコトヲ掌ル

第二條 臨時砲臺建築部ニ左ノ職員ヲ置ク

リ

部長 一人

事務官 若干員

技師 若干員

技手 若干員

書記 若干員

第三條 部長ハ陸軍將官ヲ以テ之ニ充テ事務官ハ陸軍上長官士官書記ハ陸軍下士屬ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 部長ハ砲臺建築ノ事務ヲ總理ス

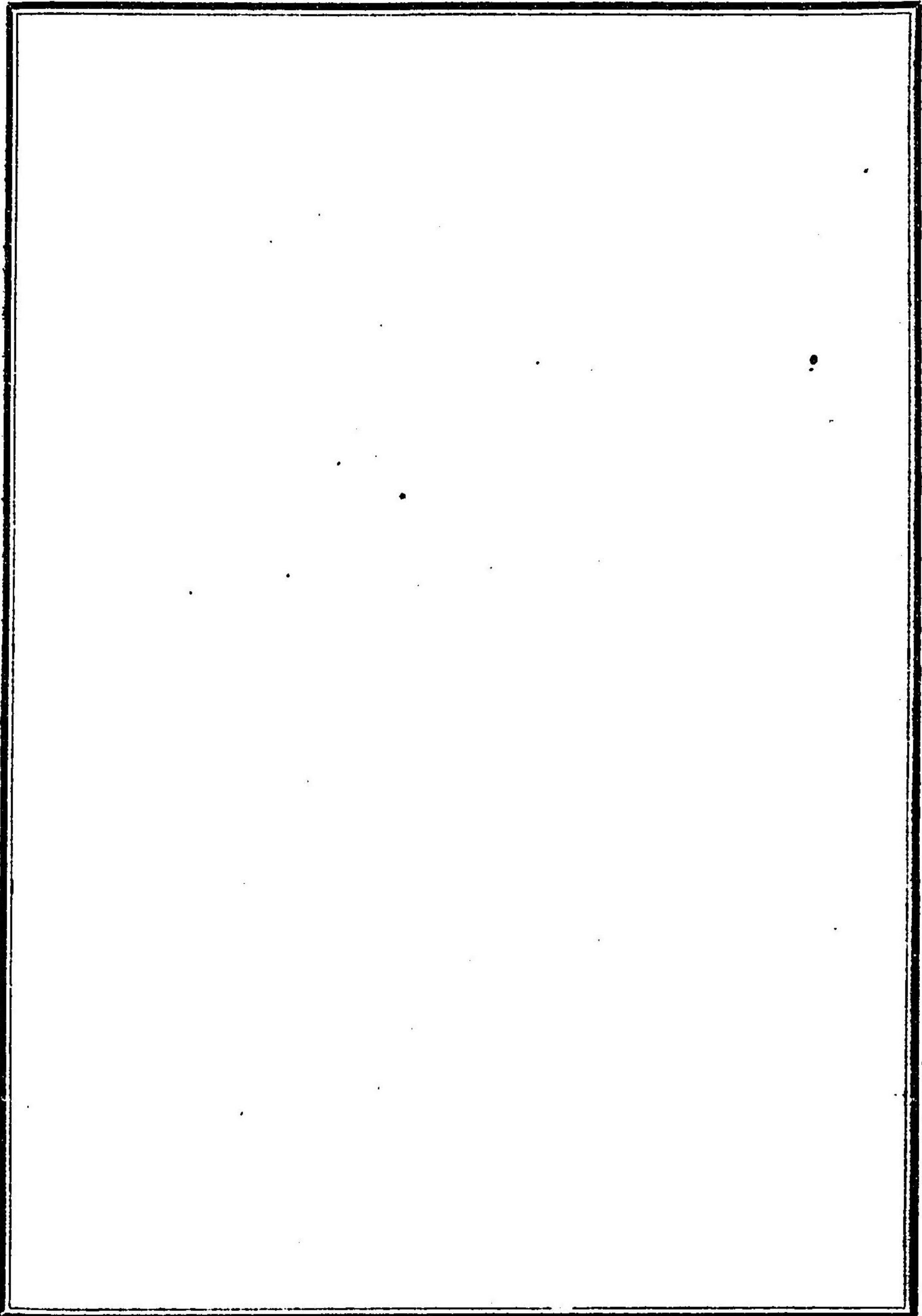
第五條 事務官ハ部長ノ命ヲ承ケ其事ニ從ヒ書記ハ事務官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條 技師技手ハ技術上ノ事ニ任シ又各部ノ工事ニ從事ス

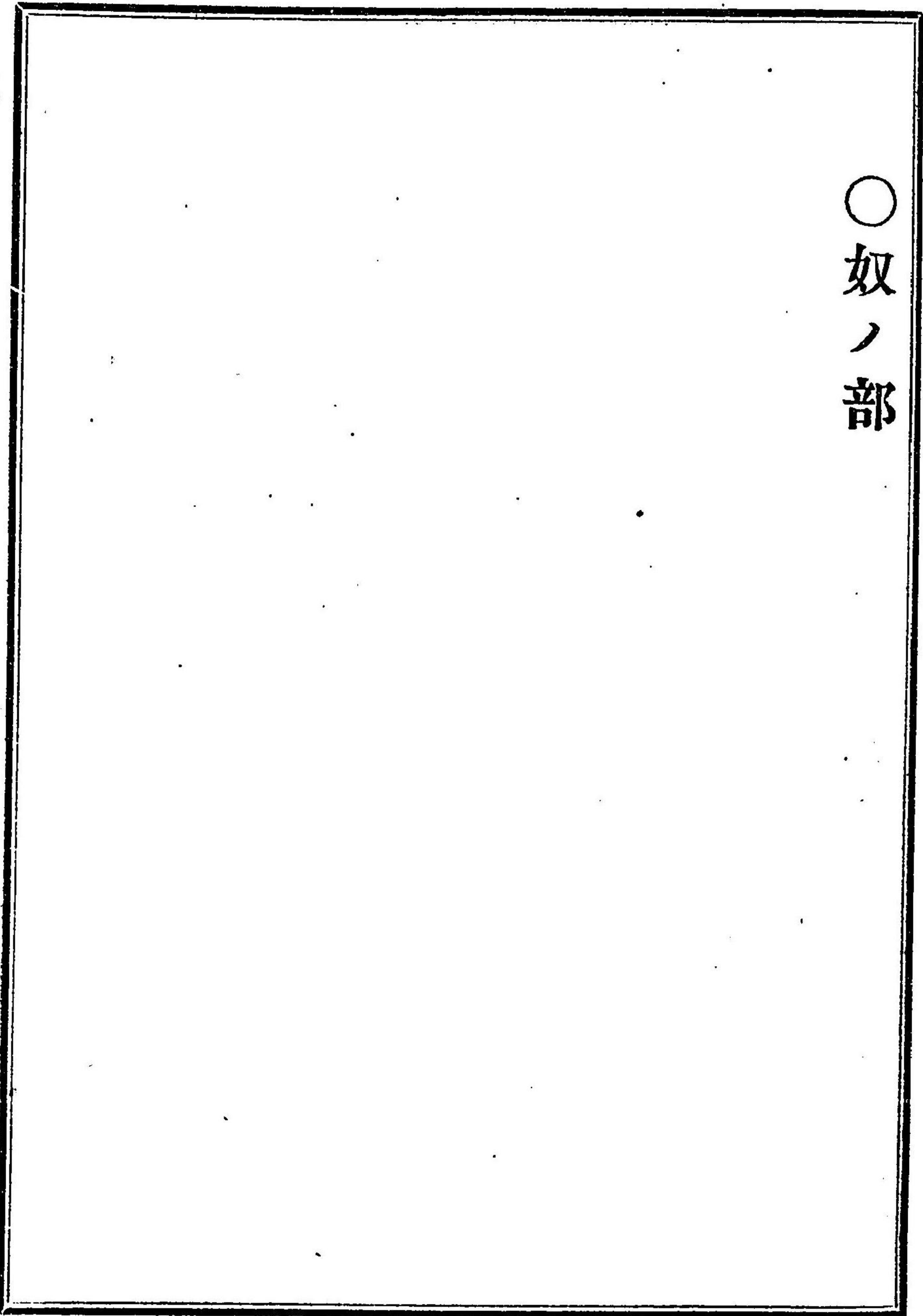
第七條 建設砲臺ノ位置並其制式兵備ノ要領等ヲ陸軍大臣參謀本部長協議決定ノ後之ヲ建築部ニ下シ工事ニ從事セシム

第八條 陸軍工兵方面ハ砲臺建築ノ工事ニ就テハ建築部ニ從屬シテ部長ノ指揮ヲ承クルモノトス

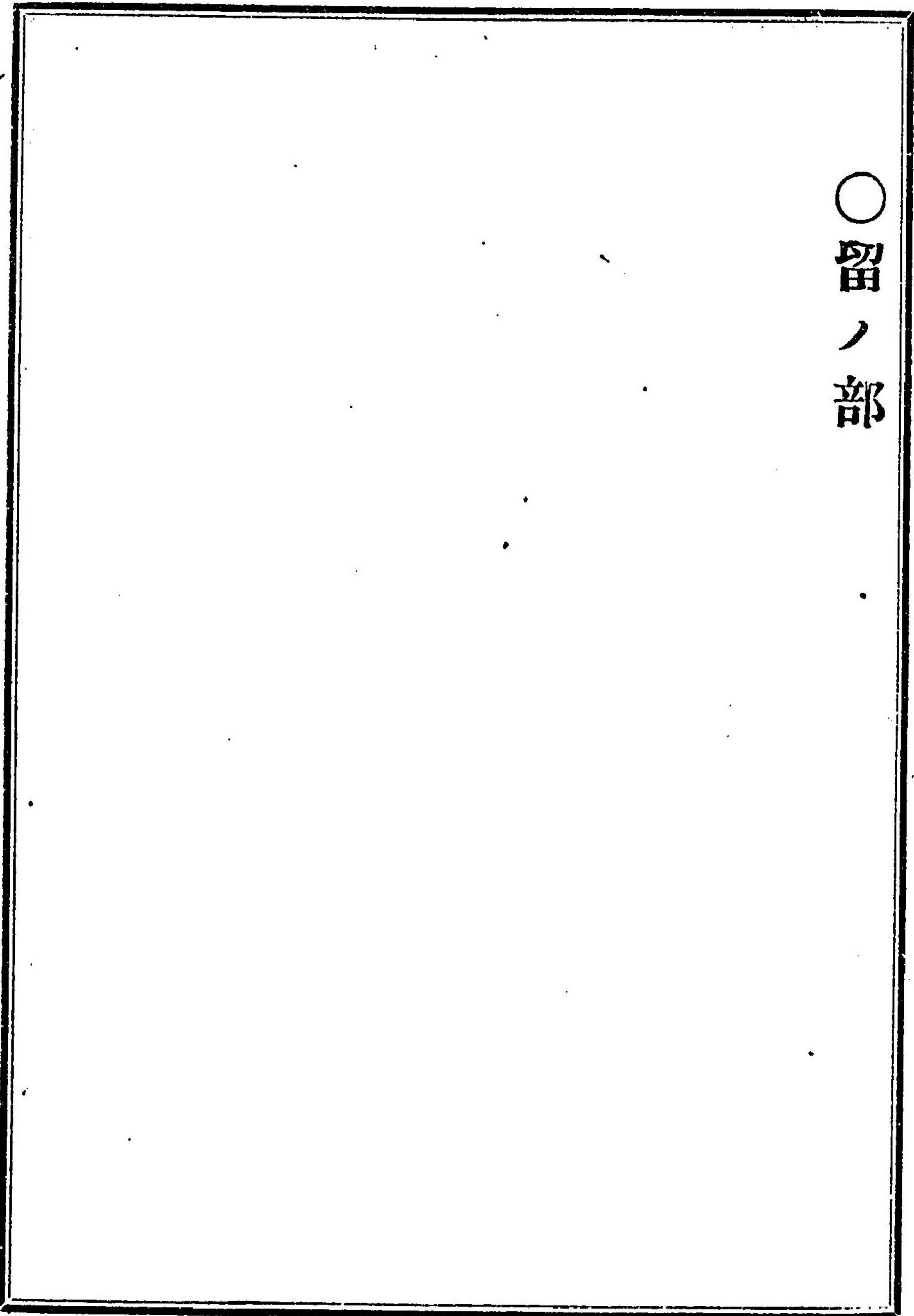
第九條 砲臺建築ノ事ニ係リ地方廳其他ニ往復スルハ建築部長ノ名ヲ以テス可シ



○奴ノ部

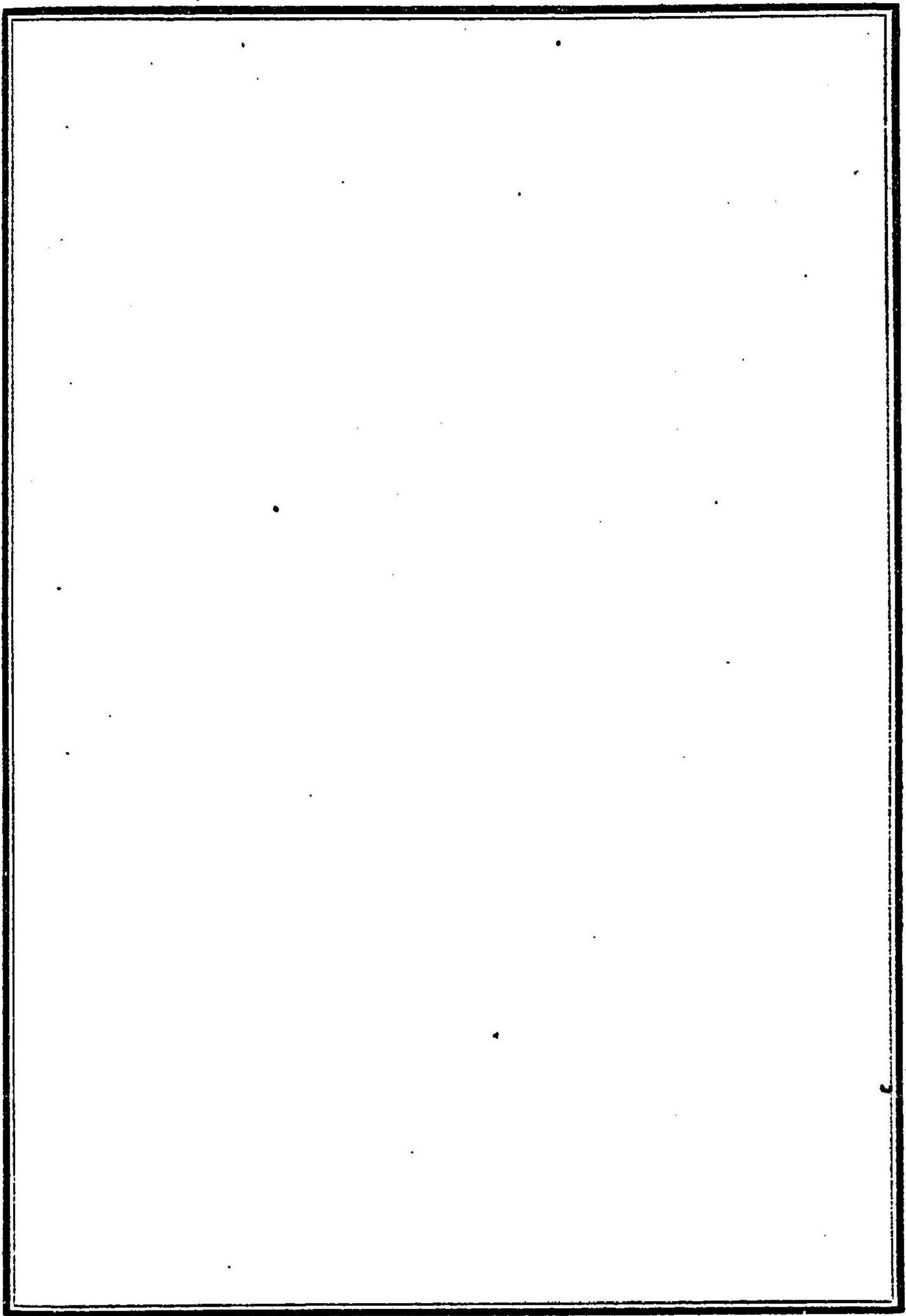


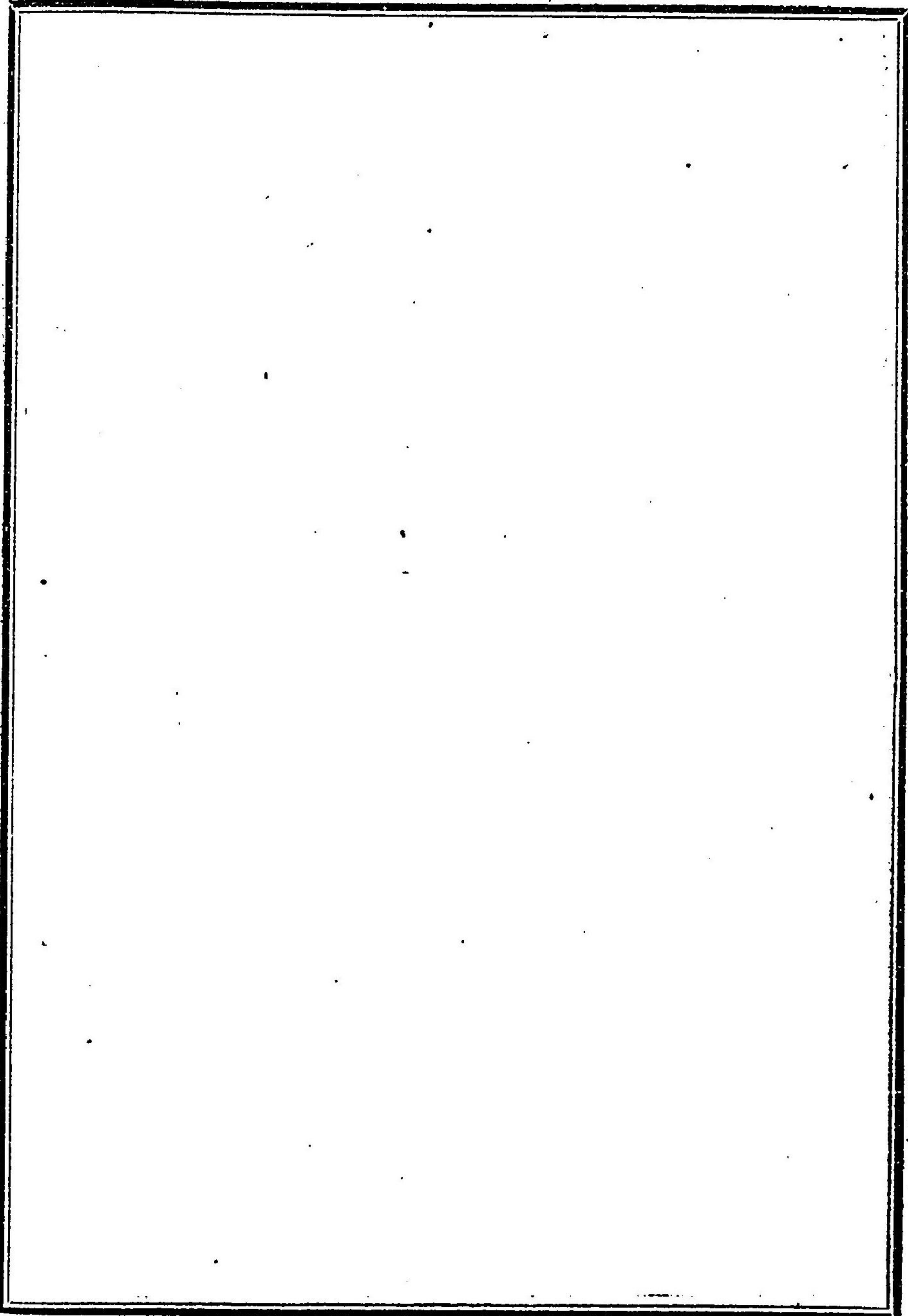
又



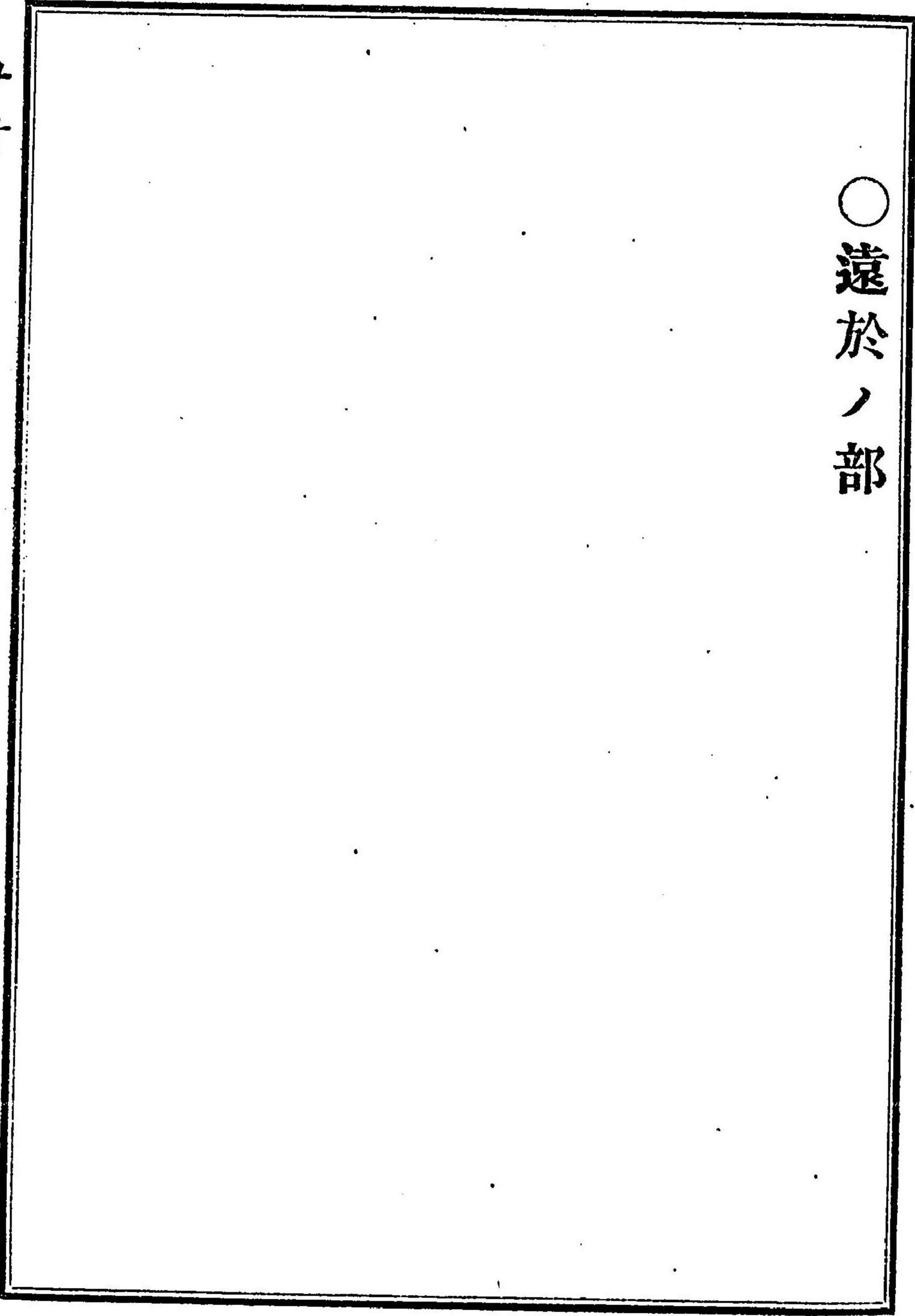
○留ノ部

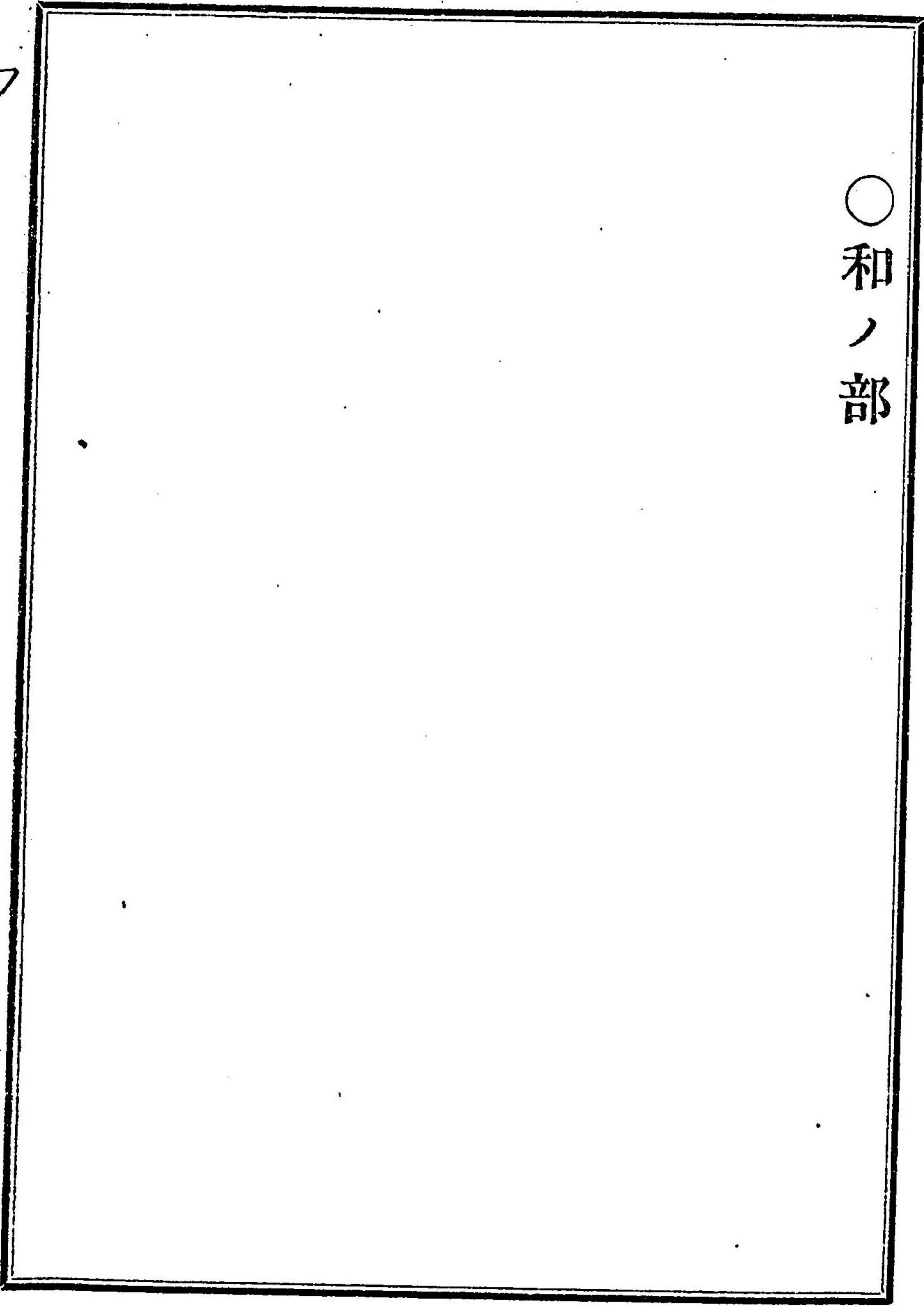
ル





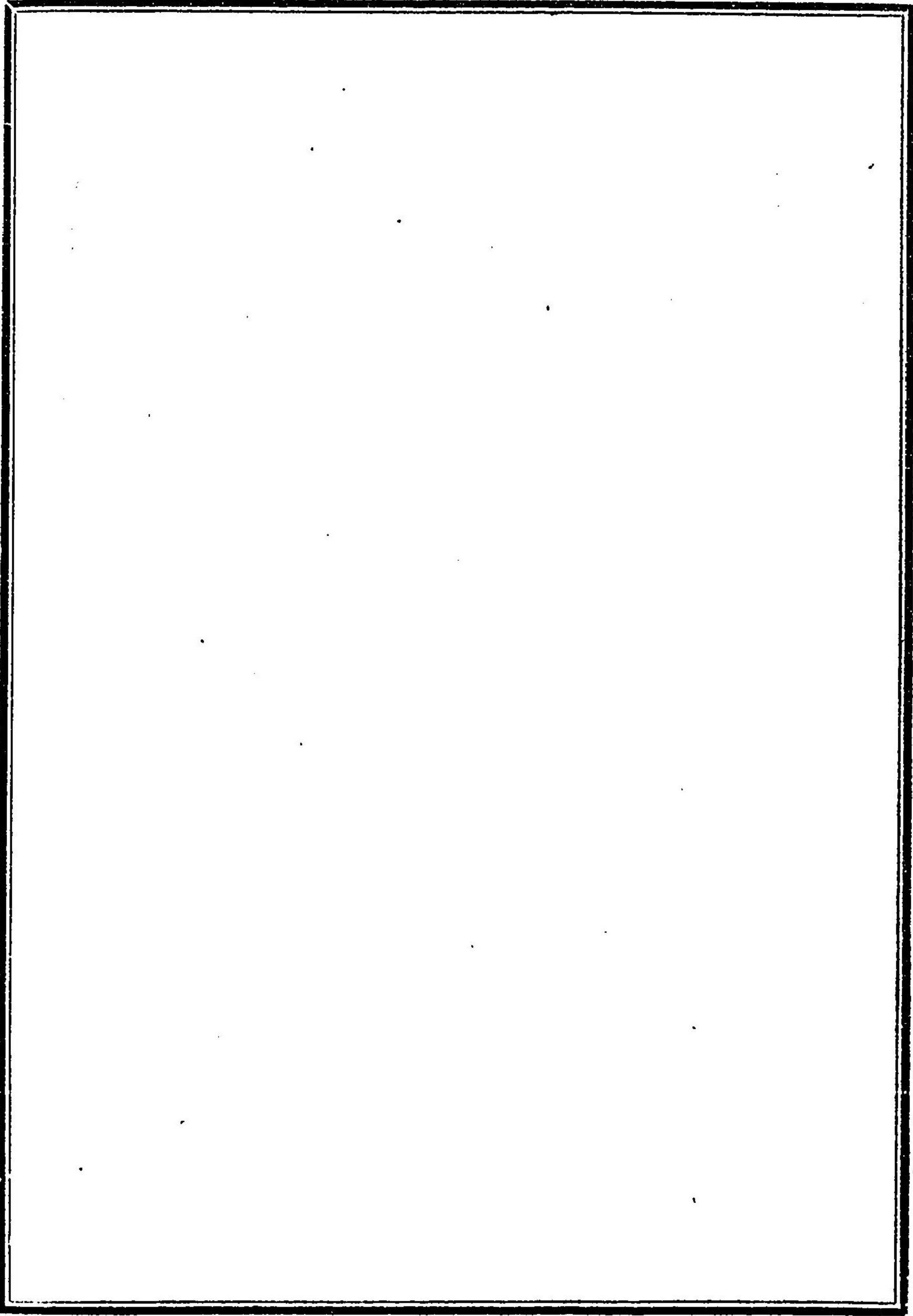
○遠於ノ部

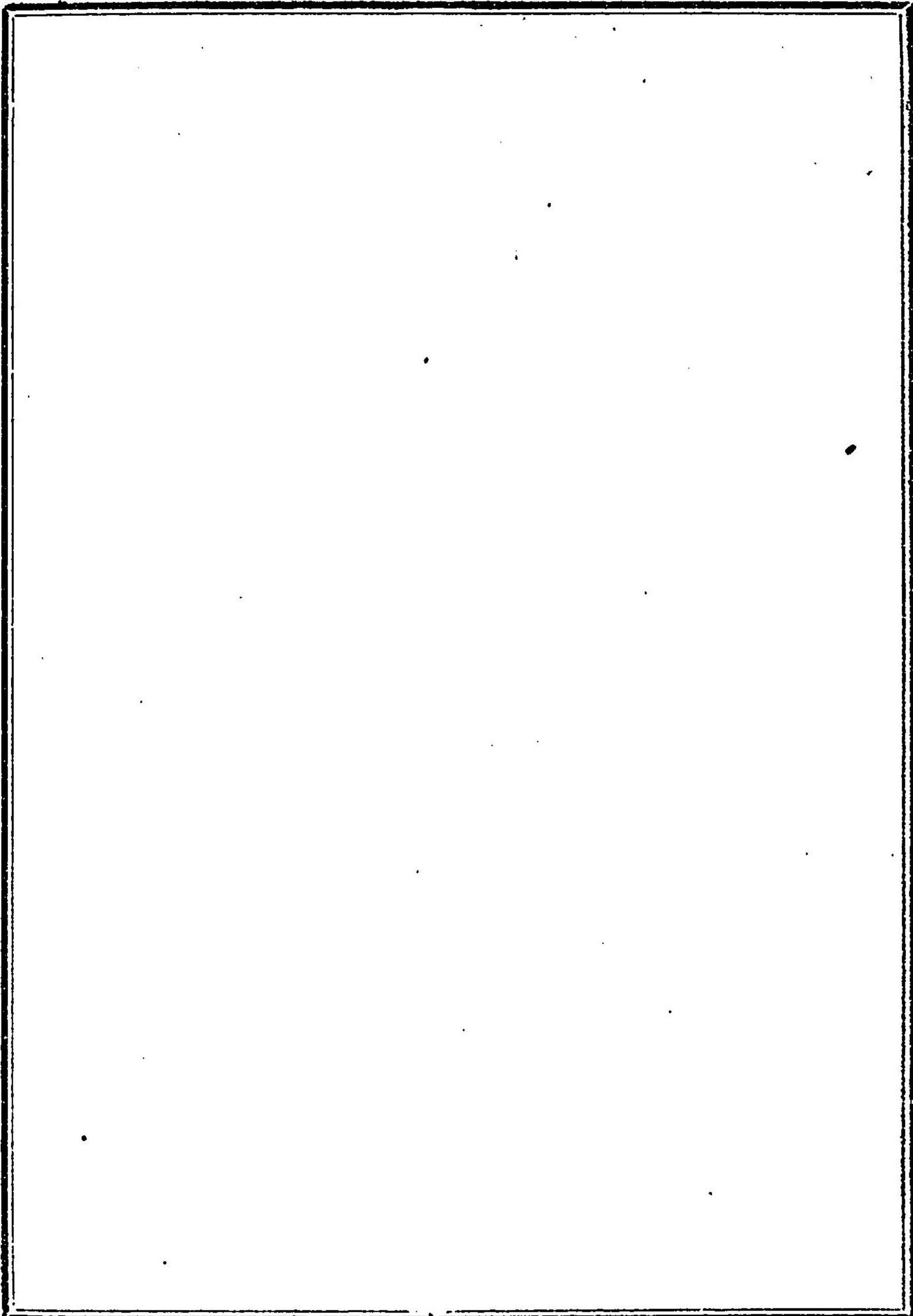




○和ノ部

ワ





○加ノ部

○戒嚴令

○明治十九年十二月一日勅令第七拾四號

朕戒嚴令中追加ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治十五年<sup>八月</sup>第三拾六號布告戒嚴令第六條中「要塞司令官ノ下」警備隊司令官若クハ分遣隊長」ノ十二字ヲ加フ

○海軍懲罰令

○明治十八年一月七日太政官無號達

カ



海軍省

海軍下士以下懲罰則相廢シ海軍懲罰令別冊ノ通相定候條此旨相達候事

明治十八年一月七日

別冊

海軍懲罰令

第一章 總則

第一條 此令ハ軍人ノ故意疎虞懈怠過失ノ輕犯ニシテ刑法ニ該ラサル者或ハ素行修マラス軍人ノ體面ヲ汚ス者ヲ懲戒スルノ罰典トス但他ノ法律規則ニ依テ論入可キ者ハ各其法律規則ニ從フ

第二條 各所管長官ハ部下軍人ノ此令ヲ犯シタル者ヲ處分ス可シ

十九年勅令八十一號ヲ以テ第三條ヲ改正ス

第二條 艦船營ニ於テハ左ノ權限ニ從テ處分スヘシ

一 艦船營長ハ部下ノ軍人三十日以内ノ謹慎監倉

但艦船營長欠員ノ時ハ副長其權ヲ有ス

二 艦船營副長ハ部下ノ准士官十日以内ノ謹慎下士二十日以内ノ監倉卒二十日以内ノ監倉

三 分隊長機關長番兵司令ハ部下ノ下士十日以内ノ監倉卒二十日以内ノ監倉

第四條 分隊長機關長番兵司令ハ部下軍人ノ犯行權限外ノ日數ニ該ルト認ムルキ

ハ意見ヲ附シテ副長ニ具申シ副長其權限外ノ日數ニ該ルト認ルキハ亦意見ヲ附シテ艦船營長ニ具申シ其處分ヲ請フ可シ

第五條 所管長官ニ屬スル所轄長ハ部下ノ准士官十日以内ノ謹慎下士二十日以内ノ監倉卒二十日以内ノ監倉ニ該ル者ヲ處分ス可シ

所轄長部下軍人ノ犯行權限外ノ日數ニ該ルト認ムルキハ意見ヲ附シテ所管長官ニ具申シ其處分ヲ請フ可シ

カ

十九年勅令八十一號ヲ以テ第三條ヲ改正ス

第六條 所管長官ハ部下准士官以上ノ懲罰ニ處セラレタル者アルキハ之ヲ海軍卿ニ報告ス可シ

艦船營長及ヒ所轄長ハ部下軍人ノ懲罰ニ處セラレタル者アルキハ之ヲ所管長官ニ報告ス可シ

第七條 艦船營ニ於テハ此令ニ依テ罰シタル者ヲ戴罪服務ノ例ニ從ヒ其勤務ニ服セシムルヲ得

第八條 軍屬此令ヲ犯シタルキハ軍人ト同シク處分ス海軍所屬ノ生徒乗艦中此令ヲ犯シタルキ亦同シ但九等以上ノ軍屬ハ將校ニ十等ノ軍屬ハ准士官ニ十一等以下ノ軍屬及ヒ生徒ハ下士ニ等外其他ノ軍屬ハ卒ニ準シ處分ス可シ

第二章 罰例

第九條 准士官以上ニ科ス可キ罰目

- 一 重謹慎
- 二 輕謹慎

第十條 下士以下ニ科ス可キ罰目

- 一 重監倉
- 二 輕監倉

第十一條 謹慎ハ勤務ヲ停メ他出及ヒ外人ト接見通信スルヲ禁ス其日數ハ一日以上三十日以下トナス

第十二條 謹慎ハ自宅若クハ艦船營内ニ於テス重謹慎ハ俸給ノ半額ヲ減シ輕謹慎ハ其四分ノ一ヲ減シ加俸ハ總テ之ヲ給セス

第十三條 謹慎限内疾病アレハ醫ヲ延クヲ許シ水火等ノ災害アルキハ防救遷徙スルヲ許ス

第十四條 監倉ハ海軍監獄内ノ監倉或ハ艦船營ノ檻牢又ハ一室内若クハ帆布圍内ニ錮ス其日數ハ一日以上三十日以下トナス

第十五條 艦船營内ニ於テ三日以外ノ監倉ニ處スル者アルキハ指定シタル場所ニ於テ毎日午前一時午後一時間運動ヲ爲サシム可シ

カ

第十六條 重監倉ハ勤務及ヒ演習ヲ停メ輕監倉ハ勤務ヲ停メ演習ハ之ヲ爲サシム  
 第十七條 重監倉ハ下士卒ニ在テハ俸給十分ノ八ヲ減シ其他ノ者ニ在テハ半額ヲ  
 減シ輕監倉ハ下士卒ニ在テハ其十分ノ六ヲ減シ其他ノ者ニ在テハ四分ノ一ヲ減  
 シ加俸ハ總テ之ヲ給セス

第十八條 第三章ニ掲クル所ノ犯行疎虞懈怠若クハ過失ニ係ル者ハ輕謹慎輕監倉  
 ニ處シ其故意ニ係ル者ハ重謹慎重監倉ニ處ス

第十九條 監倉ニ處ス可キ者艦船營外若クハ已ムヲ得サル場合ニ在テハ下士ハ禁  
 足ニ卒ハ科役ニ換フルヲ得

第二十條 禁足科役ニ處スル時其日數ハ重監倉ノ一日ヲ三日ニ輕監倉ノ一日ヲ二  
 日ニ計算ス

禁足科役ハ俸給十分ノ二ヲ減ス

第二十一條 禁足ハ勤務及ヒ演習ノ外他出スルヲ禁ス但水火災疾病アル時ハ此  
 限ニ在ラス

第二十二條 科役ハ勤務及ヒ演習ノ外他出スルヲ禁シ雜役ヲ執ラシム

第二十三條 此令ノ犯行數個俱ニ發シ若クハ海軍省ニ於テ定メタル他ノ懲罰則等  
 ニ觸ル、キハ一ノ重キ者ニ從テ處分ス

第二十四條 此令ノ犯行違警罪ニ觸レ既ニ處斷ヲ受ケタルキハ其罰ヲ科セス

第二十五條 此令ニ依リ處分シタル軍屬ノ犯行ハ官吏服務規律ニ觸ル、モ懲戒處  
 分ヲ爲スヲナシ

第二十六條 海軍部内甲所ニ於テ此令ヲ犯シ未タ處分ヲ經スシテ乙所ニ轉シタル  
 者ハ甲乙互ニ通議シ乙所ニ於テ之ヲ處分ス可シ

第二十七條 此令ヲ犯シタル者未タ處分ヲ經スシテ左項ノ一ニ該ルキハ其罰ヲ科  
 セス

- 一 退職罷役ト爲リ若クハ海軍ノ名籍ヲ除カレタル時
- 二 滿六ヶ月ヲ經過シタル時

第三章 犯行

カ

第二十八條 犯行ノ款目左ノ如シ

- 一 過誤失錯ニ因テ艦船若クハ其他ノ物件ヲ毀損シタル者
- 二 職務ノ權限ヲ誤リタル者
- 三 命令ヲ誤リ若クハ之ヲ誤リ傳ヘタル者
- 四 官ノ機密ヲ漏洩シタル者
- 五 上申下達其他定期アル時日ヲ稽緩シタル者
- 六 抗言恃頑從順ノ道ヲ失ヒタル者
- 七 擅ニ本隊若クハ職役ヲ離レタル者
- 八 演習集合ノ期ニ後レ若クハ之ヲ缺キ或ハ之ヲ懈リタル者
- 九 徵召ノ命ヲ受ケ故ナク到着ノ期限ニ後レタル者
- 十 允許ヲ得テ他方ニ赴キ故ナク歸著ノ期限ニ後レタル者
- 十一 言語所爲詐僞ニ渉ル者
- 十二 暴行脅迫シタル者

- 十三 軍人濫リニ銃砲ヲ發シ又ハ劔ヲ拔キタル者
- 十四 罵詈侮慢若クハ鬪爭シタル者
- 十五 犯罪アルヲ知テ之ヲ曲庇シタル者
- 十六 人ヲ懲罰ニ陷ルタメ申告ヲ爲シタル者
- 十七 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者
- 十八 疎虞懈怠ニ因テ官ノ文書若クハ器具ヲ毀損遺失若クハ汚シタル者
- 十九 文書計算ヲ誤リタル者
- 二十 物件ノ調製貯藏運搬若クハ支給ヲ誤リタル者
- 廿一 官金ヲ借用シ又ハ貸付シタル者
- 廿二 故ラニ糧食分配ノ不平均ヲ致シタル者
- 廿三 官物ヲ擅用若クハ浪費シタル者
- 廿四 酩酊シテ事ヲ省セサル者
- 廿五 兵器其他物件ノ配置法ニ違ヒタル者

- 廿六 法則命令ヲ誹謗シ若クハ之ニ違ヒタル者
  - 廿七 軍人禮式ヲ失シタル者
  - 廿八 軍人其態度ヲ失シタル者
  - 廿九 軍人服裝式ニ違ヒ又ハ制規外ノ著服ヲ爲シタル者
  - 三十 下士以下故ナク定數ノ被服ヲ所持セザル者
  - 卅一 受寄ノ財物若クハ借用物ヲ典却シタル者
  - 卅二 允許ヲ得スシテ官給其他渡付ノ物品ヲ他人ニ貸與シ又ハ他人ヨリ借用シタル者
  - 卅三 濫リニ他人ノ物品ヲ使用シタル者
  - 卅四 濫リニ爆發物ヲ携帯シタル者
  - 卅五 濫リニ大聲疾呼又ハ放歌シタル者
  - 卅六 守兵ニ對シ談話ヲ挑ミ又ハ之ニ戯レタル者
- 第二十九條 前條ノ外尙ホ艦船營内ニ於ケル犯行ノ款目左ノ如シ
- 一 擅ニ艦船屯營ヲ離レ若クハ勤務ヲ缺キ或ハ之ヲ懈リタル者

- 二 艦船營内等ニ於テ醜行ヲ爲シタル者
- 三 允許ヲ得スシテ艦船營内ニ酒類ヲ携ヘ歸リ又ハ賣買シタル者
- 四 艦船營若クハ屯集所内ニ於テ擅ニ鳥獸類ヲ蓄フ者
- 五 許可ナキ物品ヲ艦船ニ積載シタル者
- 六 濫リニ定所外ニ睡眠シタル者
- 七 巡檢後故ナク寢所ヲ離レタル者
- 八 下士以下濫リニ士官以上ノ室ニ入り若クハ甲板上ノ定所外ニ運動シタル者
- 九 濫リニ砲門ヨリ出入シタル者
- 十 濫リニ庖厨ニ入りタル者
- 十一 定所外ニテ飲食シタル者
- 十二 定時限ノ外又ハ禁制ノ場所ニ於テ燈火其他ノ火ヲ用ヒ若クハ吹煙シタル者
- 十三 砲具其他凭ルヘカラサル場所ニ凭リ休憩シタル者
- 十四 守所又ハ整列中ニ在テ喧噪若クハ雜話シタル者

十五 定所外ヨリ物品ヲ投棄シタル者

第三十條 前二條ニ記載シタル犯目ノ外素行修マラサル者或ハ海軍ノ規則若クハ艦船營等ノ規則ニ背キタル者ハ此令ニ依テ處分スルヲ得

○明治十九年十二月十八日勅令第八拾壹號

朕海軍懲罰令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍懲罰令中左ノ通改正ス

第二條 各所管長官軍港司令官ハ部下軍人ノ此令ヲ犯シタル者ヲ處分ス可シ

第三條 所管長官若クハ軍港司令官ニ屬スル所轄長ニシテ艦船或ハ軍隊ノ指揮權ヲ有スル者及艦船營長ハ部下軍人ノ此令ヲ犯シタル者ヲ處分ス可シ但艦船營長缺員ノ時ハ副長其權ヲ有ス

艦船營副長ハ部下ノ准士官十日以内ノ謹慎下士二十日以内ノ監倉卒三十日

以內ノ監倉ニ該ル者ヲ處分ス可シ

分隊長機關長番兵司令ハ部下ノ下士十日以内ノ監倉卒二十日以内ノ監倉ニ該ル者ヲ處分ス可シ

第六條 所管長官ハ部下准士官以上ノ懲罰ニ處セラレタル者アル時ハ之ヲ海軍大臣ニ報告ス可シ

軍港司令官艦船營長及所轄長ハ部下軍人ノ懲罰ニ處セラレタルモノアル時ハ之ヲ所管長官ニ報告ス可シ

○高等官官等俸給令

○明治十九年三月十七日勅令第六號

朕茲ニ高等官官等俸給令ヲ裁可ス

御名 御璽

カ

高等官官等俸給令

官等及叙任

- 第一條 高等官ヲ分テ勅任官奏任官トス
- 第二條 勅任官中親任式ヲ以テ叙任スル官ノ辭令書ハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣又ハ首坐ノ大臣之ニ副署ス
- 第三條 親任式ヲ以テ叙任スル官ヲ除ク外勅任官ヲ分テ二等トス其辭令書ハ御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣之ヲ奉行ス
- 第四條 奏任官ヲ分テ六等トス其任官ハ内閣總理大臣之ヲ奏薦シ其各省ニ屬スルモノハ内閣總理大臣ヲ經由シテ主任大臣之ヲ奏薦ス
- 第五條 奏任官ノ辭令書ハ内閣ノ印ヲ鈐シ内閣總理大臣之ヲ宣行ス
- 第六條 各官同等内ノ順序ハ任官ノ前後ニ依ル
- 第七條 勅任官又ハ奏任官ノ官等内ニ於テ特ニ官等ヲ限ルコトヲ要スルモノハ各別ニ之ヲ定ム

第八條 内閣及各省中ノ局長ハ奏任官一等又ハ二等トシ局次長ハ現任局長ノ次等以下トス

第九條 同一ノ官名ニシテ等差アルモノハ每等人員ヲ定メ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クヘシ其每等ノ定員變更ヲ要スルトキモ亦同シ

俸給

第十條 勅任奏任文官ノ年俸ハ別表ニ依ル

第十一條 陸海軍武官ノ年俸ハ從前定ムル所ニ依ル

第十二條 議官交際官領事貿易事務官判事檢事理事地方官教官技術官ノ類其特ニ定ムル俸給ハ前條ノ外トス

第十三條 奏任官ノ年俸ハ各廳俸給定額内及其官等年俸ノ等級ニ依リ事務ノ繁簡ニ從ヒ各大臣便宜之ヲ増減スルコトヲ得

陞叙及特例

第十四條 官等ハ五年ヲ踰ユルニアラサレハ陞叙スルコトヲ得ス

第十五條 每等人員ヲ定ムルノ官ハ五年ヲ踰ユルモ闕員アルニアラサレハ陞敘スルコトヲ得ス

第十六條 局長ノ闕員ニ依リ局次長ヲ以テ其闕ヲ補フコトヲ要スルトキハ第十四條ノ例ニ依ラス

第十七條 各大臣秘書官ノ進退ハ第十四條第十五條ノ例外トス

第十八條 勅任官ハ本令ノ外勅旨ヲ以テ特ニ其年俸ヲ増給スルコトアルヘシ

第十九條 奏任官一等ニシテ上級俸ヲ受ケタル者勞績拔群顯著ナルハ内閣ノ上奏ニ依リ特旨ヲ以テ勅任官二等ノ下級俸ヲ給スルコトアルヘシ

第二十條 奏任官他ノ官廳ニ涉ルノ兼官ハ兼ヌル所ノ俸給三分ノ一以内ヲ増給スルコトヲ得

同官廳ニ於ケル兼官ハ俸給ノ多額ニ就キ之ヲ給ス

第二十一條 官ニ在リテ死亡シタル者ハ年俸三分ノ一ヲ其遺族ニ給ス其非職者ニ於テモ亦同シ

第二十二條 本令中俸給ニ關スル細則ハ大藏大臣其省令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ  
別表

勅任官	奏任官		任官			
	一等	二等	三等	四等	五等	六等
内閣總理大臣	一	二	一	二	三	四
九千六百圓	上五千圓	四千圓	上三千圓	貳千四百圓	千八百圓	千貳百圓
各省大臣	下四千五百圓	三千五百圓	中貳千八百圓	貳千貳百圓	千六百圓	千百圓
六千圓			下貳千六百圓	貳千圓	千四百圓	千圓
					千七百圓	千四百圓

○海軍條例

○明治十九年四月二十六日勅令第貳拾四號  
朕海軍條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍條例



第一條 凡ソ事軍令ニ關スル者ハ參謀本部長奏聞參畫シ 親裁ノ後海軍大臣之ヲ奉行ス

第二條 戰時ニ在テ 親裁ノ軍令ハ直ニ鎮守府司令長官艦隊司令長官若クハ特命司令官ニ下シ帷幕ト相通報シテ間斷ナカラシム

第三條 海軍ノ軍政ハ海軍省官制ニ依リ海軍大臣之ヲ掌ル

第四條 海軍省ニ將官會議造船會議兵器會議ヲ置ク

第五條 海軍省ハ海軍兵學校機關學校水路部督買部衛生部軍醫學校會計検査部兵器製造所火藥製造所ヲ管轄ス

第六條 帝國ノ海岸及海面ヲ分チテ五海軍區トナスコト左ノ如シ

第一海軍區

陸中陸奥國界ヨリ紀伊國南牟呂東牟呂郡界ニ至ルノ海岸海面及小笠原島ノ海岸海面

第二海軍區

紀伊國南牟呂東牟呂郡界ヨリ石見長門國界ニ至リ又筑前國遠賀宗像郡界ヨリ

九州東海岸ニ沿ヒ日向大隅國界ニ至ルノ海岸海面及四國ノ海岸海面并内海

第三海軍區

筑前國遠賀宗像郡界ヨリ九州西海岸ニ沿ヒ日向大隅國界ニ至ルノ海岸海面及壹岐對馬沖繩諸島ノ海岸海面

第四海軍區

石見長門國界ヨリ羽後陸奥國界ニ至ルノ海岸海面及隱岐佐渡ノ海岸海面

第五海軍區

北海道陸奥ノ海岸海面及津輕海峽

第七條 各海軍區ノ軍港ニ鎮守府ヲ置キ其軍區ヲ管轄セシム

鎮守府ノ名稱ハ其所在ノ地名ニ依ル

第八條 鎮守府司令長官ハ管内ニ於テ軍令ヲ主掌シ軍紀風紀訓練ヲ董督シ軍政ヲ管理ス

第九條 各軍港ニ司令官ヲ置キ命ヲ鎮守府司令長官ニ承ケ港内ノ守備其他諸般ノ事ヲ掌ラシム

第十條 艦隊ハ大艦隊中艦隊小艦隊ノ三種ニ區別ス

第十一條 艦隊司令長官及司令官ハ艦隊ヲ統率シテ環海ヲ守衛シ攻守ノ役ニ服ス

第十二條 艦船ハ各鎮守府及各艦隊ニ分屬ス

○海軍水路部官制

○明治十九年四月二十六日勅令第貳拾六號

朕海軍水路部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍水路部官制

第一條 海軍水路部ハ水路測量海圖調整水路誌編纂氣象觀測及圖誌測器ノ配備其

他航海ノ保安ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條 水路部ニ測量科圖誌科測器科觀象臺計算課ヲ置ク

第三條 水路部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長	一人	少將
測量科長	一人	大佐或中佐
圖誌科長	一人	少佐
測量班長	三人	少佐或大尉
觀象臺長	一人	大尉或技術官
測器科長	一人	大尉
圖誌科僚	一人	同上
測量士	六人	大尉或中尉
觀測士	一人	尉官或技術官
計算課長	一人	屬

測量助手 若干人

判任技術官

觀測助手 若干人

屬或判任技術官

第四條 部長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第五條 部長ハ其名ヲ以テ水路告示ヲ發スルコトヲ得

第六條 測量科長ハ部長ノ命ヲ承ケ左ノ事務ヲ掌ル

一、各班ニ下スヘキ測量教令ヲ立案スル事

二、各班ノ測量原圖ノ精査及保管ニ關スル事項

三、圖誌科ニ於テ調整セル海圖ノ調査ニ關スル事項

四、各班ノ水路記事ノ調査ニ關スル事項

五、測量經費豫算ニ關スル事項

六、測量成績報告書及測量ニ關スル書類ヲ立案シ又ハ調査スル事

七、測量ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項

第七條 測量科長ハ須要ナル方面ノ測量ニハ班長以下ヲ指揮シテ之ニ従事ス

第八條 測量班長ハ各班ニ長トシテ一方面ノ測量事業ヲ主幹シ原圖ヲ調整シ其水

路記事ヲ記述スル事ヲ掌ル

第九條 測量士ハ各班ニ分屬ス

第十條 測量方面ノ缺少ナルモノハ測量士ヲシテ之ヲ主幹セシムルコトヲ得

第十一條 測量助手ハ各班ニ分屬シテ班長ノ命ヲ承ケ測量士ヲ助ク

第十二條 圖誌科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、測量原圖ニ依リ海圖ヲ調整スル事

二、諸報告ヲ調査シ海圖水路誌ヲ編成補正改正シテ之ヲ出版スル事

三、水路告示ヲ起案スル事

四、艦船營ニ備フル海圖水路誌ノ定數ニ關スル事項

五、海圖水路誌ヲ各鎮守府ニ配賦シ及新舊圖誌ヲ交換スル事

六、圖誌ノ經費豫算ニ關スル事項

七、圖誌ヲ保管スル事

- 八、圖誌ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第十三條 測器科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、測器ヲ保護整頓製造修理スル事
  - 二、艦船營ニ備フル測器ノ定數ニ關スル事項
  - 三、測器ヲ各鎮守府ニ配賦シ及新舊測器ヲ交換スル事
  - 四、測器ノ購買及經費豫算ニ關スル事項
  - 五、測器ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第十四條 科長ハ部長ノ命ヲ承ケ科務ヲ整理ス
- 第十五條 科僚ハ科長ノ命ヲ承ケ科務ニ服ス
- 第十六條 觀象臺ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、天體氣象及鐳氣ヲ觀測シ經度ノ聯測ヲ行ヒ測器ヲ試驗シ警報ヲ發スル事
  - 二、沿海ノ氣象ヲ調査シ天候圖海流圖ヲ編成スル事
  - 三、觀象及測器試驗ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項

- 第十七條 觀象臺長ハ部長ノ命ヲ承ケ觀象臺ノ事務ヲ整理ス
- 第十八條 觀測士ハ臺長ノ命ヲ承ケ觀象臺ノ事務ヲ分掌ス
- 第十九條 觀測助手ハ臺長ノ命ヲ承ケ觀測其他ノ事ニ服ス
- 第二十條 計算課長ハ部長ノ命ヲ承ケ課務ヲ整理ス
- 第二十一條 計算課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一、本部經費金收入金ノ豫算書決算書ノ調整ニ關スル事項
  - 二、部内經費金收入金ノ出納ニ關スル事項
  - 三、部内ノ庶務
- 第二十二條 第二條ニ掲クル職員ノ外屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○海軍督買部官制

○明治十九年四月二十六日勅令第貳拾七號

朕海軍督買部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍督買部官制

第一條 海軍督買部ハ海軍一般ノ需用物件ノ購買及不要物件ノ賣却ヲ掌ル

第二條 督買部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長 一人 將官或同等官

理事官 十三人 佐官及同等官若クハ匠司專務六人兼務七人

第三條 部長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第四條 理事官ハ購買賣却ノ事ヲ分擔ス

第五條 第二條ニ掲クル職員ノ外屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○海軍衛生部官制

○明治十九年四月二十六日勅令第貳拾八號

朕海軍衛生部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍衛生部官制

第一條 海軍衛生部ハ海軍ノ醫務衛生ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條 衛生部ニ第一課第二課及衛生會議ヲ置ク

第三條 衛生部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長 一人 軍醫總監

第一課長 一人 軍醫監

第一課僚 一人 軍醫

第二課長 一人 軍醫監

衛生會議議員 四人 軍醫監專務一人兼務三人

第四條 部長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

カ

第五條 第一課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、鎮守府艦隊及官廨ノ醫務衛生ニ關スル事項
- 二、戰時ノ醫務衛生ニ關スル事項
- 三、軍人ノ體格ニ關スル事項
- 四、艦船營學校病院監獄ノ構造ニ關スル衛生上ノ事項
- 五、恩給及賑恤金ニ係ル診斷書ノ調査ニ關スル事項
- 六、斷訟醫事ノ紀事
- 七、各海港ノ風土氣象及風土病ニ關スル事項
- 八、傳染病及流行病ノ豫防ニ關スル事項
- 九、遠洋航艦船ノ軍醫ニ與フル訓條ヲ立案スル事
- 十、軍醫官ノ職務及勤務ニ關スル事項
- 十一、軍醫官ノ採用及其試驗ニ關スル事項
- 十二、軍醫官軍醫生徒看護手看病夫教育方法ノ創設改良ニ關スル事項

十三、外國海軍ノ醫務衛生ニ關スル事項

十四、軍醫學ノ進歩及其參考品ニ關スル事項

十五、衛生費及醫事ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項

第六條 第二課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、病院及艦船營各官廨ノ病室ニ備フル藥品療用品ノ品種及定數ニ關スル事項
- 二、前項諸品ノ費用ノ調査ニ關スル事項
- 三、第一項諸品ノ良否及保存ノ調査ニ關スル事項
- 四、糧食ノ良否及保存ノ調査ニ關スル事項
- 五、理化學上ノ諸検査及記事ニ關スル事項
- 第七條 課長ハ部長ノ命ヲ承ケ課務ヲ整理ス
- 第八條 課僚ハ課長ノ命ヲ承ケ課務ニ服ス
- 第九條 部長ハ衛生會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス
- 第十條 部長ハ海軍一般ノ醫務衛生及軍醫官ノ學術ヲ監督シ其能否ヲ熟知スルヲ

要ス

- 第十一條 部長ハ大臣ノ命ニ依リ或ハ其允許ヲ得テ海軍部内ノ各病院病室ヲ巡檢ス
- 第十二條 衛生會議ニ於テ議スヘキ事項ノ概目ハ左ノ如シ
  - 一、海軍一般ノ醫務衛生ニ關スル事項ノ當否及其改良
  - 二、軍醫官軍醫生徒看護手看病夫ノ教育方法
- 第十三條 第三條ニ掲クル職員ノ外屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○海軍醫學校官制

○明治十九年四月二十六日勅令第貳拾九號

朕海軍醫學校官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍醫學校官制

- 第一條 海軍醫學校ハ軍醫官ト爲ルヘキ生徒ヲ教育スル所トス
- 第二條 醫學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長	一人	軍醫總監之ヲ兼ヌ
教授	十人	軍醫官專務五人兼務五人
監事	三人	教授ノ内之ヲ兼ヌ
計算課長	一人	屬

- 第三條 校長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ總理ス
- 第四條 教授ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ教授ヲ掌ル
- 第五條 監事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ヲ監督ス
- 第六條 計算課長ハ校長ノ命ヲ承ケ校内ノ會計及庶務ヲ掌ル
- 第七條 第二條ニ掲クル職員ノ外屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○海軍會計検査部官制

○明治十九年四月二十六日勅令第三拾號

朕海軍會計検査部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍會計検査部官制

第一條 海軍會計検査部ハ海軍一般ノ金錢物品ノ會計ヲ検査スル所トス

第二條 會計検査部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長 一人

主計大監

検査官 四人

主計官

検査官補

屬

第三條 部長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第四條 部長ハ會計検査及決算證明ノ事ニ付テハ會計検査院長ニ對シ辯明ノ責任ヲ

第五條 部長ハ大臣ノ命ヲ承ケ又ハ其允許ヲ得テ各官廳艦船營ヲ巡視シ其會計ヲ

検査ス

第六條 部長ハ出納法規金錢物品給與ノ規則ニ付意見アルトキハ之ヲ大臣ニ開申スヘシ

第七條 部長ハ検査上ニ於テ主任者ノ説明ヲ要スルトキハ之ヲ喚問シ又直ニ之ト

通信スルコトヲ得

第八條 検査官ハ部長ノ命ヲ承ケ成規ニ從ヒ各官廳艦船營ノ會計ヲ検査ス

第九條 検査官補ハ検査ノ事務ヲ補助ス

○海軍兵器製造所官制

○明治十九年四月二十六日勅令第三拾壹號

朕海軍兵器製造所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍兵器製造所官制



第一條 海軍兵器製造所ハ砲銃水雷彈丸其他ノ兵器及屬具ヲ製造修理シ及兵器購入ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 兵器製造所ニ製造科検査科材料課計算課ヲ置ク

第三條 兵器製造所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	一人	大佐或中佐
次長	一人	中佐或少佐
製造科長	一人	匠司
検査科長	一人	少佐或大尉
製造科主幹	三人	匠司
検査科主幹	一人	大中尉或匠司
材料課長	一人	屬
計算課長	一人	同上
主庫	一人	同上

第四條 所長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第五條 次長ハ所長ヲ助ケ其主務ヲ整理ス

第六條 製造科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、兵器及屬具ヲ製造修理スル事
- 二、購入スヘキ兵器ノ尺度種類數量ニ關スル事項
- 三、工場及諸器械ヲ管理スル事
- 四、材料ノ良否ヲ検査スル事

第七條 検査科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、造修及所内貯蓄ノ兵器及屬具ノ良否ヲ検査スル事
- 二、造修兵器及屬具ノ試験ニ關スル事項

第八條 材料課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、材料物品ノ保管及出納ニ關スル事項
- 二、材料物品ノ經費豫算ニ關スル事項

第九條 計算課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、本所經費金收入金ノ豫算書決算書ノ調整ニ關スル事項
  - 二、所内經費金收入金ノ出納ニ關スル事項
  - 三、造修兵器及屬具ノ價格ノ調査ニ關スル事項
  - 四、工夫職工毎日ノ出場退場ノ調査ニ關スル事項
  - 五、工夫職工ノ賃錢計算并其支給ニ關スル事項
  - 六、兵器及其屬具并材料物品ノ購買ニ關スル事項
  - 七、所内ノ庶務
  - 八、所内ノ復舊修繕
  - 九、本所ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項
- 第十條 科長及課長ハ所長ノ命ヲ承ケ其主務ヲ整理ス
- 第十一條 主幹ハ科長ヲ助ケ其主務ノ工事ヲ分擔ス
- 第十二條 主庫ハ兵器及屬具ノ保存出納運搬及損物ノ修理ヲ爲スコトヲ掌ル

第十三條 第三條ニ掲クル職員ノ外軍醫一人看護手一人ヲ置キ又屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○海軍火藥製造所官制

○明治十九年四月二十六日勅令第三拾貳號

朕海軍火藥製造所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍火藥製造所官制

第一條 海軍火藥製造所ニ製造科検査科計算課ヲ置ク

第二條 火藥製造所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	一人	佐官
製造科長	一人	匠司

検査科長 一人 同上  
計算課長 一人 屬

第三條 所長ハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ主管ノ事務ヲ總理ス

第四條 製造科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、火藥ヲ製造スル事

二、工場及諸器械ヲ管理スル事

三、材料ノ良否ヲ検査スル事

第五條 検査科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、製造及所内貯蓄ノ火藥ノ良否ヲ検査スル事

二、製造火藥ノ試験ニ關スル事項

第六條 計算課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、本所經費金收入金ノ豫算書決算書ノ調整ニ關スル事項

二、所内經費金收入金ノ出納ニ關スル事項

三、製造火藥ノ價額ノ調査ニ關スル事項

四、工夫職工毎日ノ出場退場ノ調査ニ關スル事項

五、工夫職工ノ賃錢計算并其支給ニ關スル事項

六、材料ニ關スル事項

七、火藥ノ拂下ニ關スル事項

八、所内ノ庶務

九、所内ノ復舊修繕

十、本所ニ係ル報告統計ノ整理ニ關スル事項

第七條 科長及課長ハ所長ノ命ヲ承ケ其主務ヲ整理ス

第八條 第二條ニ掲クル職員ノ外軍醫一人看護手一人ヲ置キ又屬員トシテ判任官若干人ヲ置ク

○高等師範學校高等中學校東京商業學校官制

○明治十九年四月三十日勅令第三拾五號

朕高等師範學校高等中學校東京商業學校ノ官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

高等師範學校高等中學校東京商業學校官制

第一條 高等師範學校高等中學校東京商業學校ニ左ノ職員ヲ置ク

學校長

高等師範學校ハ勅任二等又ハ奏任一等二等高等中學校東京商業學校ハ奏任自一等至三等

教頭 奏任自一等至四等

教諭 奏任自一等至六等

幹事 奏任自四等至六等

助教諭 判任

舍監 判任

訓導 判任

高等師範學校ニ限リ之ヲ置ク

書記 判任

第二條 學校長ハ文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

第三條 教頭ハ教諭ヨリ之ニ兼任ス

教頭ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務ヲ整理シ教室ノ秩序ヲ保持スルコトヲ掌ル

第四條 幹事ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ幹理ス

第五條 教諭助教諭訓導ノ員數ハ其學科ノ輕重及生徒ノ員數ニ應シテ之ヲ定ム

○<sup>第</sup>二海軍區及<sup>第</sup>三海軍區鎮守府位置

○明治十九年五月五日勅令第三拾九號

カ

朕茲ニ第二海軍區及第三海軍區鎮守府ノ位置ヲ定ムルコトヲ裁可ス

御名 御璽

第二海軍區及第三海軍區鎮守府ノ位置ヲ定ムルコト左ノ如シ但其府開廳マテハ横須賀鎮守府ヲシテ第二第三海軍區ヲ管轄セシメ第四及第五海軍區鎮守府ノ位置ヲ定ムルマテハ其軍區ヲ横須賀鎮守府ノ管轄トス

一 第二海軍區安藝國安藝郡吳港

一 第三海軍區肥前國東彼杵郡佐世保港

○海軍公債證書條例

○明治十九年六月十五日勅令第四拾七號

朕海軍公債證書條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍公債證書條例

第一條 海軍公債證書ハ海軍軍備ノ費途ニ充ツル爲メ壹千七百萬圓ヲ限リ二箇年間ニ漸次之ヲ發行スルモノトス

第二條 此公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五トス

第三條 此公債ノ元金ハ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其翌年ヨリ向二十箇年間ニ抽籤ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條 此公債證書發行ノ價格ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 此公債證書ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 此公債證書引受申込高每期需用ノ高ニ超過スルトキハ其申込價格ノ高キモノヨリ順次證書ヲ交付シ需用額ニ滿ツルニ至テ之ヲ止ム

第七條 此公債ノ利子ハ毎年五月十一月ニ拂渡スモノトス

第八條 此公債證書抽籤ノ時ハ大藏省官吏三名以上會計検査院官吏二名以上及ヒ日本銀行役員二名以上立會ノ上之ヲ執行ス但此公債證書額面拾萬圓以上ヲ有ス

カ









其一 特命檢閱

其二 定期檢閱

其三 臨時檢閱

第二條 特命檢閱ハ將官勅ニ依リ檢閱使ト爲リ一鎮守府若クハ數鎮守府若クハ艦隊若クハ他ノ海軍各部ヲ閱視檢實ス

第四條 定期檢閱ハ鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官毎年定期ニ於テ部下艦船及各部ヲ閱視檢實ス

第五條 臨時檢閱ハ少將機技總監軍醫總監主計總監若クハ上長官海軍大臣ノ命ニ依リ検査官トナリ臨時主管ノ事ヲ検査ス

第六條 凡ソ檢閱ニ關スル事務ノ細則ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二章 特命檢閱

第七條 特命檢閱ノ要目左ノ如シ

一 軍紀風紀

二 艦船ノ戰鬪航海準備及艦内部署法

三 士卒ノ教育及訓練法

四 艦船兵器ノ造修及其材料

五 出師準備

六 軍港要港ノ防禦法

七 各官廳處務ノ實況

第八條 檢閱使ノ屬員トシテ大佐一人少佐二人尉官二人少主計一人筆記二人ヲ附シテ檢閱ノ事務ニ服セシメ又各部ノ准將校一人若クハ二人ヲ屬セシムルコトアルヘシ

第九條 檢閱使ハ豫メ巡回ノ路程ヲ定メ艦船ヲ招集スルノ港灣ヲ指定シ到着ノ時日ヲ鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官ニ報知シ諸事ヲ整頓シ檢閱ニ供スルノ準備ヲ爲サシム

第十條 檢閱使鎮守府ヲ置ク府縣ノ治所ニ至レハ其地ノ知事控訴院長檢事長始審

カ

裁判所長及檢事上席ノ者ノ存問ヲ受クルモノトス

第十一條 檢閱使鎮守府ニ到着シ其地ニ鎮臺若クハ營所アルトキハ其司令官ト互ニ相訪問スルモノトス但官等ノ卑キ方ヨリ先ツ訪問スルヲ例トス

第十二條 檢閱使鎮守府若クハ艦隊ノ泊地着發ノ時並滯在中儀仗兵及歩哨ヲ備フ

第十三條 檢閱使ハ閱視ノ事ニ付意見ヲ筆記シ其部ノ長官ニ告示スヘシ

第十四條 檢閱使使務ヲ終レハ其實況ヲ上奏復命スルモノトス

第三章 定期檢閱

第十五條 定期檢閱ノ要目左ノ如シ

- 一 軍紀風紀
- 二 艦船ノ戰鬪航海準備及艦内部署法
- 三 士卒ノ教育及訓練法
- 四 出師準備
- 五 艦船兵器ノ造修及其材料

六 軍港要港ノ防禦法

七 營解倉庫

八 會計經理

九 醫務衛生

第十六條 鎮守府若クハ艦隊ノ艦船事故アリテ便宜ノ港ニ召集スル能ハサルトキハ鎮守府司令長官ハ軍港司令官若クハ其部下先任艦長ヲ派遣シ艦隊司令長官司令官ハ司令次官若クハ其部下先任艦長ヲ派遣シ定期中ニ於テ檢閱セシムルコトヲ得

第十七條 鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官ハ檢閱中ニ於テ條例規則實踐ノ如何ヲ察シ若シ之ニ違フモノハ速カニ改正ヲ加ヘ其權外ニ係ルモノハ狀況ヲ盡シ意見ヲ附シ海軍大臣ニ上申スヘシ

第十八條 鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官檢閱ヲ終レハ其閱視セシ事項ハ細大トナク海軍大臣ニ報告スヘシ

カ

第四章 臨時檢閲

第十九條 臨時檢閲ハ分テ六種トス即チ左ノ如シ

- 一 尉官以下教育檢閲
- 二 兵器檢閲
- 三 需品檢閲
- 四 機技檢閲
- 五 醫務檢閲
- 六 會計檢閲

第二十條 尉官以下教育檢閲ハ少將若クハ大佐檢査官トナリ兵學校練習艦及屯營ニ就キ教育訓練法ヲ閱視檢實ス

第二十一條 兵器檢閲ハ少將若クハ大佐檢査官トナリ兵器彈藥及其屬具ノ準備保存出納製造修理ノ實況並ニ武庫水雷庫及材料ヲ閱視檢實ス又機技部上長官士官ナシテ補助セシムルコトアルヘシ

第二十二條 需品檢閲ハ少將若クハ大佐檢査官トナリ艦船營ニ要スル測器海圖需用物品ノ準備保存出納買辦供給ノ實況並ニ各鎮守府航海部豫備艦部ノ倉庫及其貯藏物品ヲ閱視檢實ス又准將校ヲシテ補助セシムルコトアルヘシ

第二十三條 機技檢閲ハ機技總監若クハ機關大監大技監檢査官トナリ艦船造修ノ事業及其所用材料ノ精粗艦船ノ保存法機技部士官以下ノ教育法ヲ閱視檢實ス

第二十四條 醫務檢閲ハ衛生部長若クハ軍醫大監檢査官トナリ治療衛生ノ方法病院病室及藥品療用品並軍醫部士官以下ノ教育法ヲ閱視檢實ス

第二十五條 會計檢閲ハ會計局長若クハ主計大監檢査官トナリ會計經理ニ關スル事務實況被服糧食ノ準備保存各鎮守府主計部ノ倉庫及其貯藏物品並主計部士官以下ノ教育方法ヲ閱視檢實ス

第二十六條 檢査官檢閲ヲ終レハ其狀況ヲ盡シ意見ヲ附シ海軍大臣ニ復命スヘシ

○海軍高等武官進級條例

○明治十九年十月五日勅令第六拾四號

朕海軍高等武官進級條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

海軍高等武官進級條例

第一條 海軍高等武官軍級ノ最モ高キ者ヲ將官ト云ヒ之ニ次ク者ヲ佐官或ハ上長官ト云ヒ又之ニ次ク者ヲ尉官或ハ士官ト云フ而シテ之ヲ總稱シテ將校ト云フ  
機技部軍醫部主計部ノ同等官ヲ總稱シテ准將校ト云フ

第二條 凡ソ進級ハ超級ノ陞進ヲ許スコトナク而シテ左ニ掲クル實役停年最下期限ヲ經タル者ニアラサレハ陞進スルコトヲ許サス又缺員ナキ時ハ除任ヲ行フコトナシ

將校	准	將	校	實役停年	實役停年中 海上勤務
少尉	少機關士	少技士	少軍醫	少主計	四年以上
					二年以上

大尉	大機關士	大技士	大軍醫	大主計	七年以上	三年以上
少佐	機關少監	少技監	軍醫少監	主計少監	四年以上	二年以上
大佐	機關大監	大技監	軍醫大監	主計大監	三年以上	一年以上
少將					六年以上	三年以上
					七年以上	一年以上

海上勤務トハ艦船ニ乗組ミ服務スルヲ云フ

第三條 中將ノ大將ニ進ムハ歴戰者或ハ遠征ニ從事シタル者ニ就キ特旨ヲ以テ親任スルヲ例トス故ニ最下ノ期限ヲ定ムルコトナシ

第四條 大尉及同等官ノ奏任五等ヨリ四等ニ進ムハ實役停年最下期限ノ半數ヲ過キタル者ニ就キ進等セシム大佐及同等官ノ奏任二等ヨリ一等ニ進ムモ亦同シ

第五條 初メテ大尉又ハ同等官ニ任シ奏任四等ニ叙セラレタル者實役停年海上勤務ノ各半數ヲ過キタルトキハ少佐又ハ同等官ニ進級セシムルコトヲ得初メテ大

カ

佐又ハ同等官ニ任シ奏任一等ニ叙セラレタル者ノ進級モ亦同シ

第六條 戰時ニ在テハ各官ノ實役停年海上勤務最下期限ヲ其半ニ減スルコトヲ得

第七條 進級ノ法ニアリ一ヲ停年補除ト云ヒ一ヲ拔擢補助ト云フ參互之ヲ用フ其

法左ノ如シ

少尉ヨリ大尉ニ陞ルハ停年四分ノ一拔擢四分ノ三ヲ以テス

大尉ヨリ少佐ニ少佐ヨリ大佐ニ大佐ヨリ少將ニ少將ヨリ中將ニ進ムハ皆拔擢ヲ以テス

准將校補除ノ法ハ同等將校ノ例ニ同シ

第八條 平時少尉ノ進級ニ停年補除四分ノ一ヲ用フルノ例戰時ニ在テハ皆拔擢ノ例ヲ用フルコトヲ得

第九條 左ノ場合ニ在テハ前諸條ノ例ニ依ルコトナク進級セシムルコトヲ得

一 敵前ニ在テ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告セシ者

二 戰地ニ在テ人員缺乏シ補除定規ヲ履ム能ハサル時

第十條 海上勤務ノ者ニシテ公務ニ原因セサル傷痕疾病ニ依リ上陸療養ノ日數ハ

海上勤務ニ算入セス

第十一條 非職收禁及刑罰中ノ日數ハ實役停年ニ算入セス

第十二條 敵ノ捕虜トナリ正當ノ理由アル者ハ其年月ヲ實役停年ニ算入スルコトヲ得

第十三條 海上勤務最下期限ヲ終ラサレハ進級スルヲ得サルノ諸官ニシテ陸上勤務必要ナルヲ以テ海上勤務ヲ命セサル者ニ限り實役停年最下期限ヲ超エタル時ハ進級セシムルコトアルヘシ

第十四條 上長官士官ノ進級順序ヲ定ムル爲メ毎年定期檢閲畢ルノ後海軍大臣ハ

同次官參謀本部長同次長海軍軍務局長在職機技總監軍醫總監主計總監海軍省

ニ會同シテ決定候補名簿ヲ作ルモノトス

第十五條 前條ノ各簿ヲ作ルノ法上長官ニ在テハ候補名簿ニ就キ海軍大臣之ヲ決シ停年順序ヲ以テ其列序ヲ定メ士官ニ在テハ檢査合格者ヲ合シテ停年順序ヲ以

カ

テ其列序ヲ定ム

第十六條 海軍ノ學校卒業ノ者ハ海軍大臣先ツ之ニ少尉候補生少機關士候補生少  
技士候補生少軍醫候補生少主計候補生ヲ命シ一箇年以上試用ノ後検査合格ノ者  
ハ海軍大臣ヨリ除任ノ事ヲ奏上シ各其本官ニ任ス

准士官ハ士官ニ進級スルヲ得サルヲ例トスト雖モ志操確實士官タルニ堪ヘ且學  
術技藝拔群ノ者ハ臨時試験ノ上士官ニ任スルコトヲ得

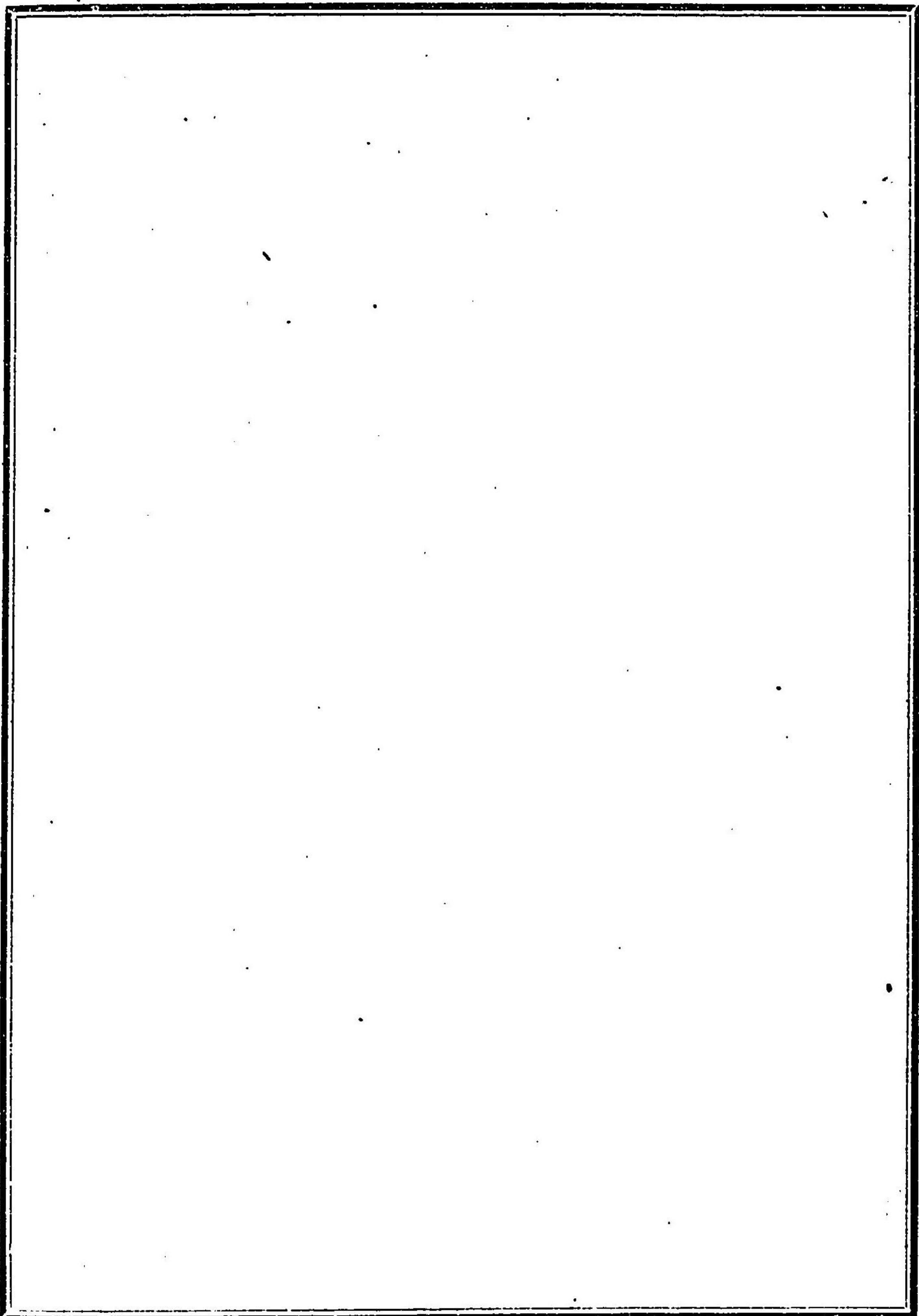
第十七條 海軍官費生徒ニシテ外國留學卒業證書ヲ得タル者ハ其學科相當ノ官ニ  
補除ス

第十八條 高等武官決定候補名簿ハ海軍大臣ヨリ奏上シ置キ補除ヲ要スル毎ニ其  
順序ニ從ヒ士官ニ在テハ停年進級者ヲ參互シ除任ノ事ヲ奏上スヘシ

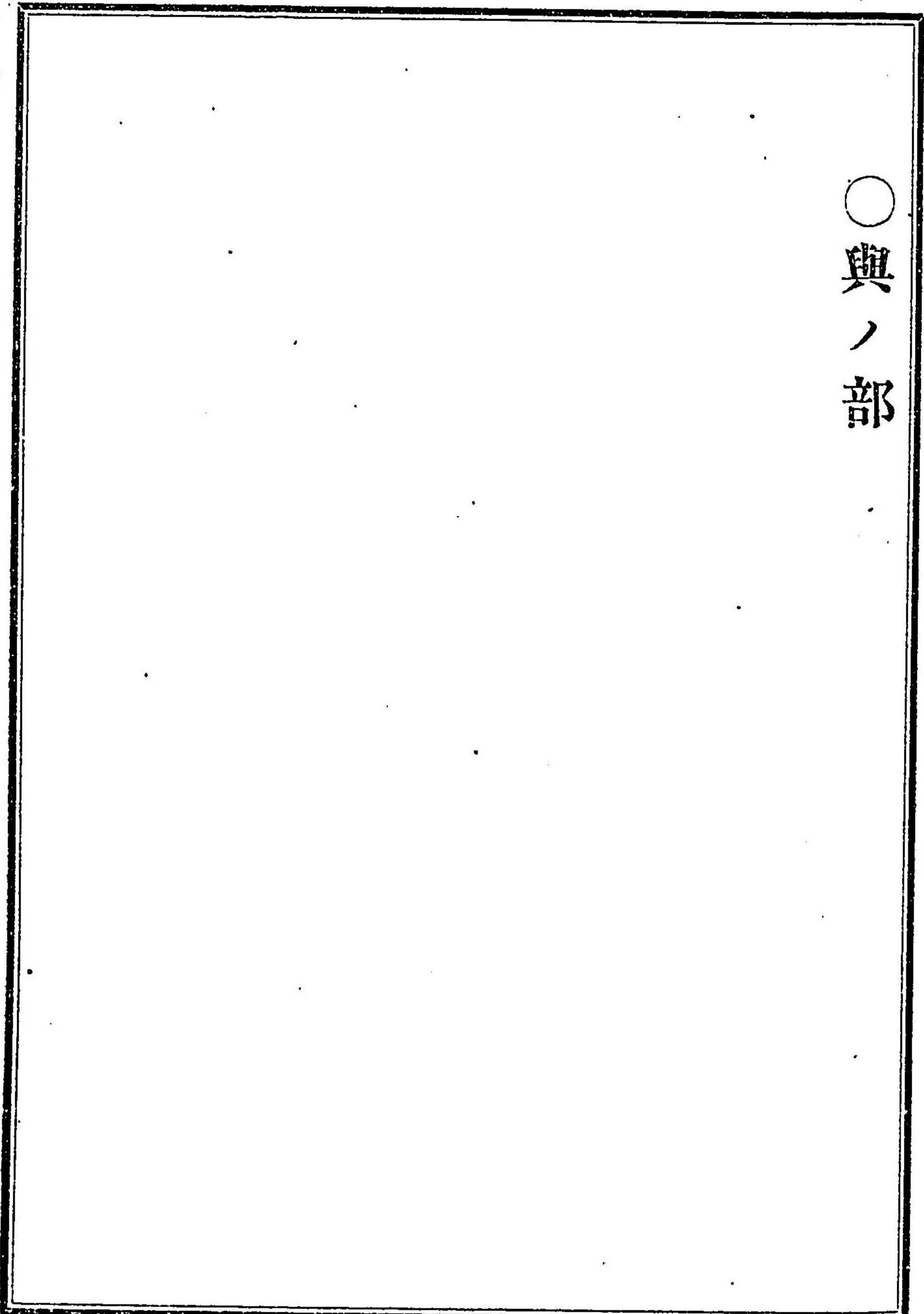
第十九條 將官並其同等官ノ進級ハ上裁ニ出ルト雖モ先ツ内旨ヲ海軍大臣ニ諭シ  
然ル後除任スルヲ例トス

第二十條 興軍ノ日ニ方リ戦地ニ臨ムノ首將ニハ進級補除ノ權ヲ假スコトアルヘ

シト雖モ其權限ハ上旨ニ出ルヲ以テ之ヲ本條例ニ掲ケス



○與ノ部



○多ノ部

○駒場農學校東  
京山林學校 大小林区署官制

○明治十九年四月十七日勅令第拾八號

朕駒場農學校東京山林學校大小林区署ノ官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

駒場農學校官制

第一條 駒場農學校ハ農商務大臣ノ管理ニ屬シ農業及獸醫ノ諸學術ヲ教授スル所トス

第二條 駒場農學校ノ各専門學科ヲ卒ヘ定期ノ試験ヲ經タル者ニ卒業證書ヲ授與ス

第三條 駒場農學校ニ職員ヲ置クト左ノ如シ  
校長

夕

十九年勅令五拾六  
號ヲ以テ隨ス



幹事  
教授  
助教  
助教補  
舍監  
書記

第四條 校長ハ一人奏任一等以下トス農商務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ校務ヲ掌理シ及幹事以下ノ職員ヲ監督ス

第五條 幹事ハ一人奏任三等以下トス校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理シ校長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第六條 教授ハ奏任二等以下トス生徒ノ教授ヲ掌ル

教授ノ人員ハ生徒ノ員數及其學科ニ應シテ別ニ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七條 助教ハ判任トス教授ノ職掌ヲ佐ク

十九年勅令五拾六號ヲ以テ廢ス

第八條 助教補ハ判任トス職掌助教ニ同シ

第九條 舍監ハ判任トス校長若クハ幹事ノ指揮ヲ承ケ生徒及校舎ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

○東京山林學校官制

第一條 東京山林學校ハ農商務大臣ノ管理ニ屬シ山林學術ヲ教授スル所トス

第二條 東京山林學校ノ學科ヲ卒ヘ定期ノ試験ヲ經タル者ニ卒業證書ヲ授與ス

第三條 東京山林學校ニ職員ヲ置クコト左ノ如シ

校長  
幹事  
教授  
助教

夕

助教補

舍監

書記

第四條 校長ハ一人奏任一等以下トス農商務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ校務ヲ掌理シ及幹事以下ノ職員ヲ監督ス

第五條 幹事ハ一人奏任三等以下トス校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理シ校長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第六條 教授ハ奏任二等以下トス生徒ノ教授ヲ掌ル

教授ノ人員ハ生徒ノ員數及其學科ニ應シテ別ニ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七條 助教ハ判任トス教授ノ職掌ヲ佐ク

第八條 助教補ハ判任トス職掌助教ニ同シ

第九條 舍監ハ判任トス校長若クハ幹事ノ指揮ヲ承ケ生徒及校舎ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

○大小林區署官制

第一條 大林區署ハ農商務大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一、長期施業案編制ノ事

二、小林區豫算ニ關スル事項

三、管區巡回視察ニ關スル事項

四、官林產物賣拂許否ニ關スル事項

五、林地境界調査分合ニ關スル事項

六、林地ノ變更及貸渡ニ關スル事項

第二條 大林區署ニ職員ヲ置クコト左ノ如シ

林務官

林務官補

夕

書記

第三條 林務官ハ委任三等以下トス農商務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ大林區署長ト爲  
リテ所轄官林ヲ管理ス

第四條 林務官補ハ判任トス其所部ヲ監督シ及署務ヲ分掌ス

第五條 書記ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條 小林區署ハ大林區署ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一、短期施業豫算ノ事

二、山林諸産物採收及賣却ニ關スル事項

三、造林及林地改良ニ關スル事項

四、官林保護ニ關スル事項

五、官林内道路其他築造ニ關スル事項

六、林地測量製圖ノ事

第七條 小林區署ニ職員ヲ置クコト左ノ如シ

營林主事

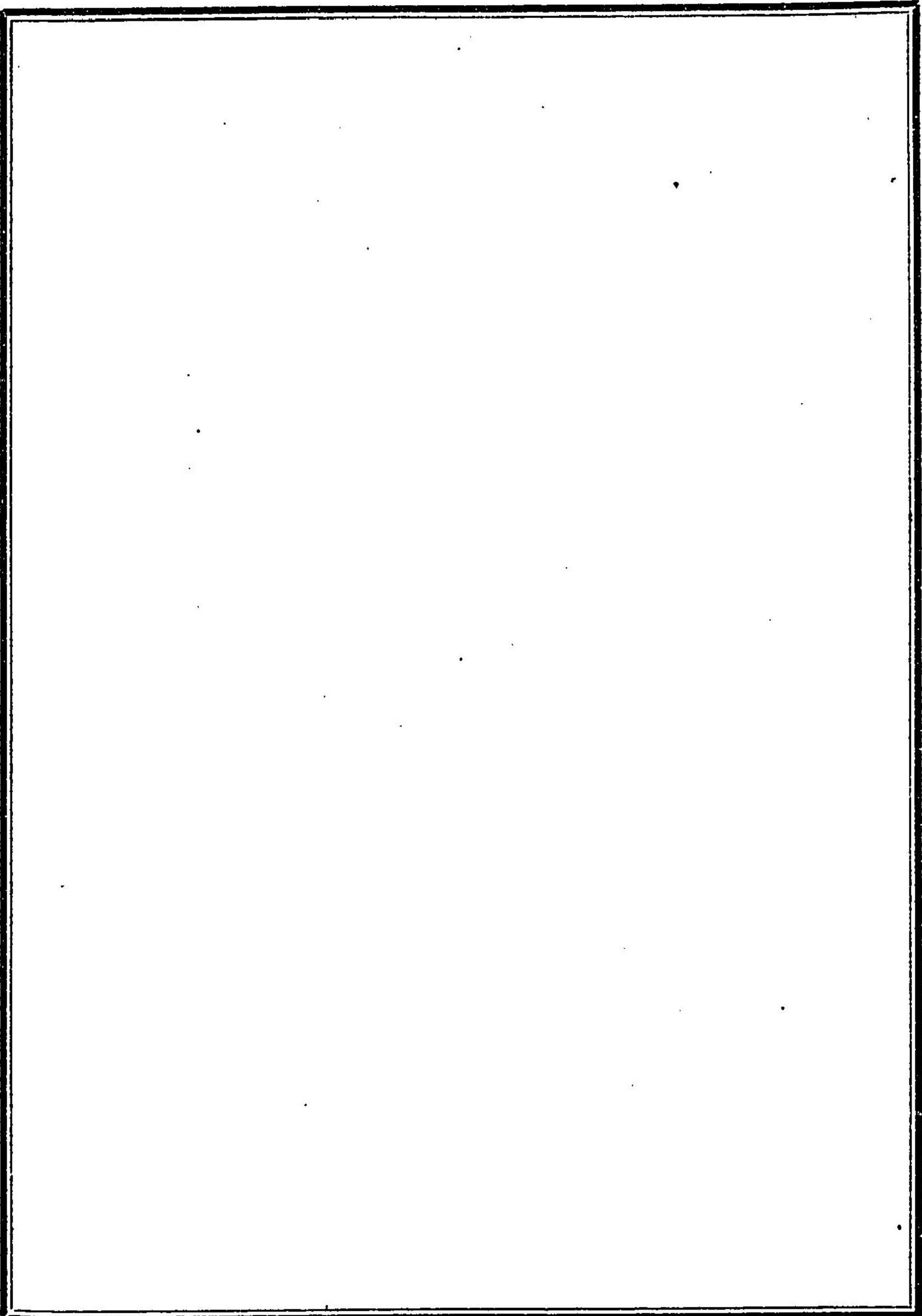
營林主事補

森林監守

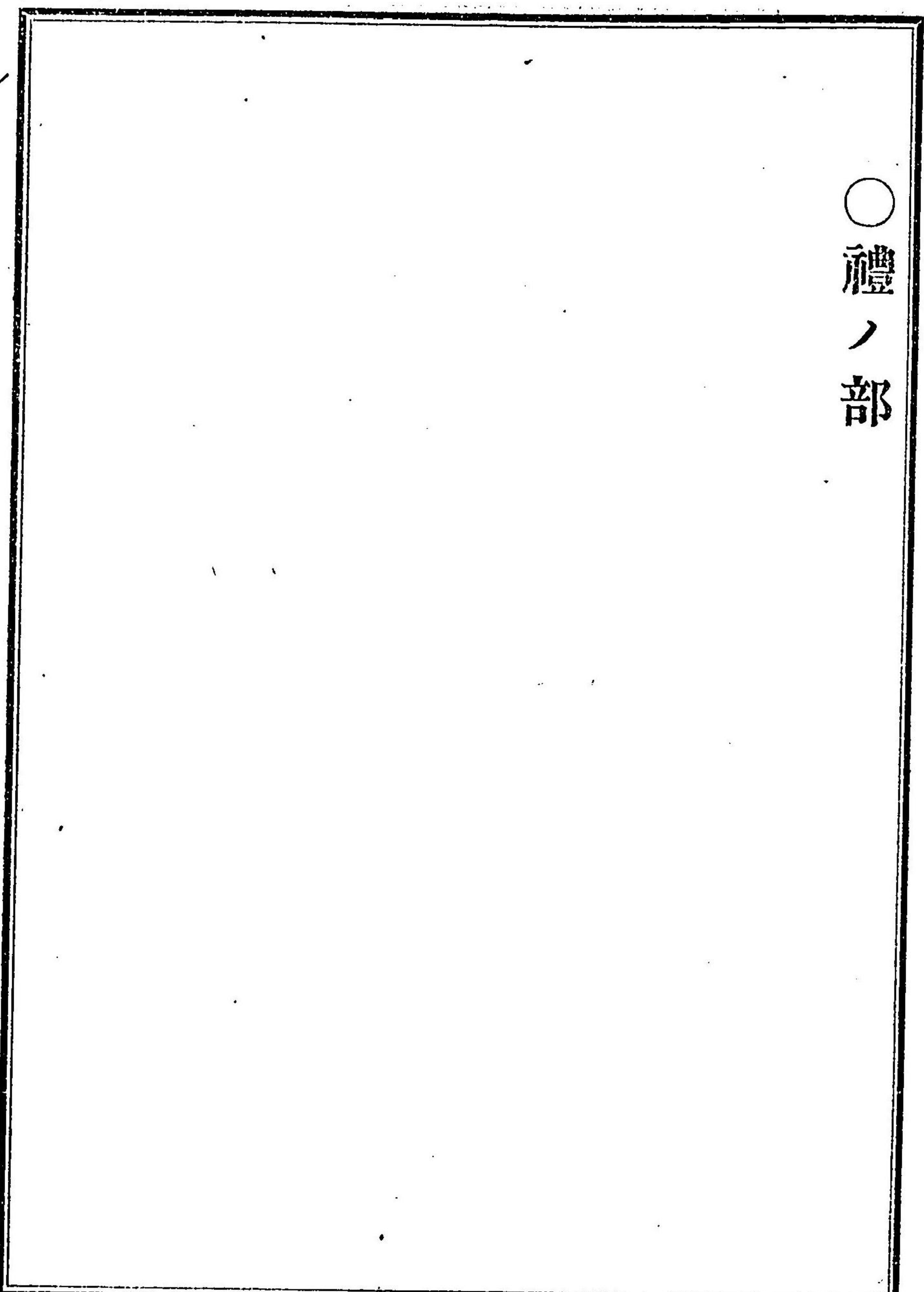
第八條 營林主事ハ判任トス農商務大臣林務官又ハ林務官補ノ指揮監督ヲ承ケ小  
林區署長ト爲リテ所轄小林區ノ業務ヲ掌ル

第九條 營林主事補ハ判任トス署長ノ指揮ヲ承ケ營林ノ業務ヲ分掌ス

第十條 森林監守ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ林區保護ニ從事ス  
森林監守ハ便宜雇員ヲ以テ之ニ充ツルコトアルヘシ



○禮ノ部



✓